

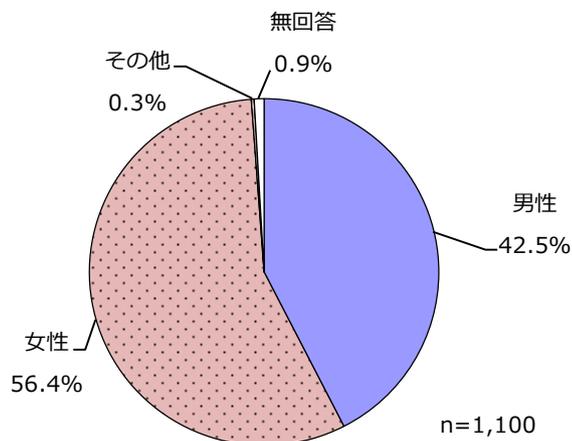
II 調查結果

1 回答者属性

(1) 性別

F1 性別

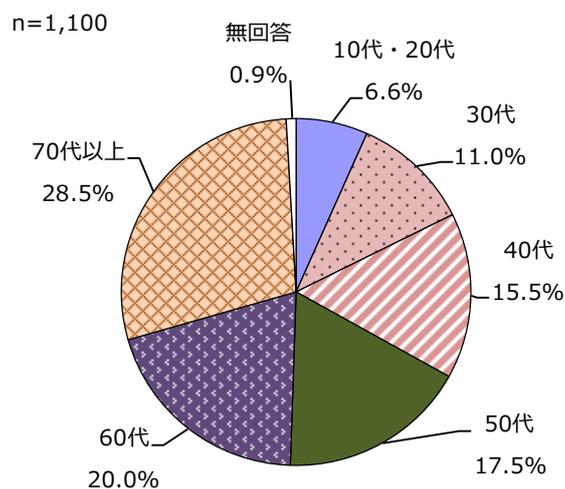
性別は、「男性」が42.5%、「女性」が56.4%となっています。



(2) 年齢

F2 年齢

年齢は、「70代以上」が28.5%と最も高く、次いで「60代」が20.0%、「50代」が17.5%と続いており、年齢が上がるほど回答割合が高い傾向にあります。

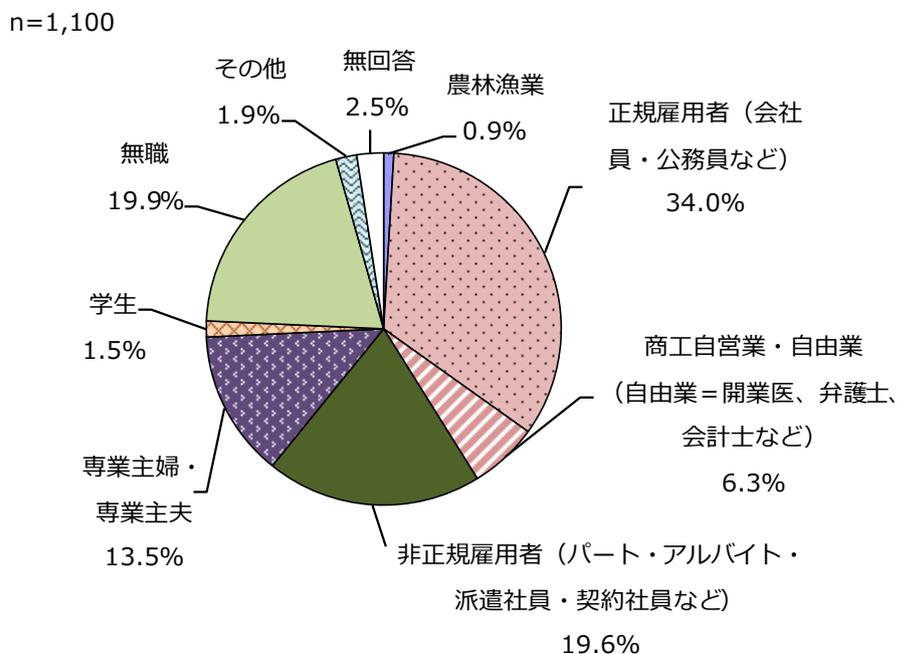


II 調査結果

(3) 職業

F3 職業(※主な職業に○をしてください)

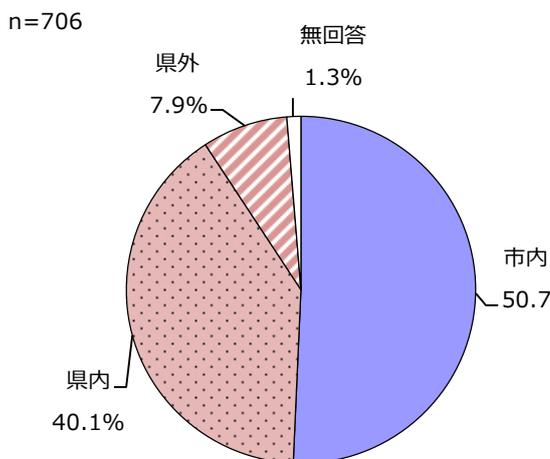
職業は、「正規雇用者（会社員・公務員など）」が34.0%と3割を超えて最も高く、次いで「無職」が19.9%、「非正規雇用者（パート・アルバイト・派遣社員・契約社員など）」が19.6%と約2割を占めて続いています。



(4) 職場（通学地）の所在地

F4 職場(通学地)の所在地

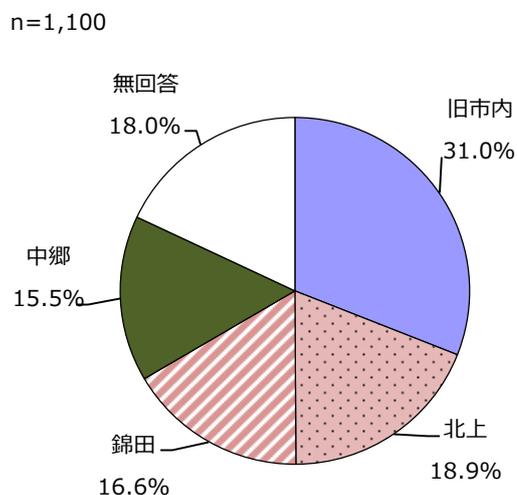
職場や通学地の所在地は、「市内」が50.7%で最も高く、次いで「県内」が40.1%と続いており、二つ合わせた“(三島市を含む) 県内”は9割を占めています。



(5) 居住地区

F5 居住地区

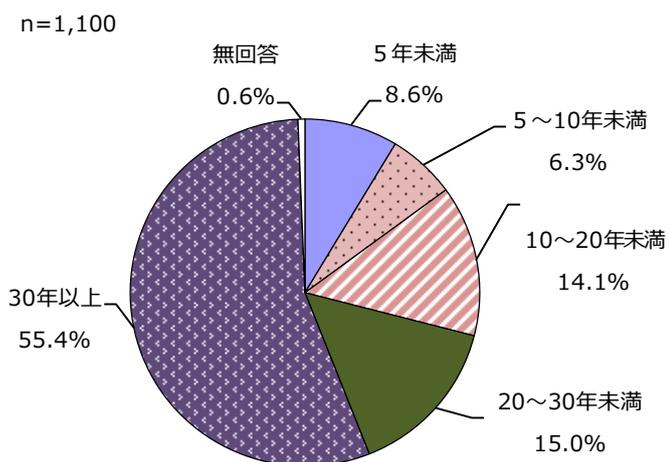
居住地区は、「旧市内」が31.0%と3割を超えて最も高く、次いで「北上」が18.9%、「錦田」が16.6%、「中郷」が15.5%と1割台後半が続いています。



(6) 三島市在住歴

F6 三島市在住歴

三島市の在住歴は、「30年以上」が55.4%と5割半ばを占めて最も高く、次いで「20～30年未満」が15.0%、「10～20年未満」が14.1%と続いており、「10年以上」が8割半ばを占めています。

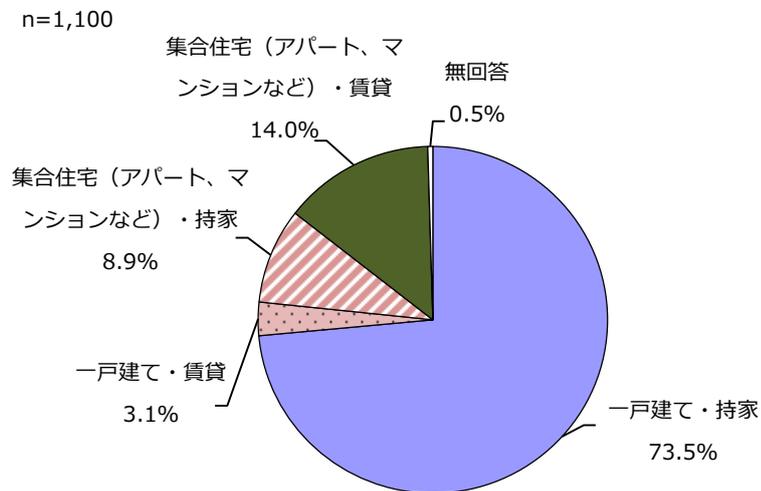


II 調査結果

(7) 住居の種類

F7 お住まいの住宅

住居の種類は、「一戸建て・持家」が73.5%と7割を超えて最も高く、次いで「集合住宅（アパート、マンションなど）・賃貸」が14.0%と続いています。



2 『居住環境』について

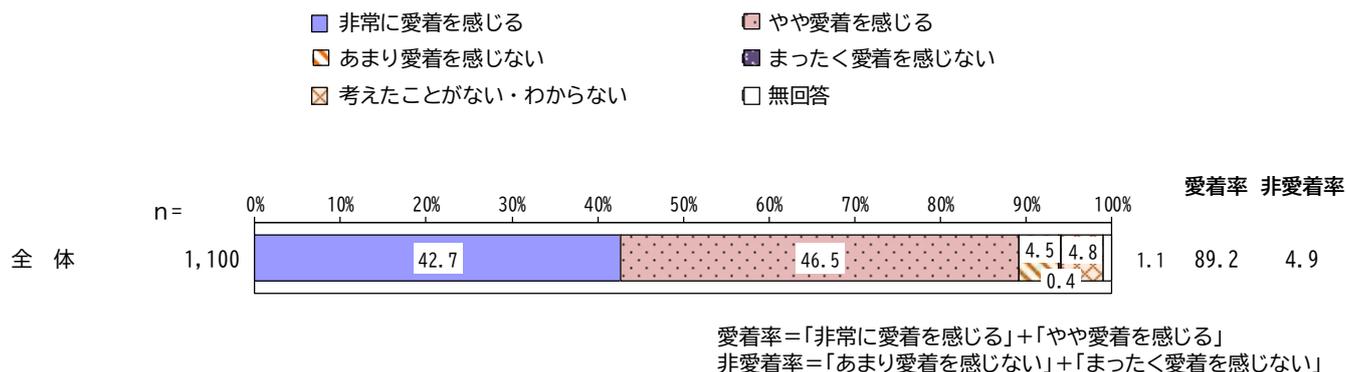
(1) 三島市への愛着

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(○は一つ)

－ 三島市への“愛着率”は 89.2% －

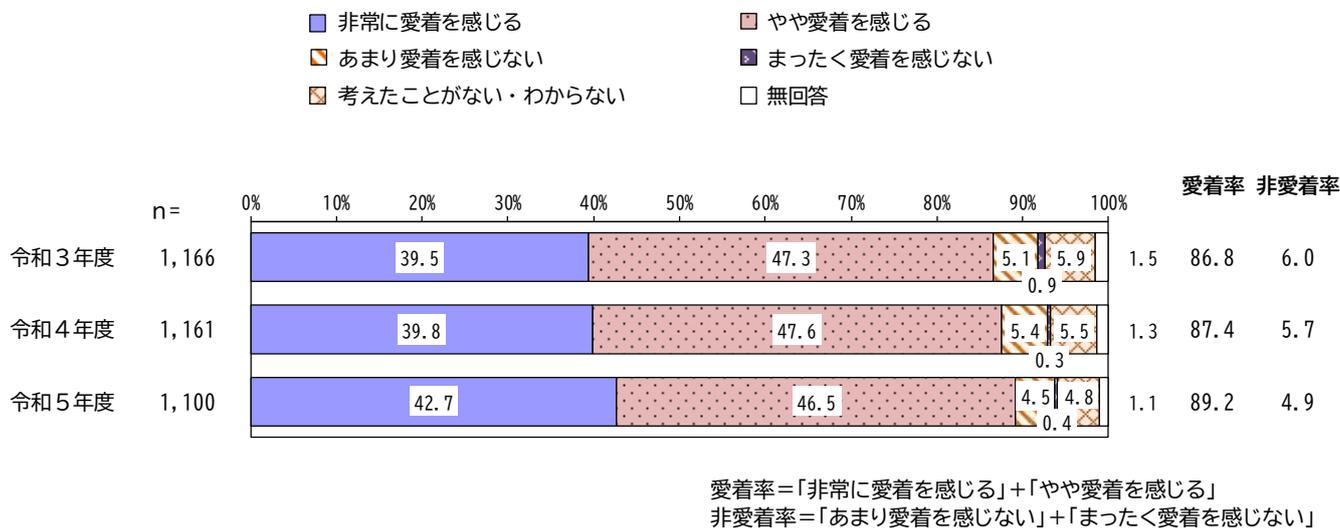
三島市への愛着について、「非常に愛着を感じる」(42.7%)と「やや愛着を感じる」(46.5%)を合わせた“愛着率”は 89.2%と 9割近くを占めています。

一方、「あまり愛着を感じない」(4.5%)と「まったく愛着を感じない」(0.4%)を合わせた“非愛着率”は 4.9%となっています。



【経年比較】

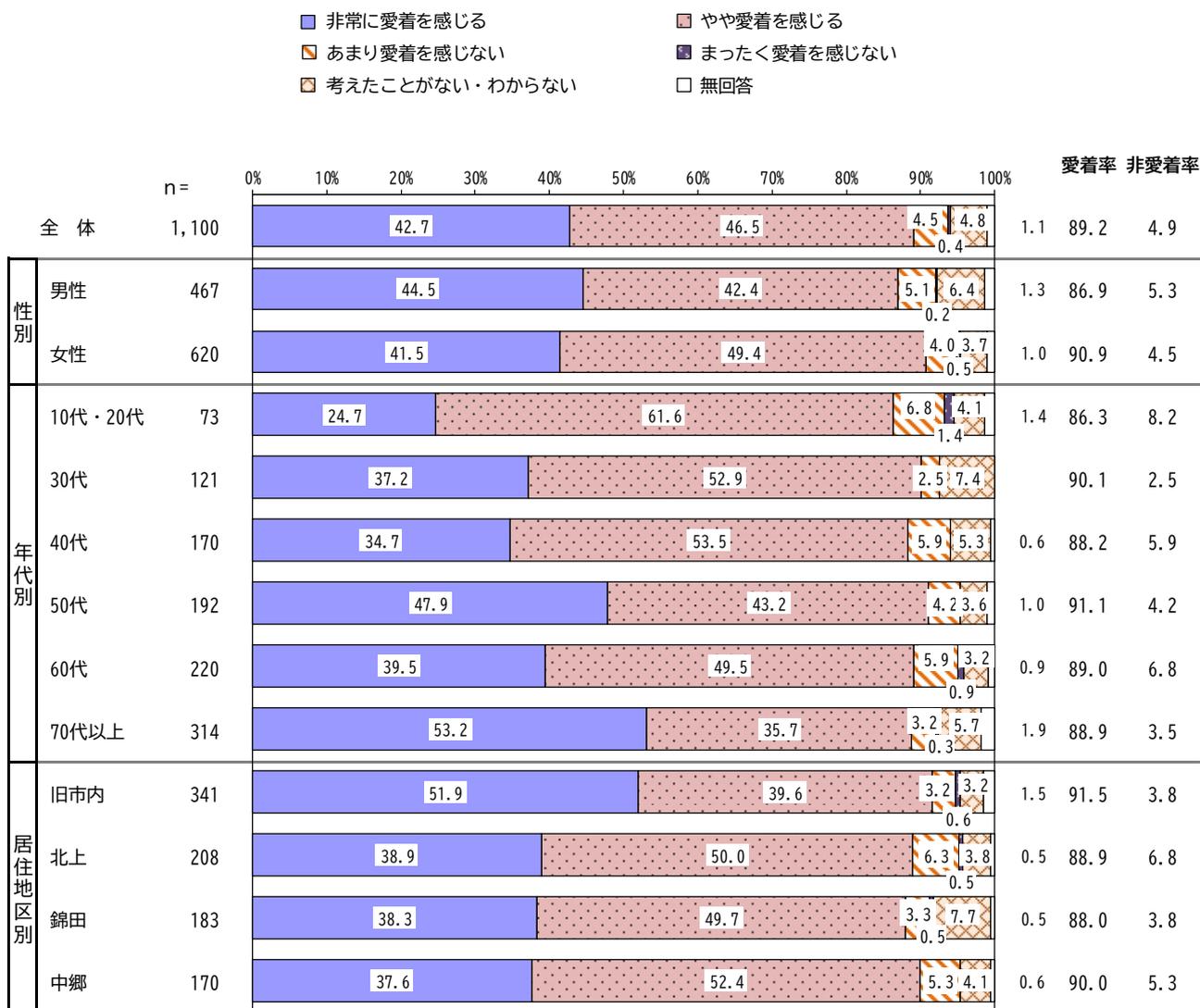
過去調査と比較すると、“愛着率”は増加傾向にあります。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、“愛着率”は、男性（86.9%）より女性（90.9%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“愛着率”は50代（91.1%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“愛着率”は旧市内（91.5%）が最も高くなっています。



愛着率＝「非常に愛着を感じる」＋「やや愛着を感じる」
 非愛着率＝「あまり愛着を感じない」＋「まったく愛着を感じない」

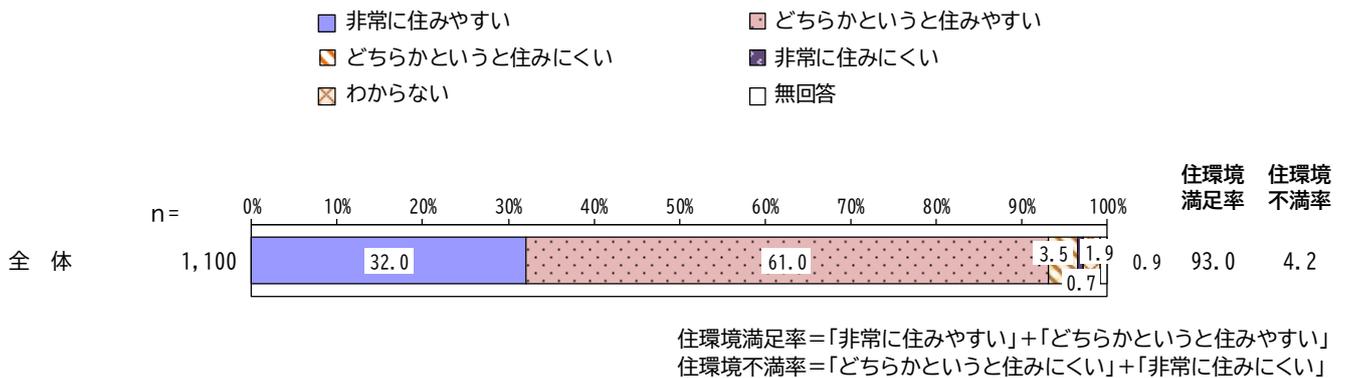
(2) 三島市の住みやすさ

問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(○は一つ)

－ 三島市が“住みやすい”と感じる人は 93.0% －

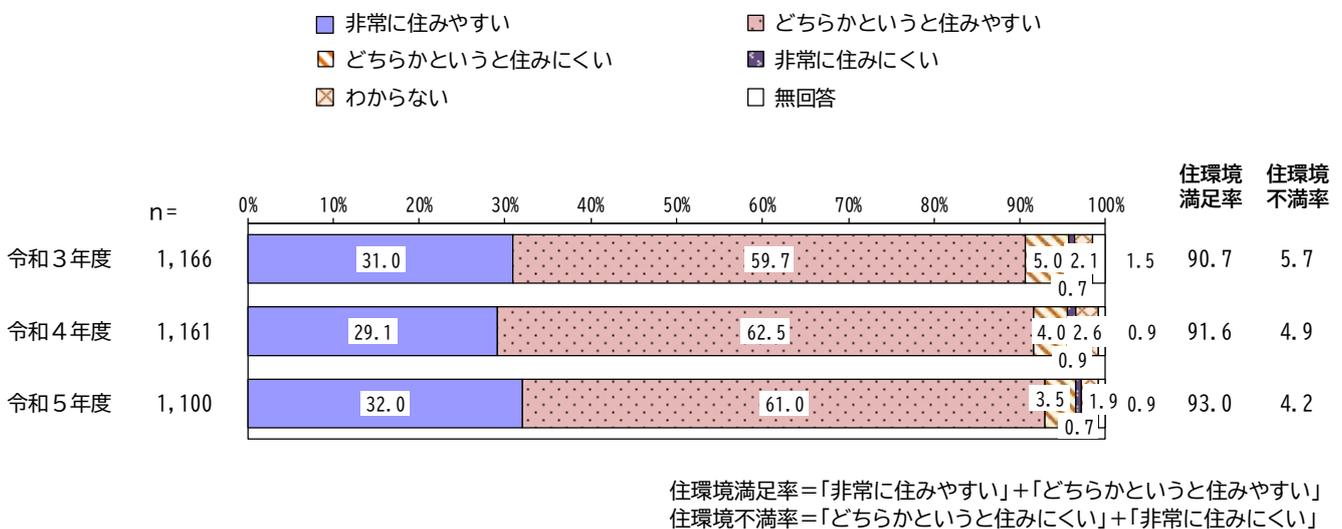
三島市の住みやすさについて、「非常に住みやすい」(32.0%)と「どちらかという住みやすい」(61.0%)を合わせた“住環境満足率”は93.0%となっています。

一方、「どちらかという住みにくい」(3.5%)と「非常に住みにくい」(0.7%)を合わせた“住環境不満率”は4.2%となっています。



【経年比較】

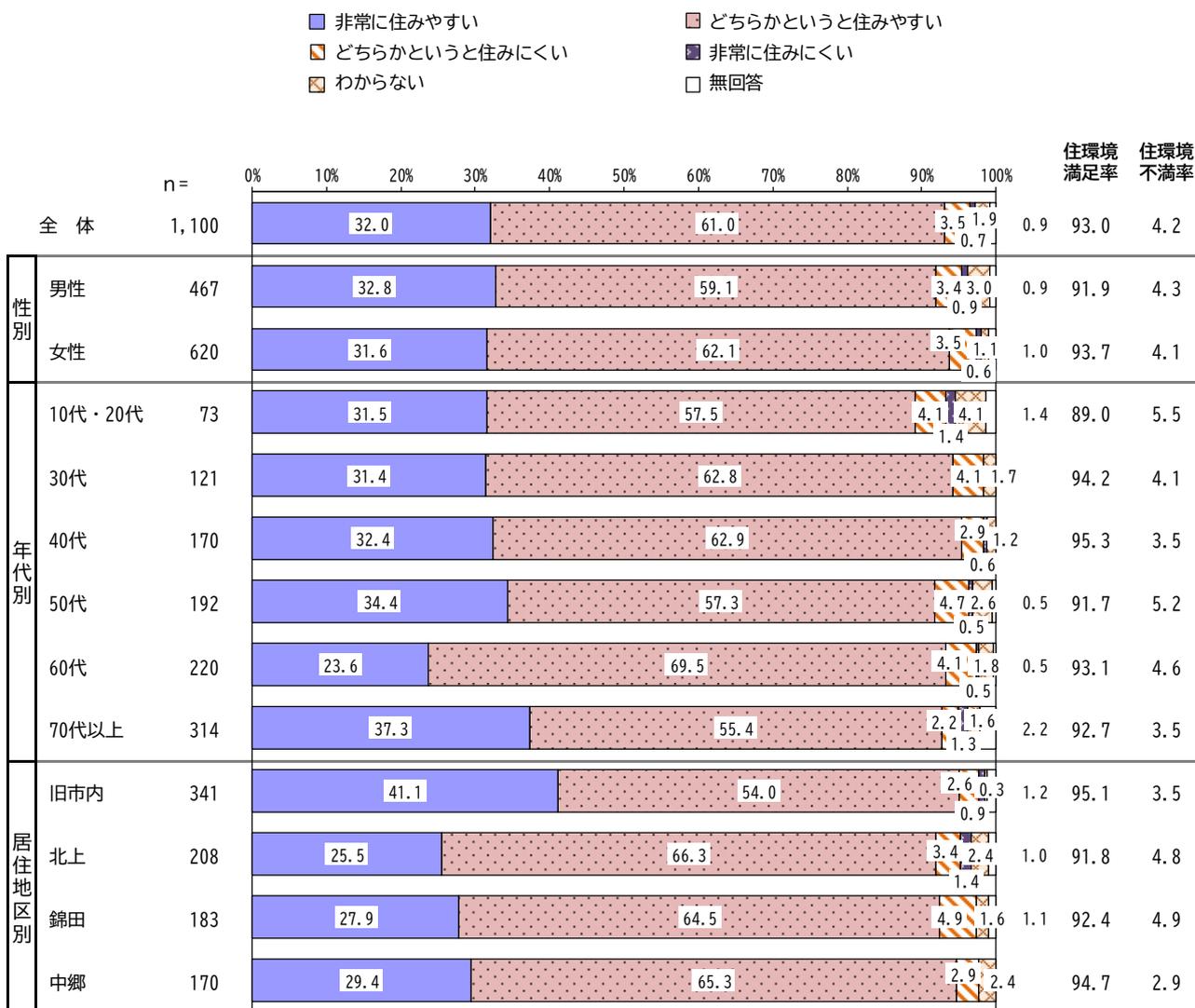
過去調査と比較すると、“住環境満足率”は増加傾向にあります。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、“住環境満足率”（男性 91.9%、女性 93.7%）に大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“住環境満足率”は40代(95.3%)が、最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“住環境満足率”は旧市内(95.1%)が、最も高くなっています。



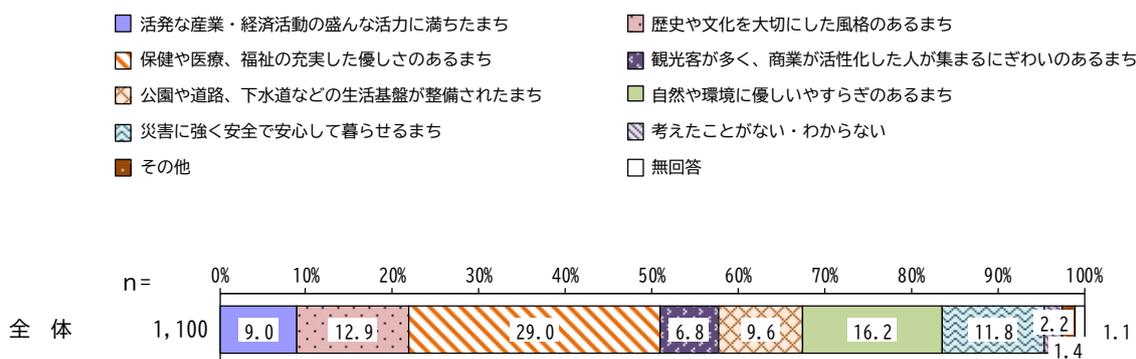
住環境満足率＝「非常に住みやすい」＋「どちらかという住みやすい」
 住環境不満率＝「どちらかという住みにくい」＋「非常に住みにくい」

(3) 三島市の将来像

問3 あなたは、三島市が将来どのようなまちになったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(○は一つ)

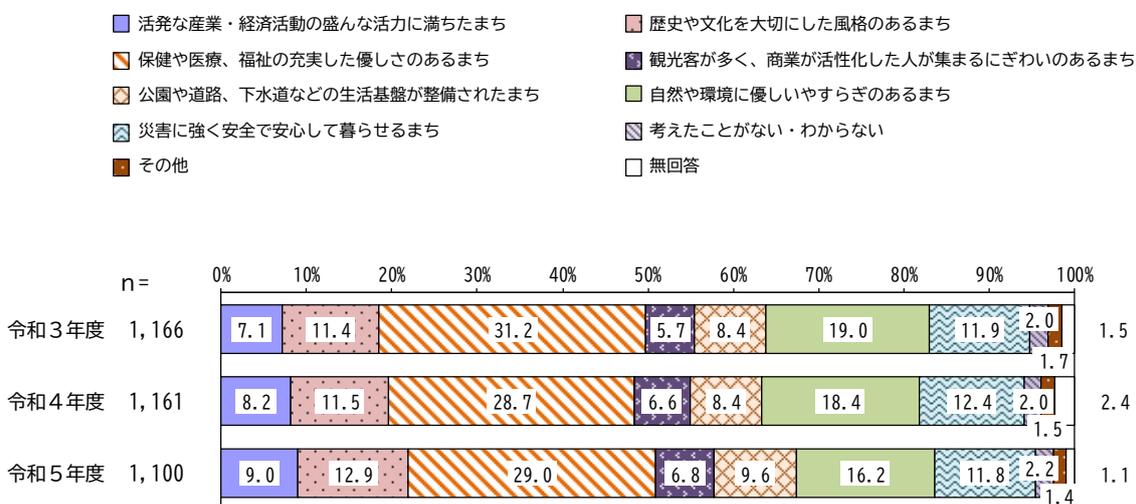
－ 三島市の将来像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」が 29.0% －

三島市の将来像について、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」の割合が 29.0%と最も高く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのあるまち」が 16.2%、「歴史や文化を大切にした風格のあるまち」の割合が 12.9%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、あまり変化はありません。



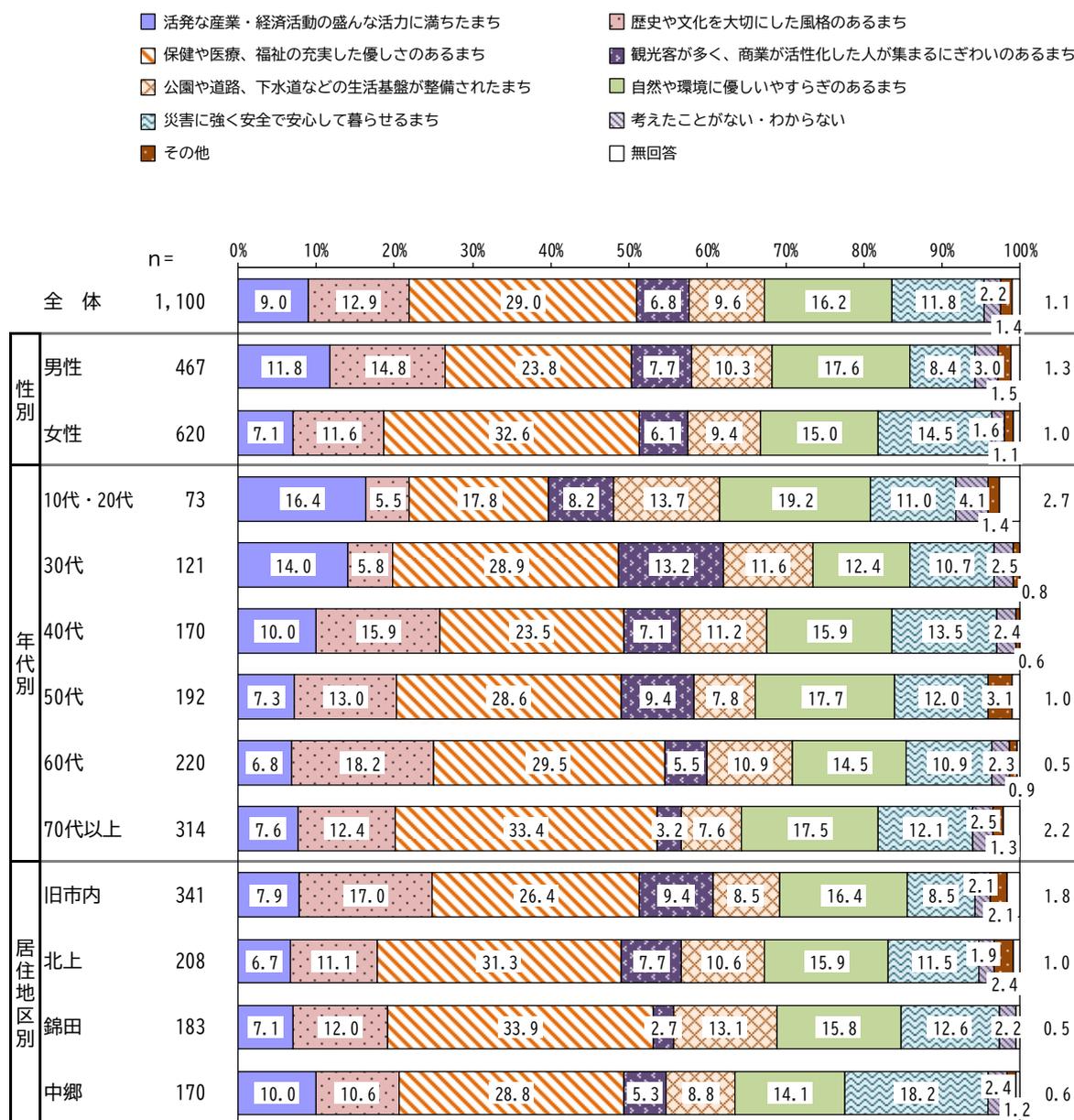
II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのあるまち」は、男性(23.8%)より女性(32.6%)の割合が高くなっています。

年代別でみると、「活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちたまち」は年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向にあります。また、「観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのあるまち」は30代(13.2%)が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」は、中郷(18.2%)が最も高くなっています。

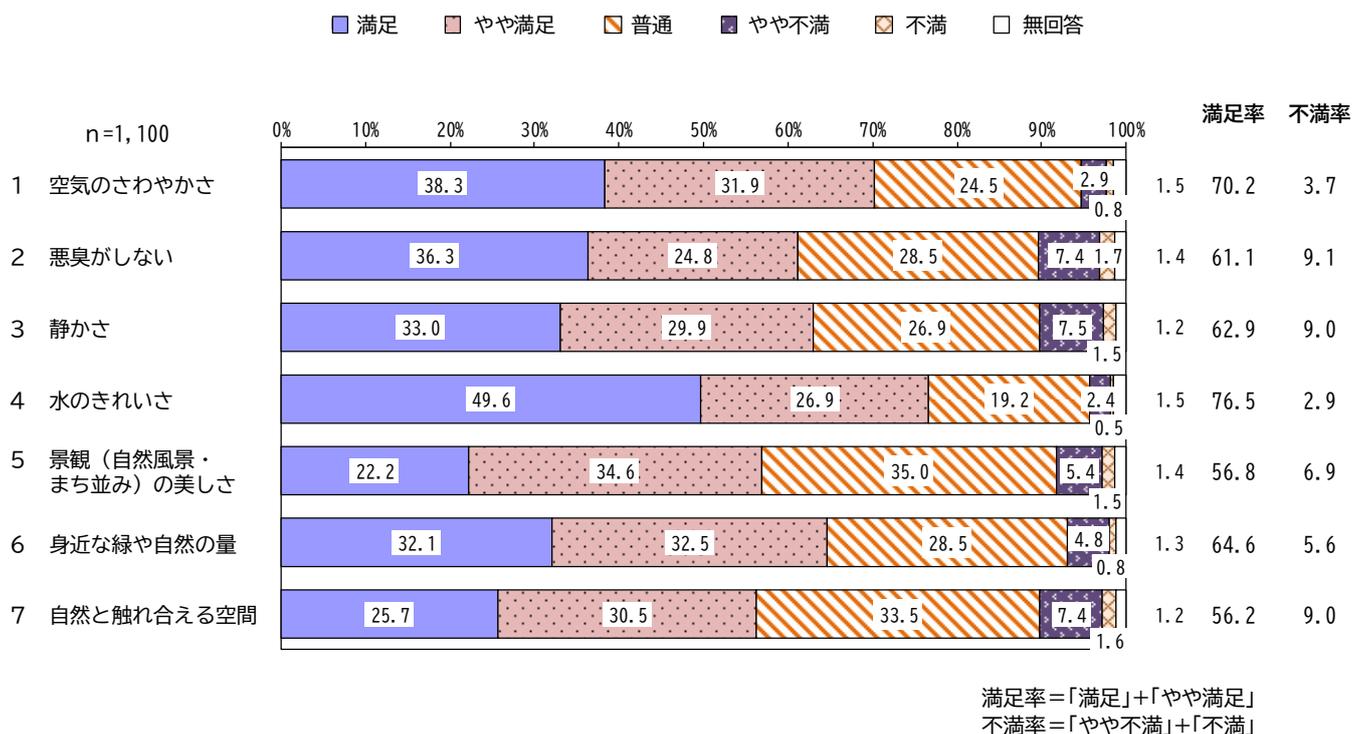


(4) 生活環境の満足度

問4 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。

－ 生活環境の“満足率”が最も高いのは『水のきれいさ』で76.5% －

生活環境の満足度について、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を大きく上回っています。中でも『1 空気のさわやかさ』と『4 水のきれいさ』の“満足率”は7割台で高くなっています。

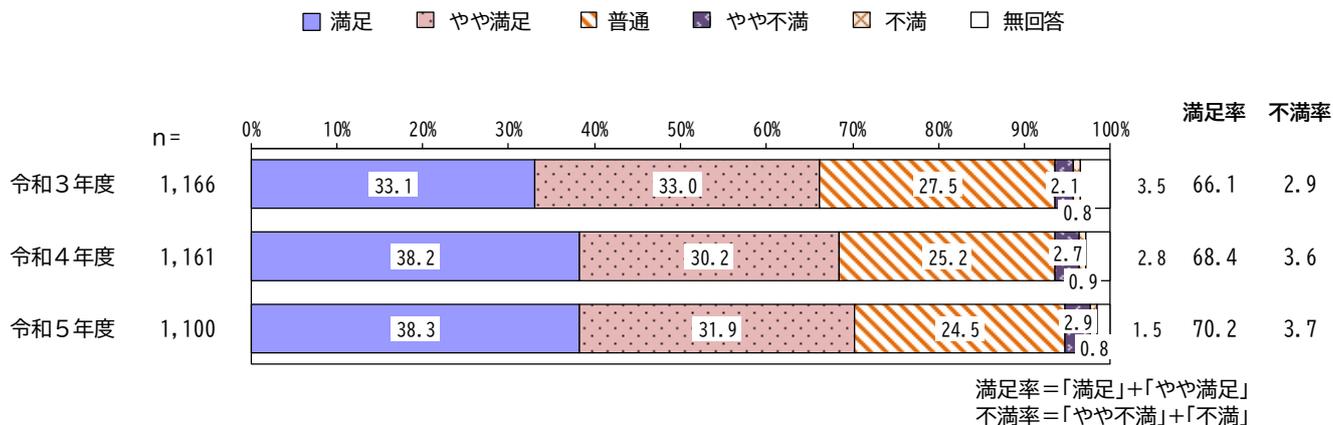


II 調査結果

(4)－1 空気のさわやかさ

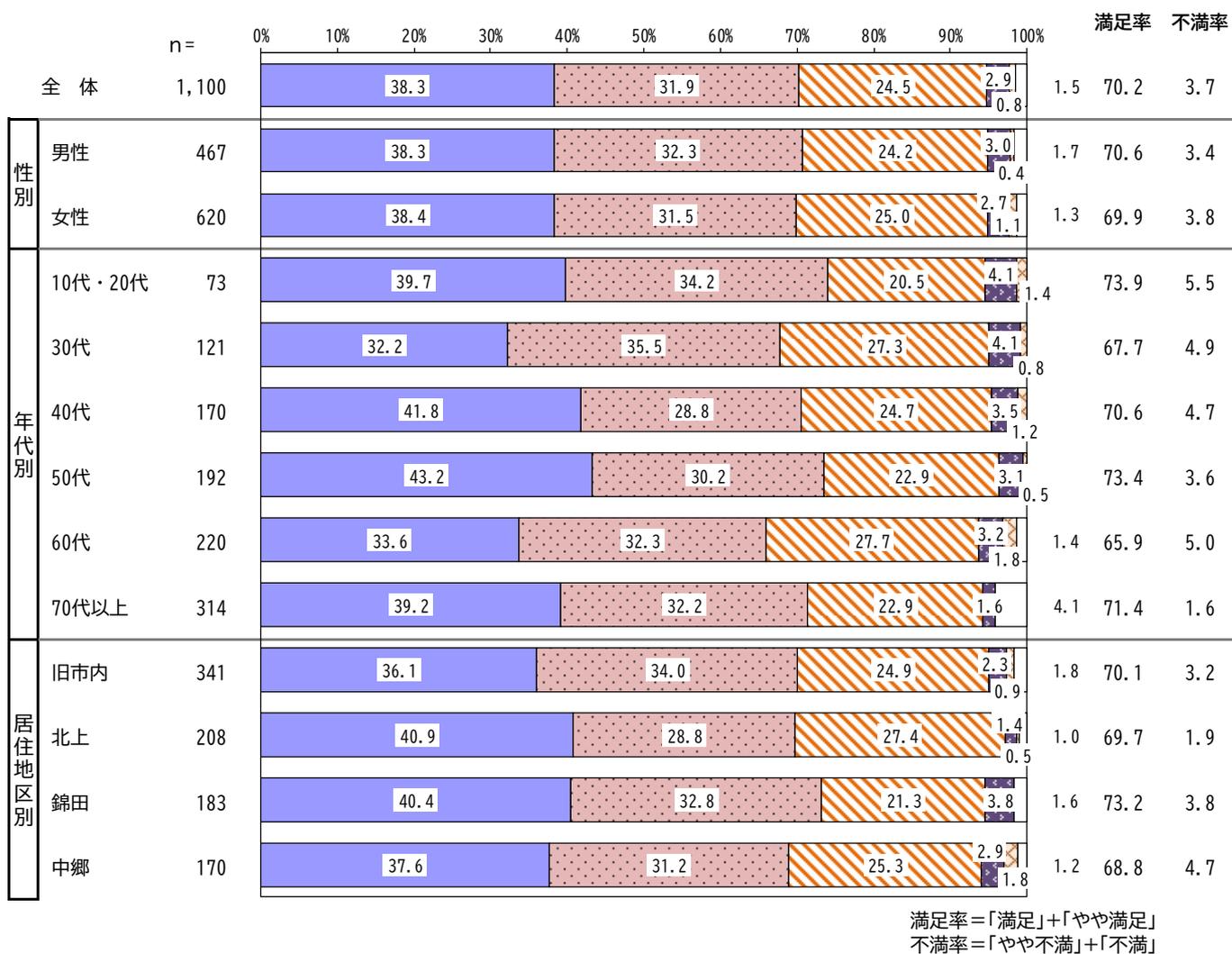
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は増加傾向にあります。



【属性別比較】

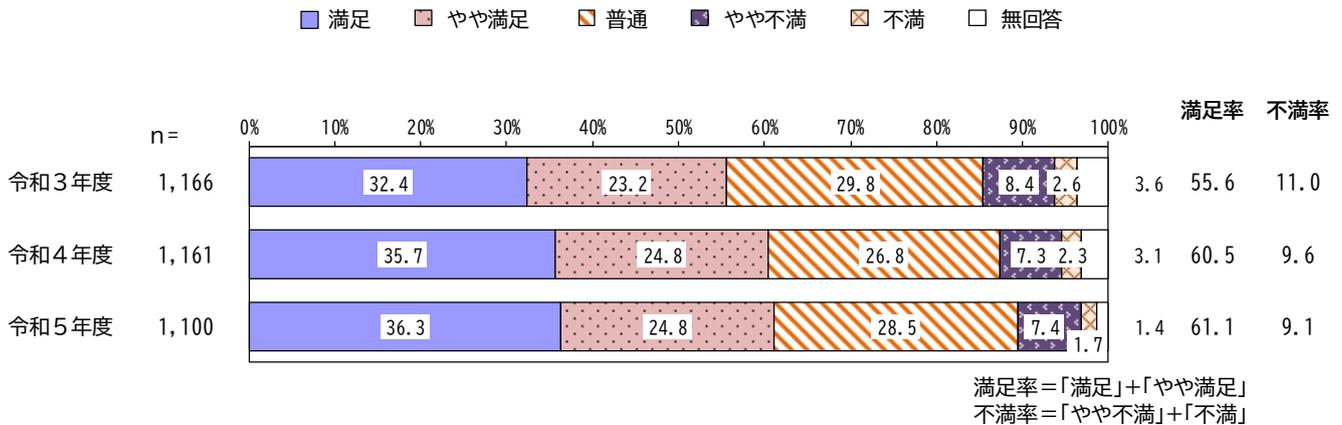
性別でみると、“満足率”（男性 70.6%、女性 69.9%）に大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“満足率”は、30代(67.7%)と60代(65.9%)以外7割を超えています。
 居住地区別でみると、“満足率”は、錦田(73.2%)が最も高くなっています。



(4)－2 悪臭がしない

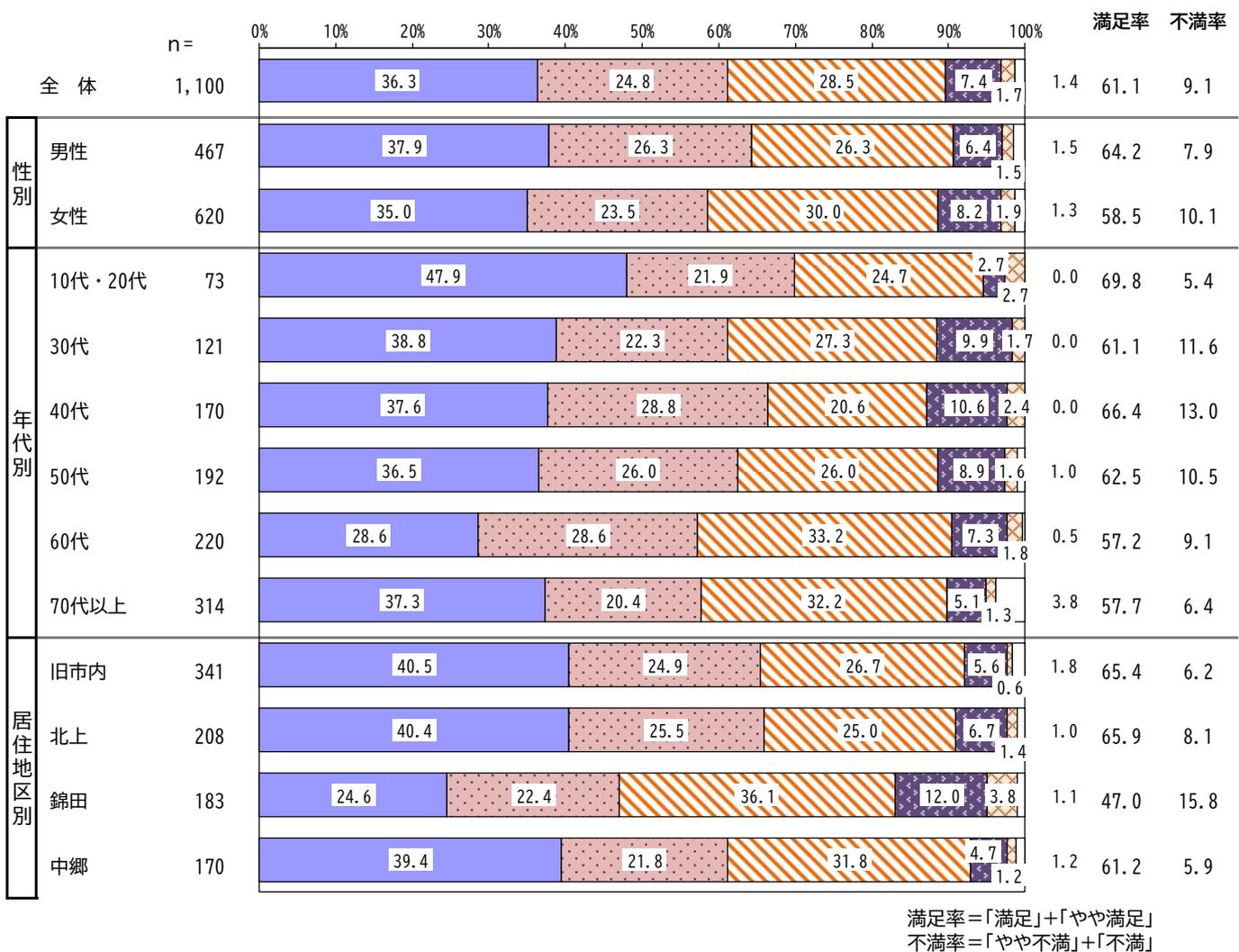
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は増加傾向にあります。



【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は、男性（64.2%）の割合が女性（58.5%）より高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代（69.8%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“不満率”は錦田（15.8%）が最も高くなっています。

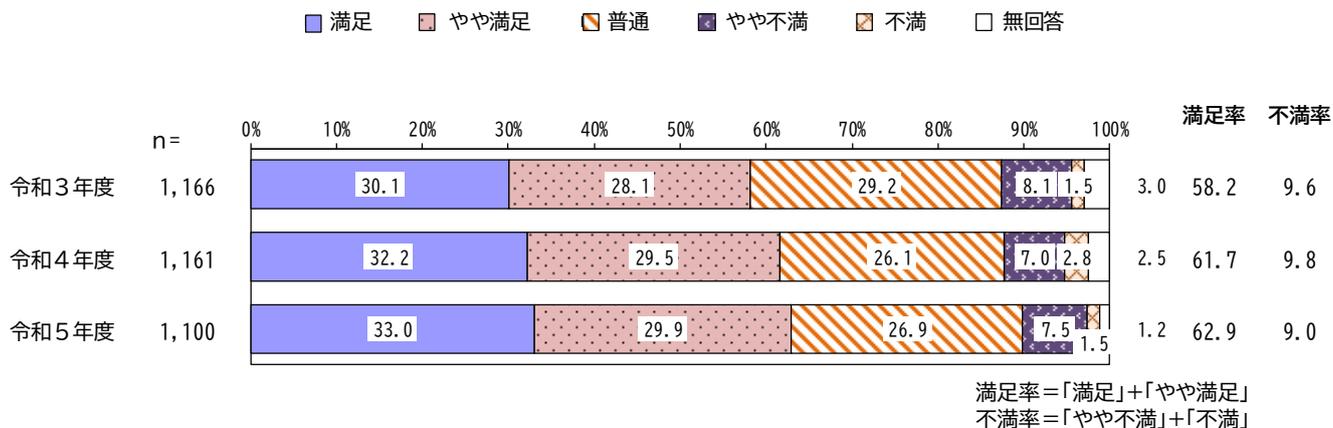


II 調査結果

(4)－3 静かさ

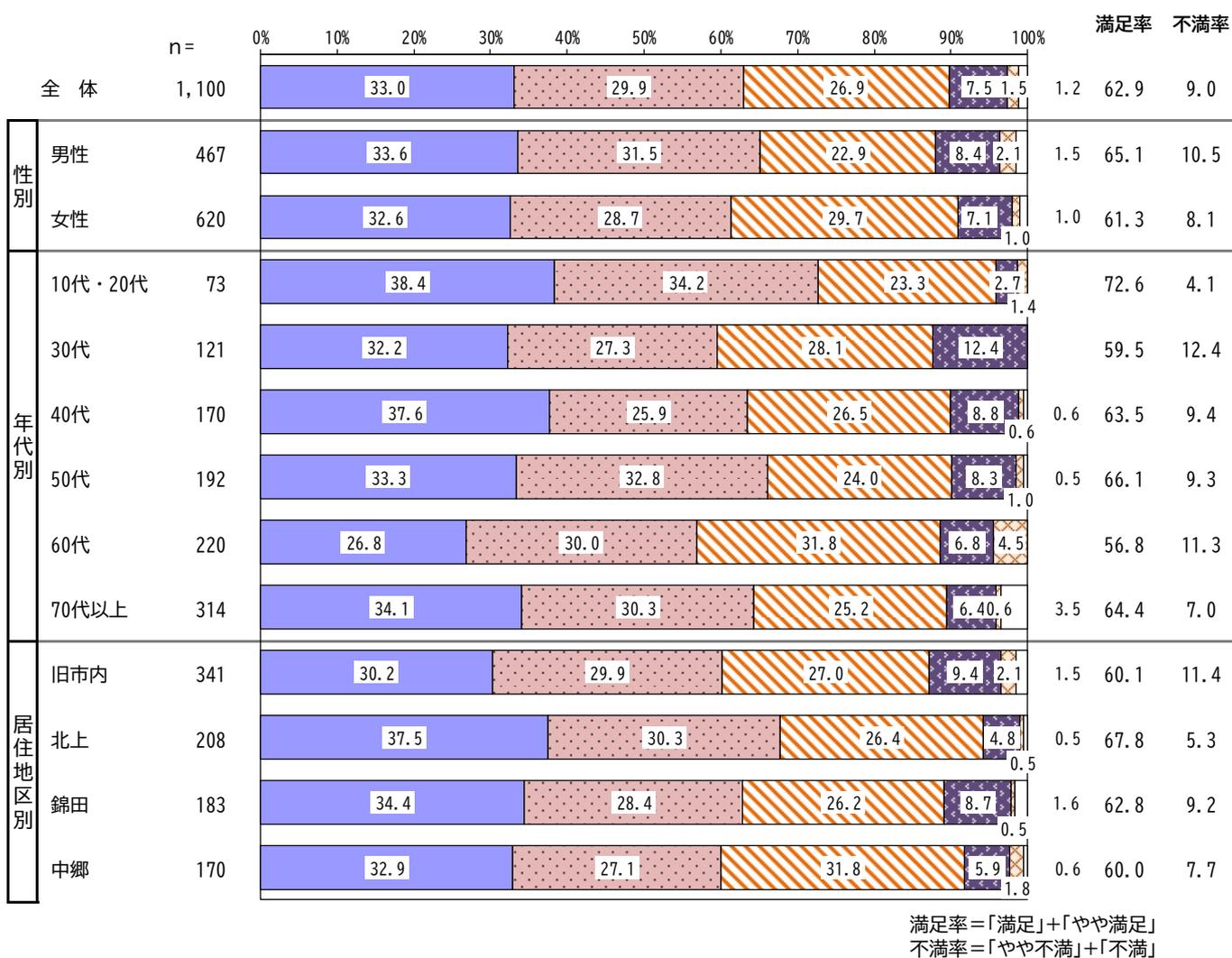
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は増加傾向にあります。



【属性別比較】

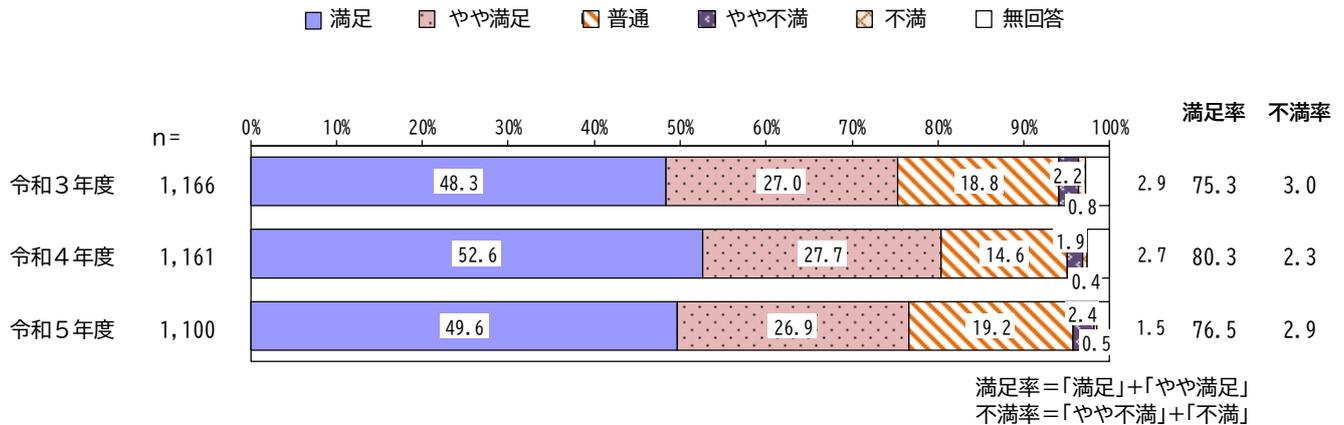
性別でみると、“満足率”は、男性（65.1%）の割合が女性（61.3%）より高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代（72.6%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は、北上（67.8%）が最も高くなっています。



(4)－4 水のきれいさ

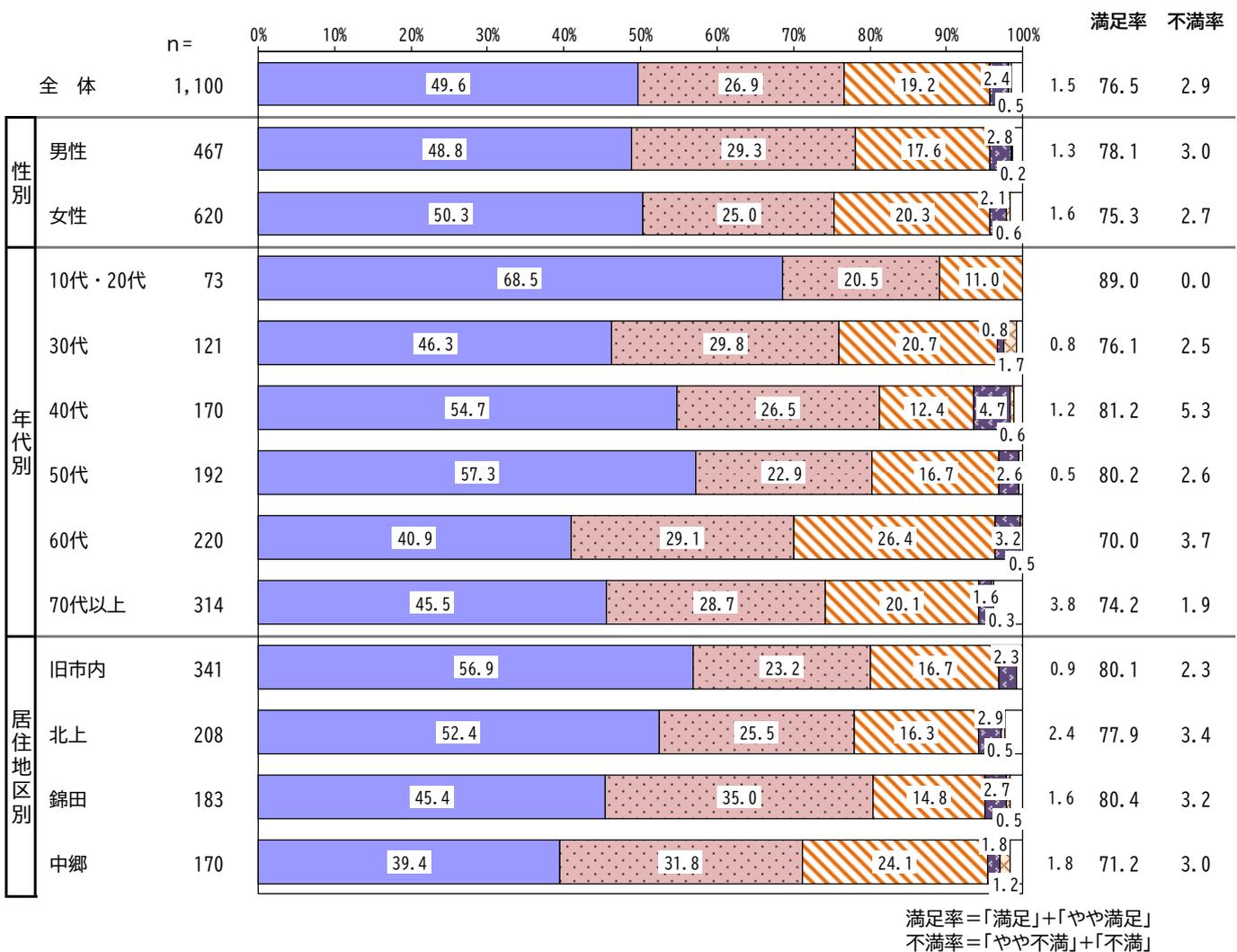
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は令和4年度から下がっています。



【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は、男性（78.1%）の割合が女性（75.3%）より高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代（89.0%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は、旧市内（80.1%）と錦田（80.4%）で8割を超えています。

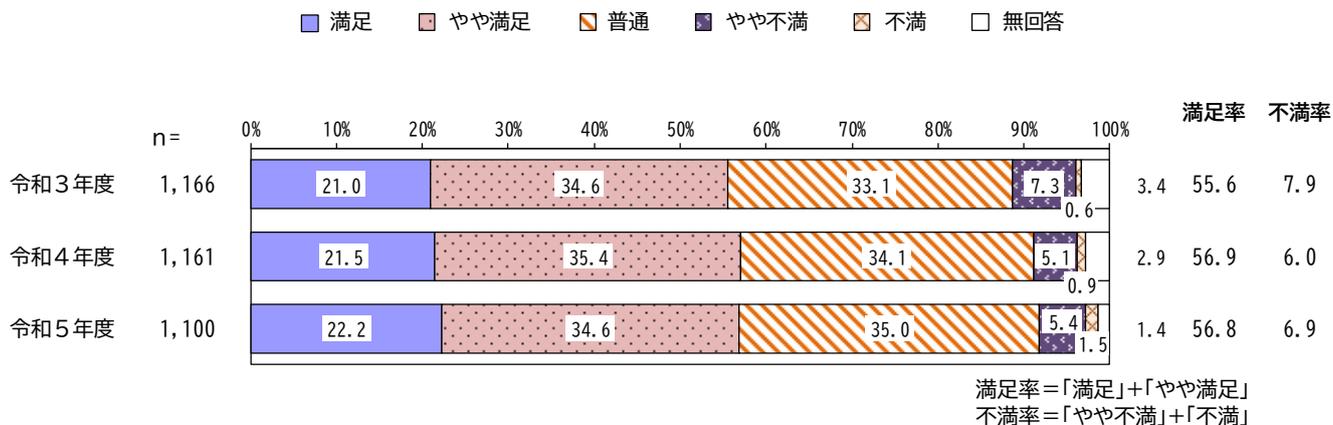


II 調査結果

(4)－5 景観(自然風景・まち並み)の美しさ

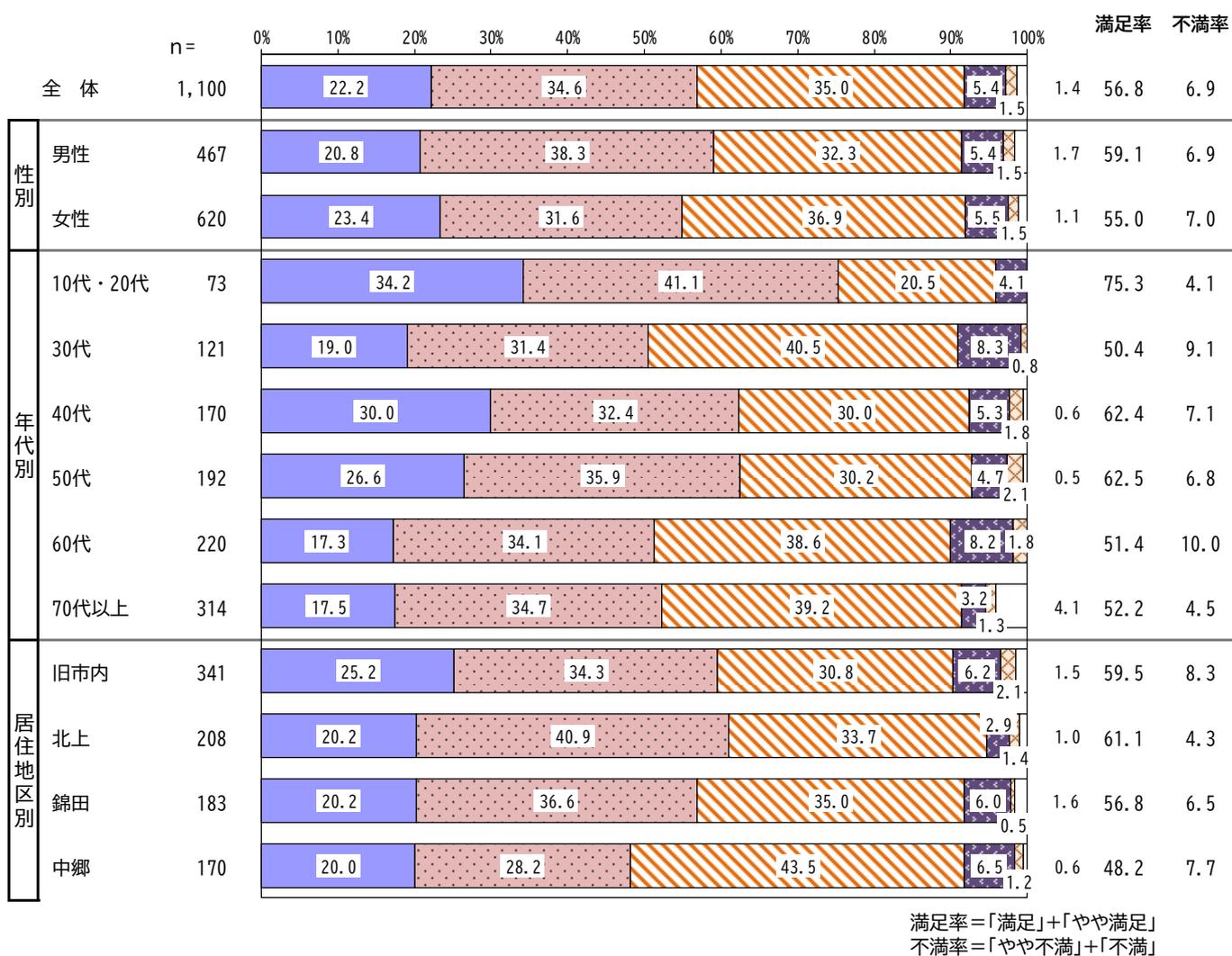
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は令和4年度から変化ありません。



【属性別比較】

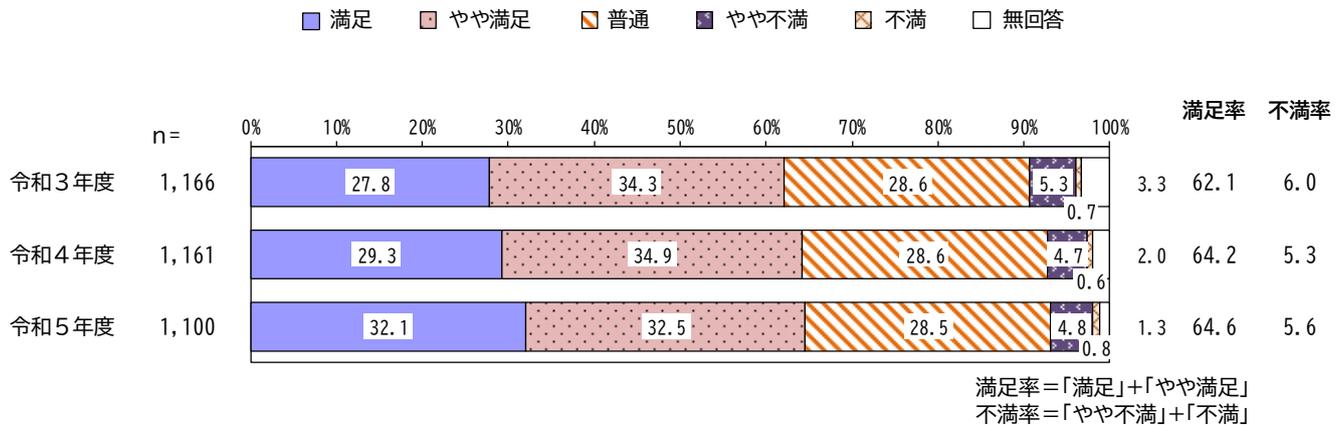
性別でみると、“満足率”は、男性（59.1%）の割合が女性（55.0%）より高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代（75.3%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“満足率”は、北上（61.1%）が最も高くなっています。



(4)－6 身近な緑や自然の量

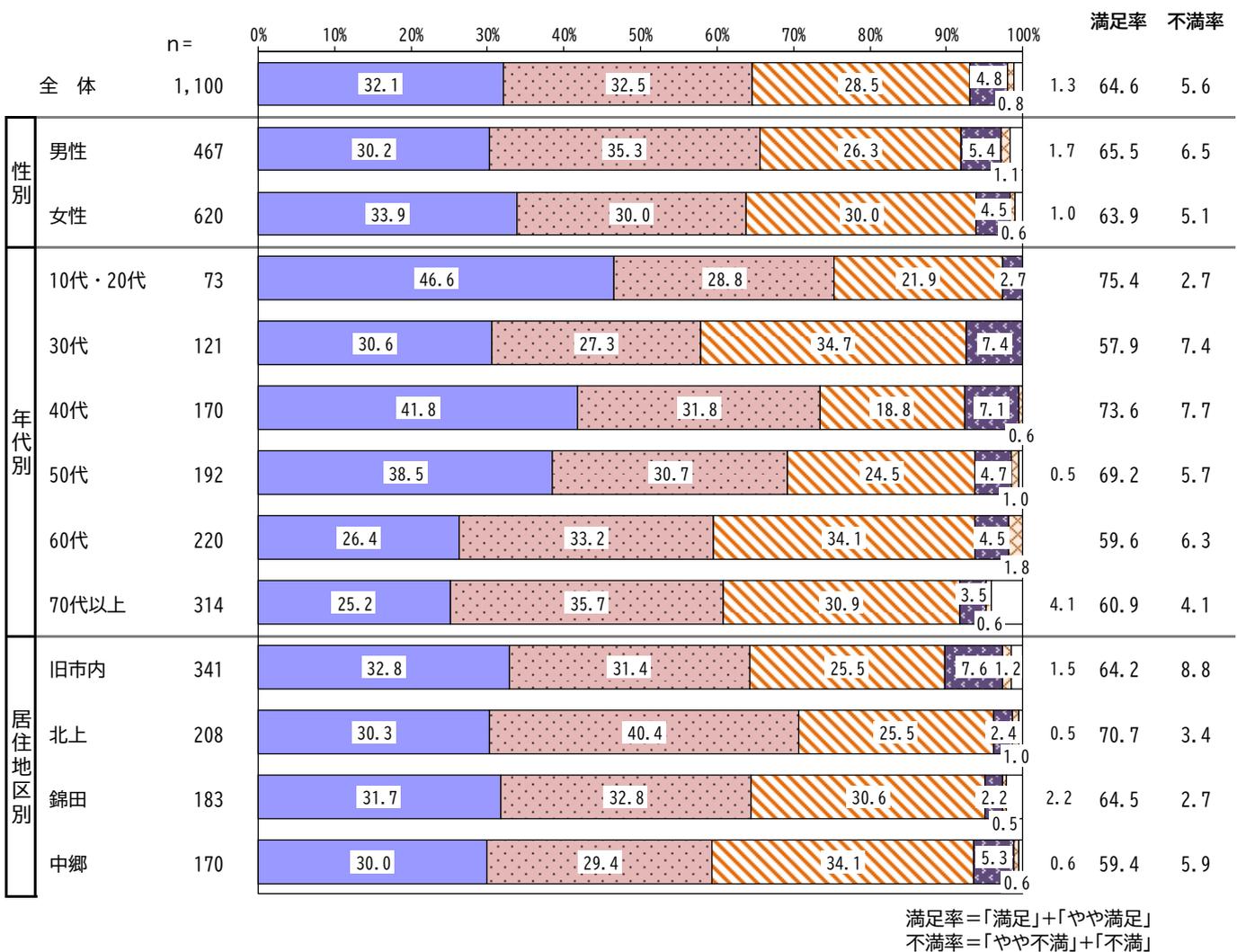
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”は令和4年度から変化ありません。



【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 65.5%、女性 63.9%）に大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代(75.4%)と40代(73.6%)で7割を超えています。
 居住地区別でみると、“満足率”は、北上(70.7%)が最も高くなっています。

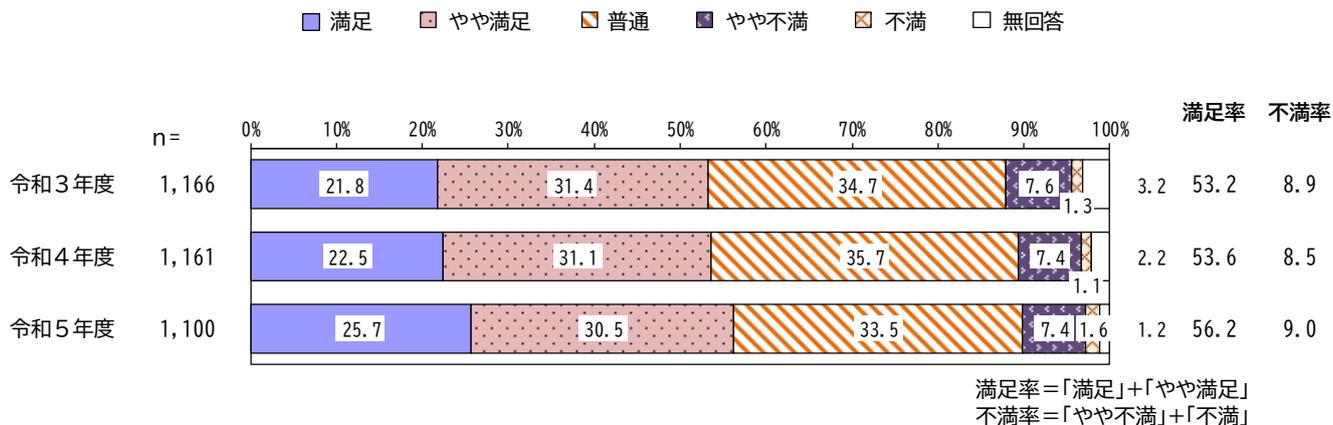


II 調査結果

(4)－7 自然と触れ合える空間

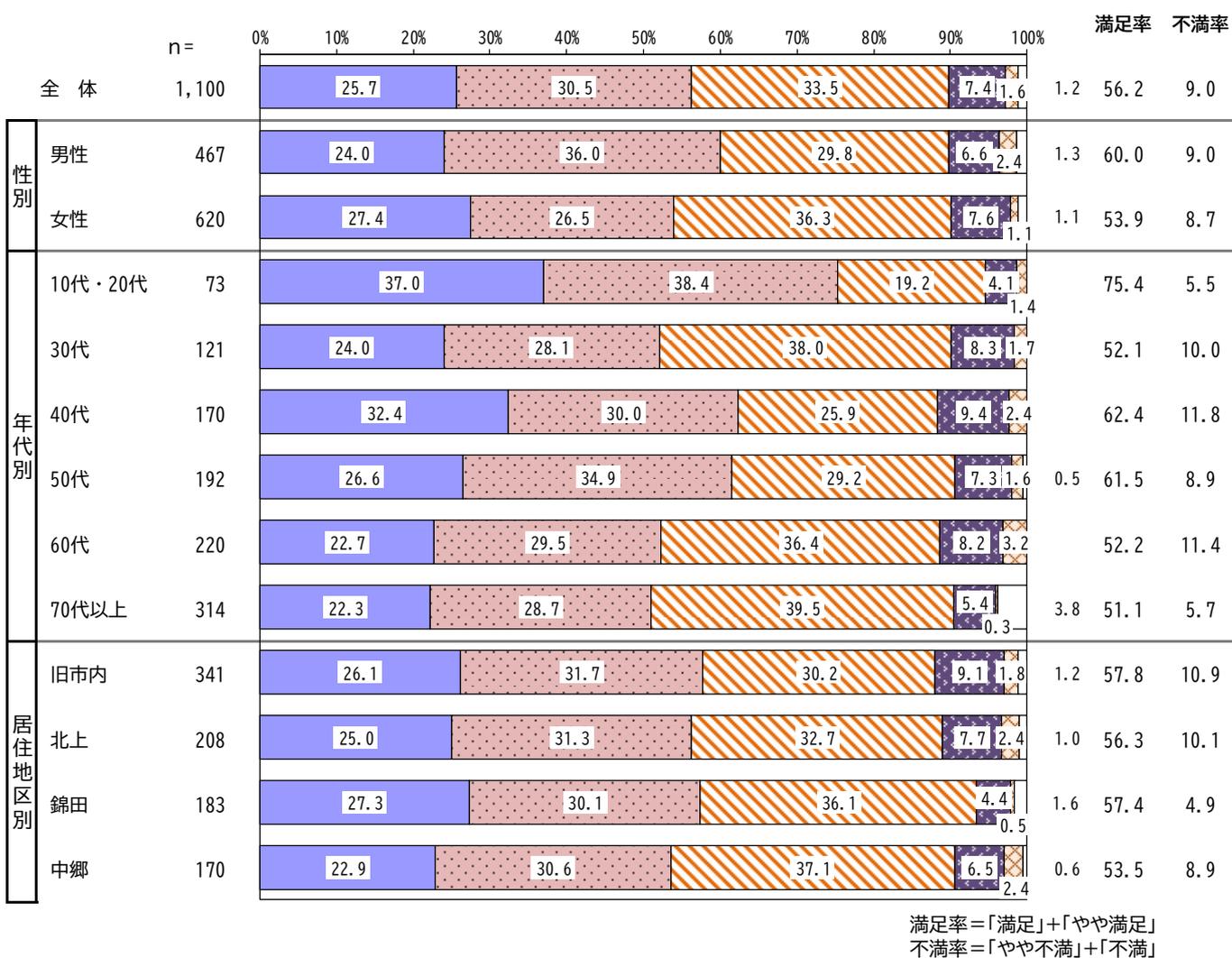
【経年比較】

過去調査と比較すると、“満足率”に大きな差異はみられません。



【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は、男性（60.0%）の割合が女性（53.9%）より高くなっています。
 年代別でみると、“満足率”は、10代・20代（75.4%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“不満率”は、旧市内（10.9%）と北上（10.1%）で1割を超えています。



3 『市の取り組みの満足度』について

(1) 市の取り組みの満足度

問5 毎日の暮らしを通じて、市が行っている施策に対する満足(充実)度についてお答えください。
1～37の項目ごとに該当する番号を選んでください。

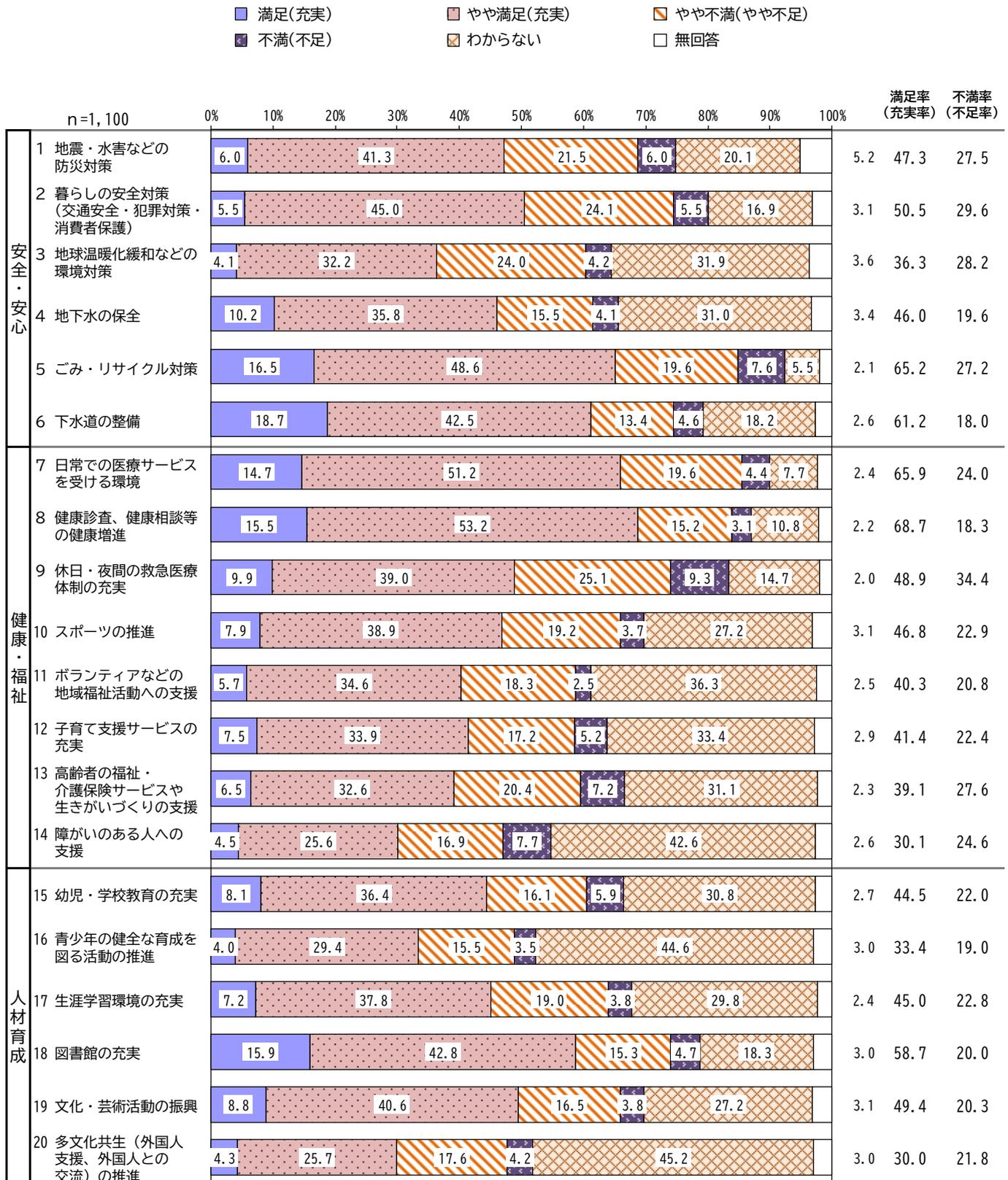
－ 三島市の施策の“満足率”は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が 79.5% －

－ “不満率”は『歩道の整備』が 59.1% －

三島市の施策に対する満足(充実)率について聞いたところ、“満足率”は、安全・安心に関する項目では『5 ごみ・リサイクル対策』(65.2%)、健康・福祉に関する項目では『8 健康診査、健康相談等の健康増進』(68.7%)、人材育成に関する項目では『18 図書館の充実』(58.7%)、交流とにぎわいに関する項目では『22 観光・イベントの振興』(51.2%)、快適な暮らしに関する項目では『32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』(79.5%)、共創に関する項目では『37 「広報みしま」による市政情報の提供』による市政情報の提供』(73.4%)が最も高くなっています。

“不満率”は、安全・安心に関する項目では『2 暮らしの安全対策(交通安全・犯罪対策・消費者保護)』(29.6%)、健康・福祉に関する項目では『9 休日・夜間の救急医療体制の充実』(34.4%)、人材育成に関する項目では『17 生涯学習環境の充実』(22.8%)、交流とにぎわいに関する項目では『21 にぎわいある商業・商店街づくり』(49.5%)、快適な暮らしに関する項目では『27 歩道の整備』(59.1%)、共創に関する項目では『36 市民意見を聞く機会の充実』(30.4%)が最も高くなっています。

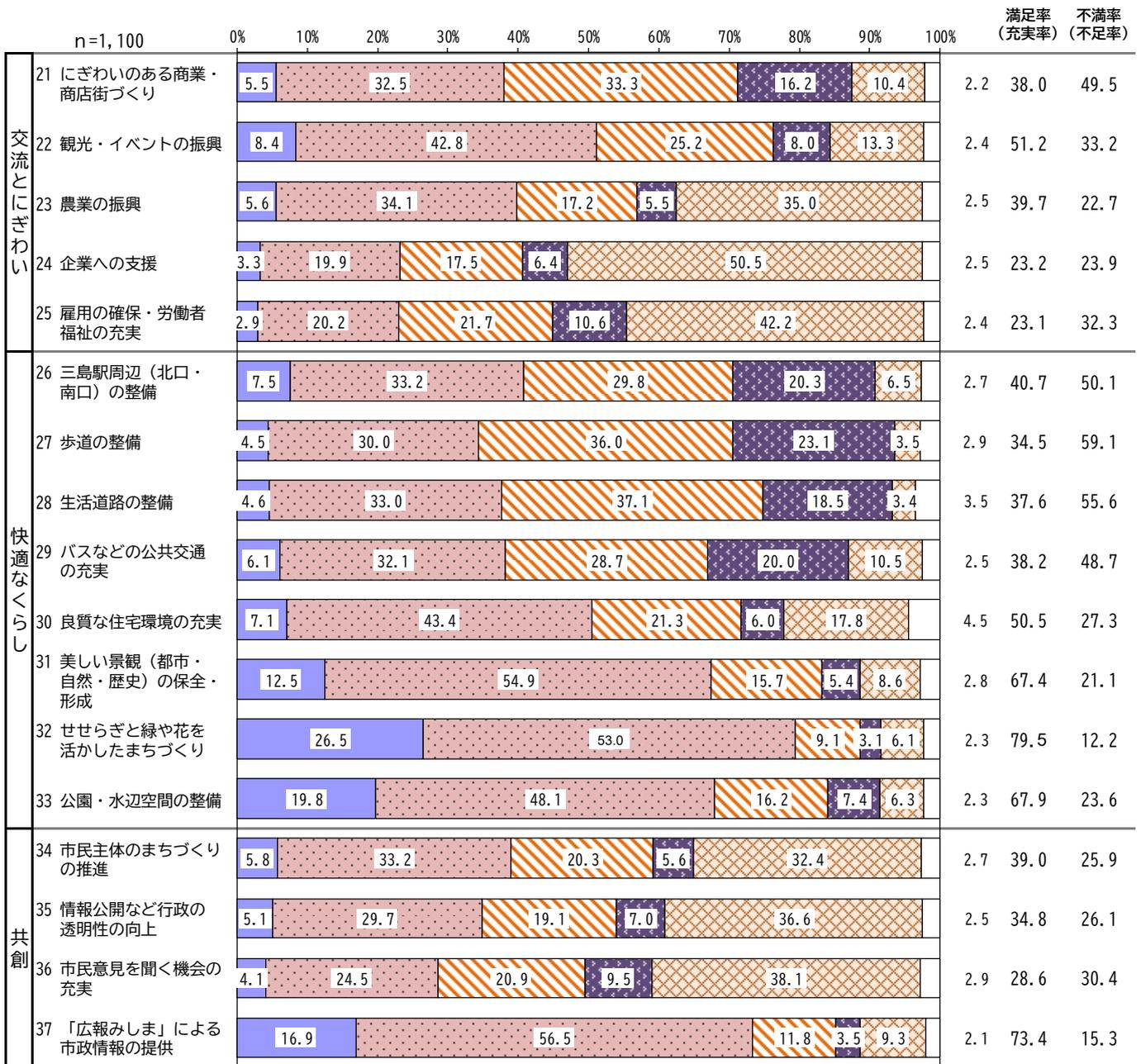
II 調査結果



満足率(充実率) = 「満足(充実)」+「やや満足(やや充実)」
 不満率(不足率) = 「やや不満(やや不足)」+「不満(不足)」

II 調査結果

満足(充実)
 やや満足(充実)
 やや不満(やや不足)
 不満(不足)
 わからない
 無回答



満足率(充実率) = 「満足(充実)」+「やや満足(やや充実)」
 不満率(不足率) = 「やや不満(やや不足)」+「不満(不足)」

II 調査結果

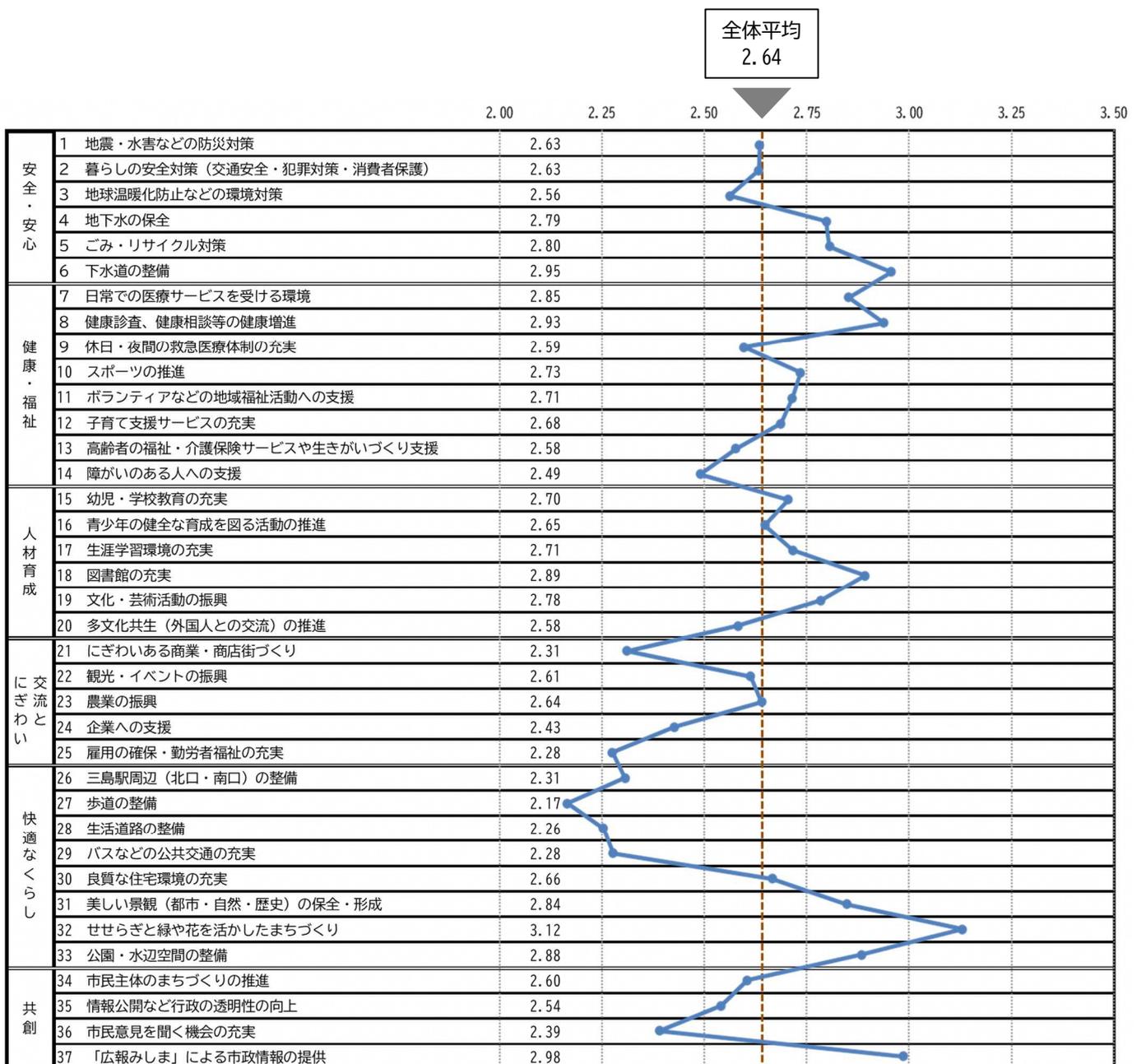
【ウェイトづけによる満足度比較】

37 項目の質問項目について、「満足度」を4つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

満足度	得点	得点の算出式
満足(充実)	→ 4点	(4点×「満足」の回答数
やや満足(やや充実)	→ 3点	+3点×「やや満足」の回答数
やや不満(やや不足)	→ 2点	+2点×「やや不満」の回答数
不満(不足)	→ 1点	+1点×「不満」の回答数
わからない・無回答	→ 計算対象外	÷「わからない」「無回答」を除く回答数

「6 下水道の整備」「32 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり」「37 「広報みしま」による市政情報の提供」が高くなっています。

一方、「25 雇用の確保・勤労者福祉の充実」「27 歩道の整備」「28 生活道路の整備」が低くなっています。



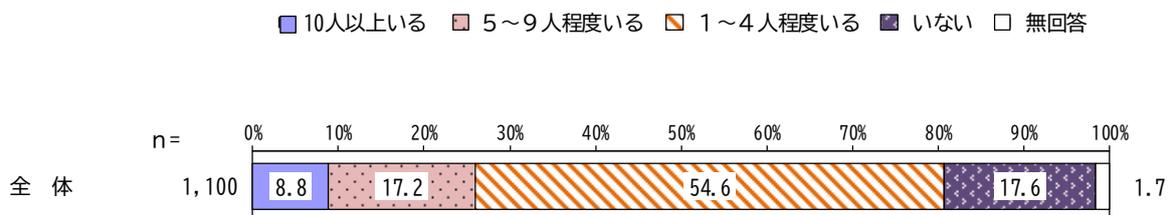
4 『各種計画の指標に関する項目』について

(1) 近所に助け合う人の有無

問6 近所に助け合うことができる人がいますか。(○は一つ)

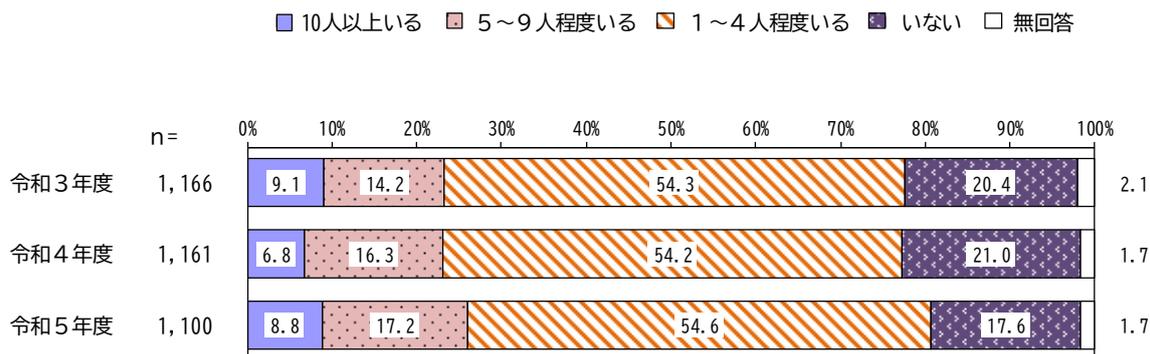
－ 近所に助け合ことができる人が「1～4人程度いる」は54.6% －

近所に助け合ことができる人がいるかについて、「1～4人程度いる」が54.6%と5割半ば近くを占めて最も高く、次いで「いない」が17.6%、「5～9人程度いる」が17.2%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「いない」の割合が減少しています。



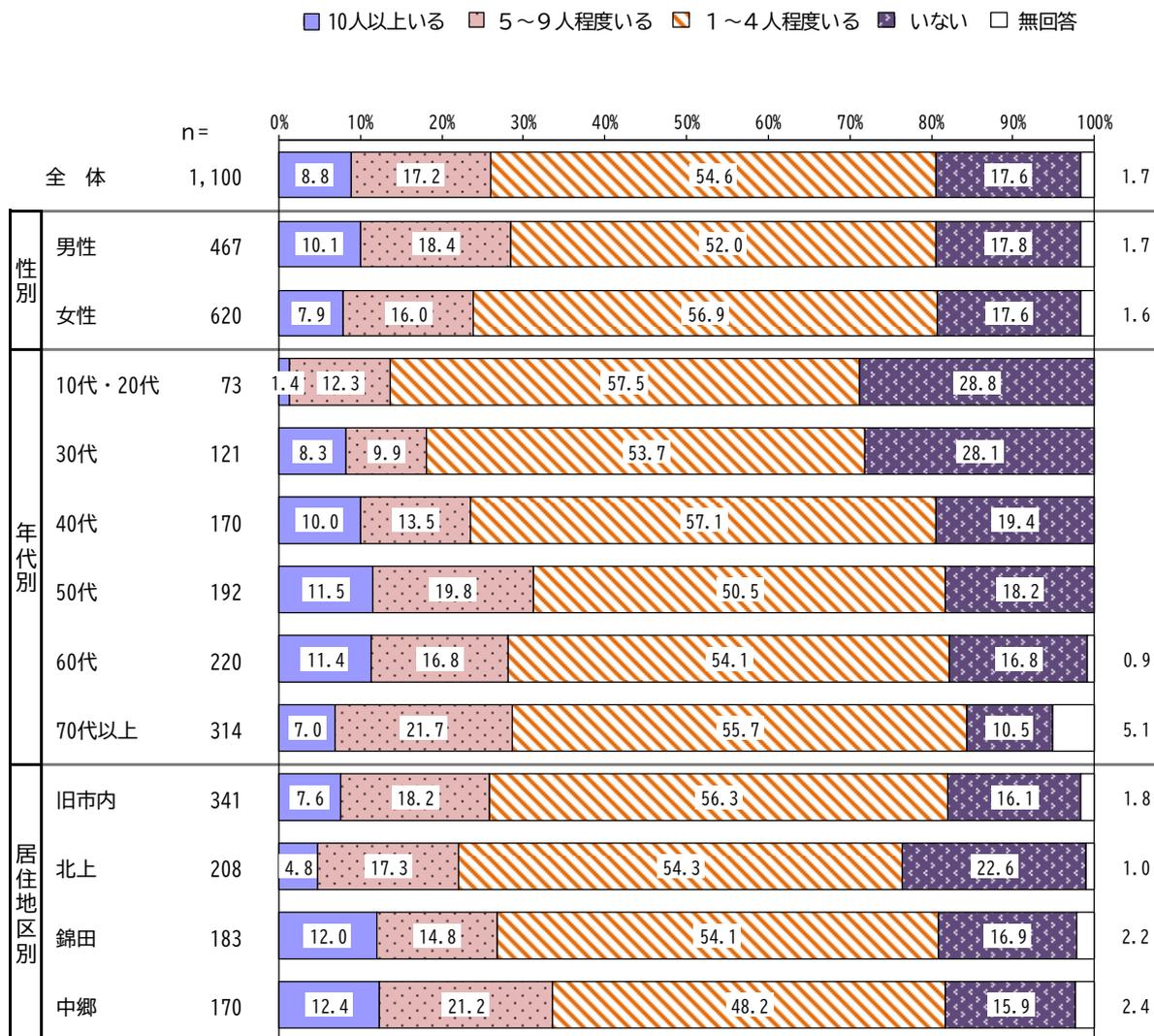
II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「1～4人程度いる」は、男性（52.0%）より女性（56.9%）の割合が高くなっています。

年代別でみると、「いない」は、10・20代（28.8%）と30代（28.1%）で3割近くを占めて高くなっています。

居住地区別でみると、「いない」は、北上（22.6%）が2割を超えて最も高くなっています。



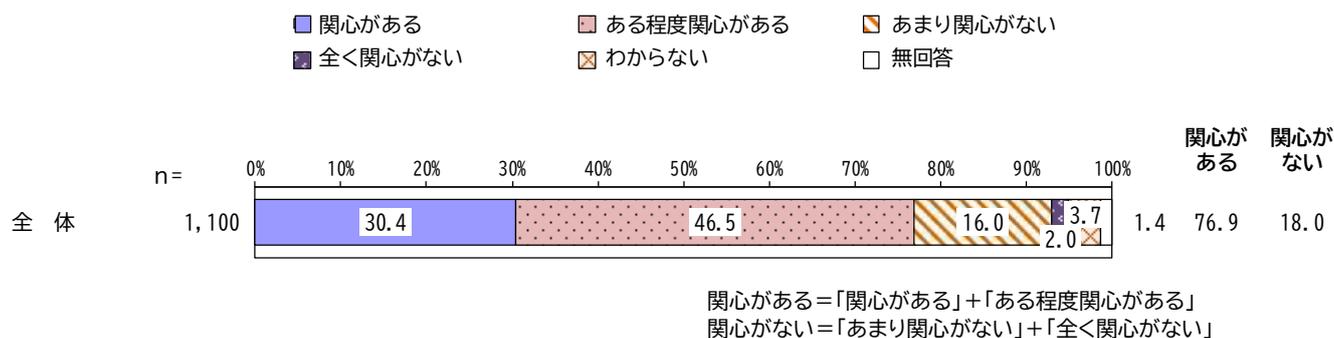
(2) 食育についての関心

問7 食育(食に関する知識や食を選択する力を身に付けること)に関心がありますか。(○は一つ)

－ 食育に“関心がある”割合は 76.9% －

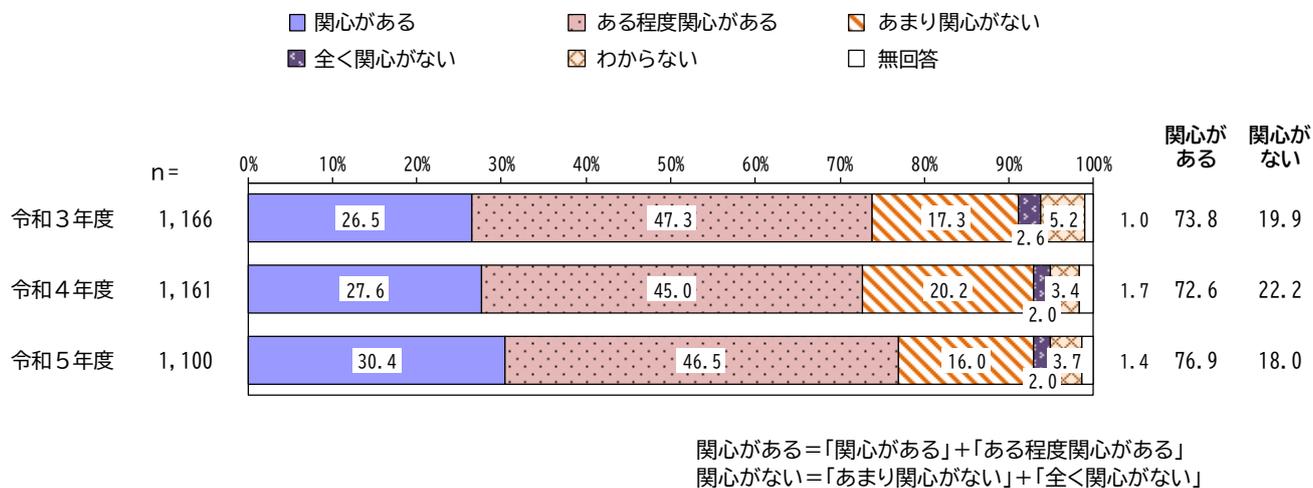
食育に関心があるかについて、「関心がある」(30.4%)と「ある程度関心がある」(46.5%)を合わせた“関心がある”は76.9%となっています。

「あまり関心がない」(16.0%)と「全く関心がない」(2.0%)を合わせた“関心がない”は18.0%となっています。



【経年比較】

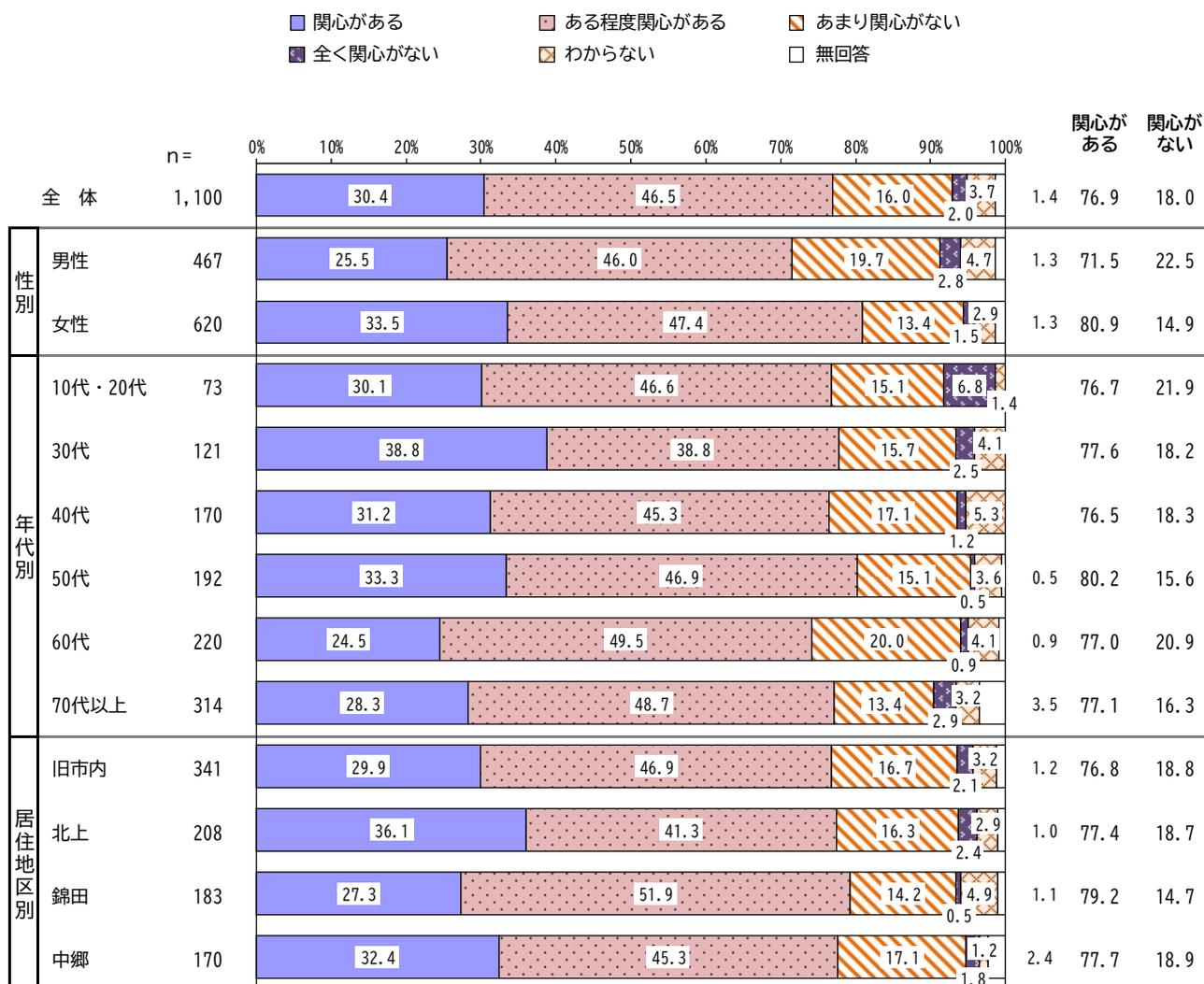
過去調査と比較すると、“関心がある”の割合は令和4年度より4.3ポイント上がっています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”は、男性（71.5%）より女性（80.9%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“関心がある”は、50代（80.2%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“関心がある”は、錦田（79.2%）が最も高くなっています。



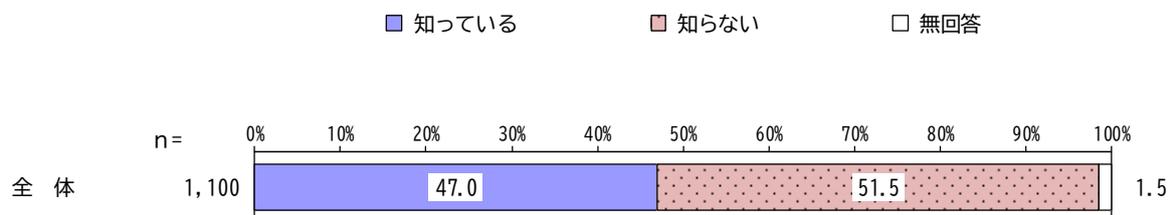
関心がある＝「関心がある」＋「ある程度関心がある」
 関心がない＝「あまり関心がない」＋「全く関心がない」

(3) 消費生活相談窓口の認知状況

問8 三島市役所に消費生活相談窓口(通信販売や契約などのトラブルに関する相談窓口)があることを知っていますか。(○は一つ)

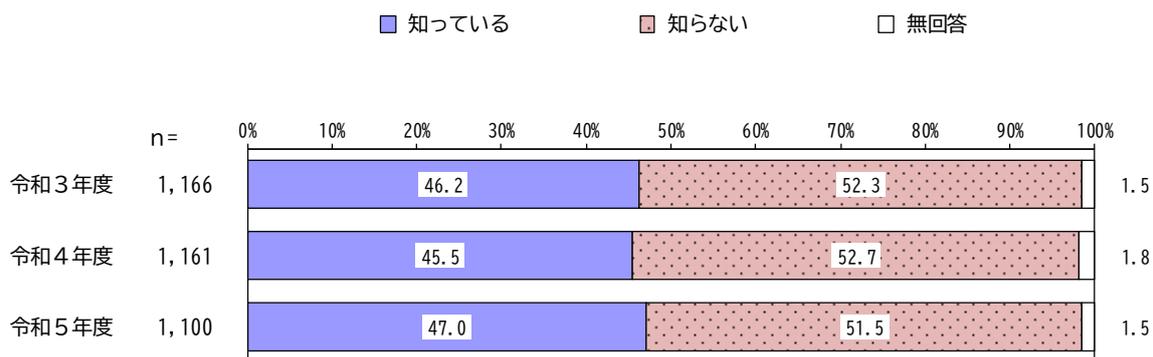
－ 消費生活相談窓口の認知状況は「知っている」が47.0% －

三島市役所にある消費生活相談窓口の認知状況について、「知っている」が47.0%、「知らない」が51.5%となっています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、あまり変化はありません。

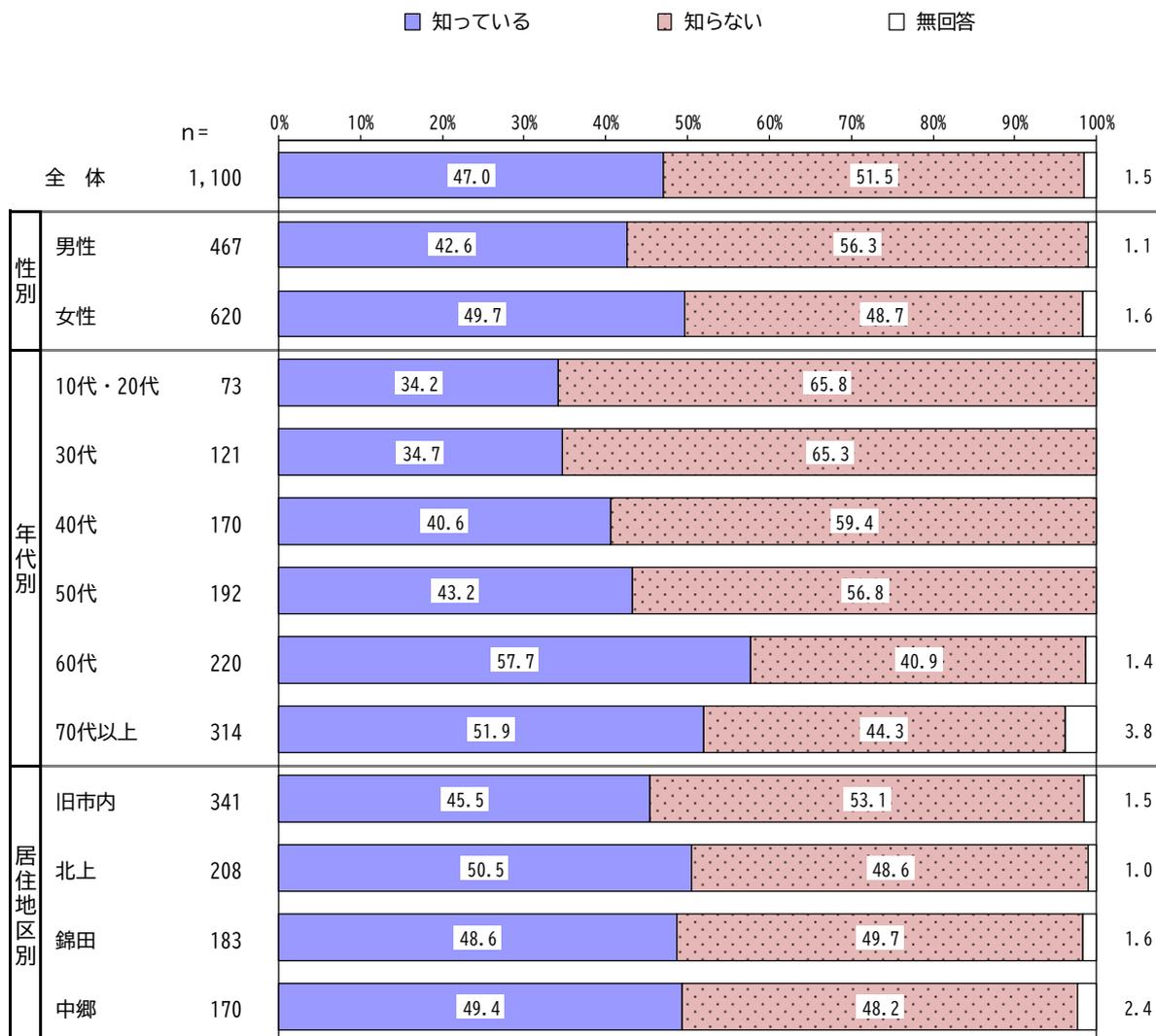


II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「知っている」は、男性（42.6%）より女性（49.7%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、「知っている」は、年代が上がるにつれて増加傾向にあり、60代（57.7%）と70代以上（51.9%）で5割を超えています。

居住地区別でみると、「知っている」は、北上（50.5%）が5割を占めて最も高くなっています。



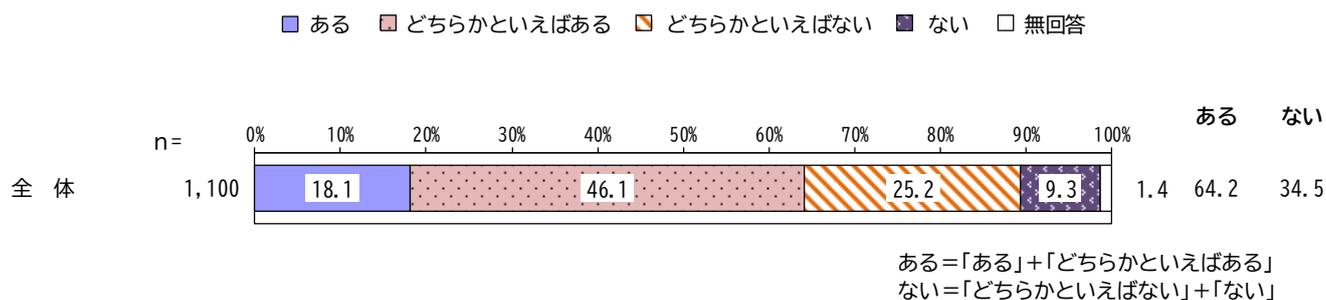
(4) エシカル消費への意識

問9 商品やサービスを選択する際に、環境への配慮、地産地消、障がい者支援など社会貢献につながる消費(エシカル消費)を意識することがありますか。(○は一つ)

－ エシカル消費を意識することが“ある”は 64.2% －

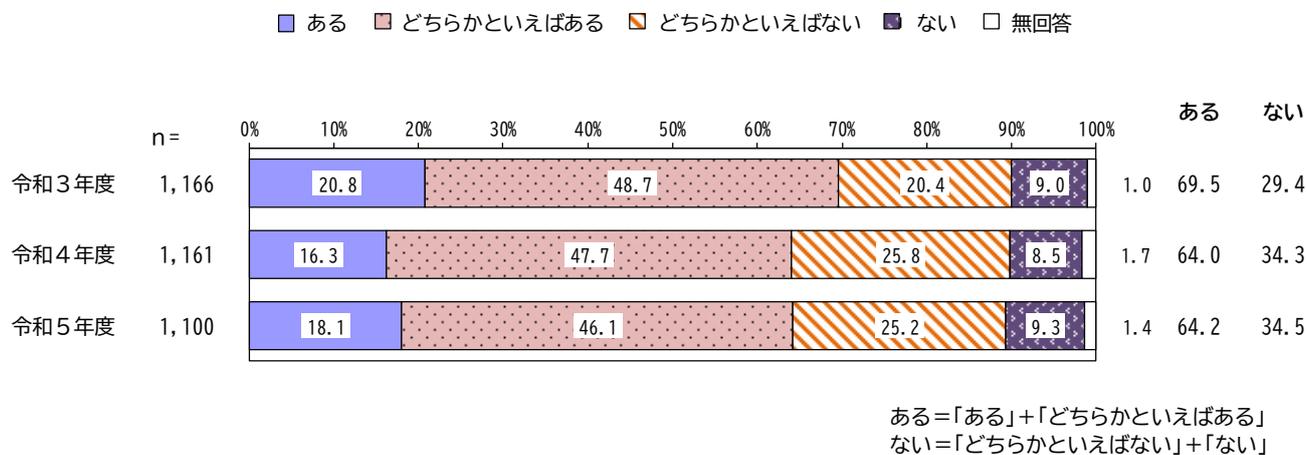
エシカル消費への意識について、「ある」(18.1%)と「どちらかといえばある」(46.1%)を合わせた“ある”は64.2%となっています。

「どちらかといえばない」(25.2%)と「ない」(9.3%)を合わせた“ない”は34.5%となっています。



【経年比較】

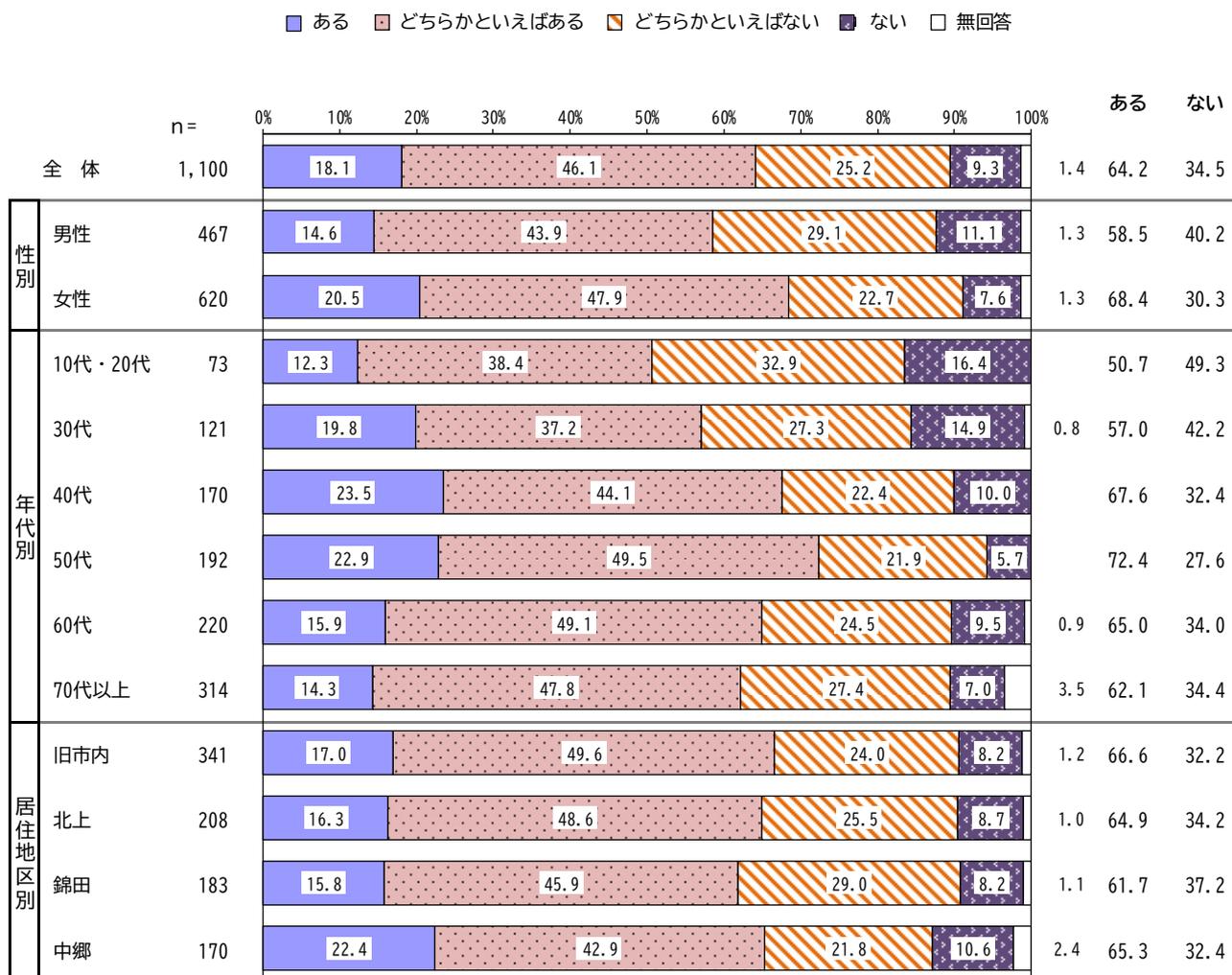
過去調査と比較すると、令和4年度よりあまり変化ありません。



II 調査結果

【属性別比較】

性別で見ると、“ある”は、男性（58.5%）より女性（68.4%）の割合が高くなっています。
 年代別で見ると、“ある”は、50代（72.4%）が7割を超えて最も高くなっています。
 居住地区別で見ると、“ある”は、旧市内（66.6%）が最も高くなっています。



ある = 「ある」 + 「どちらかといえばある」
 ない = 「どちらかといえばない」 + 「ない」

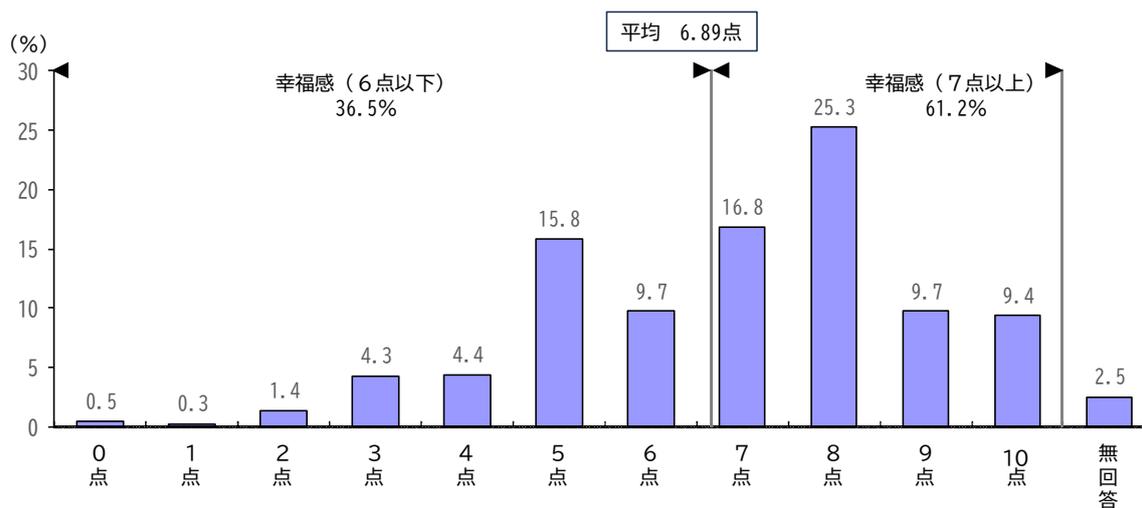
5 『幸福感』について

(1) 幸福感

問 10 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの点数を 1 つだけ○で囲んでください。

－ 現在の幸福感の平均は 6.89 点 －

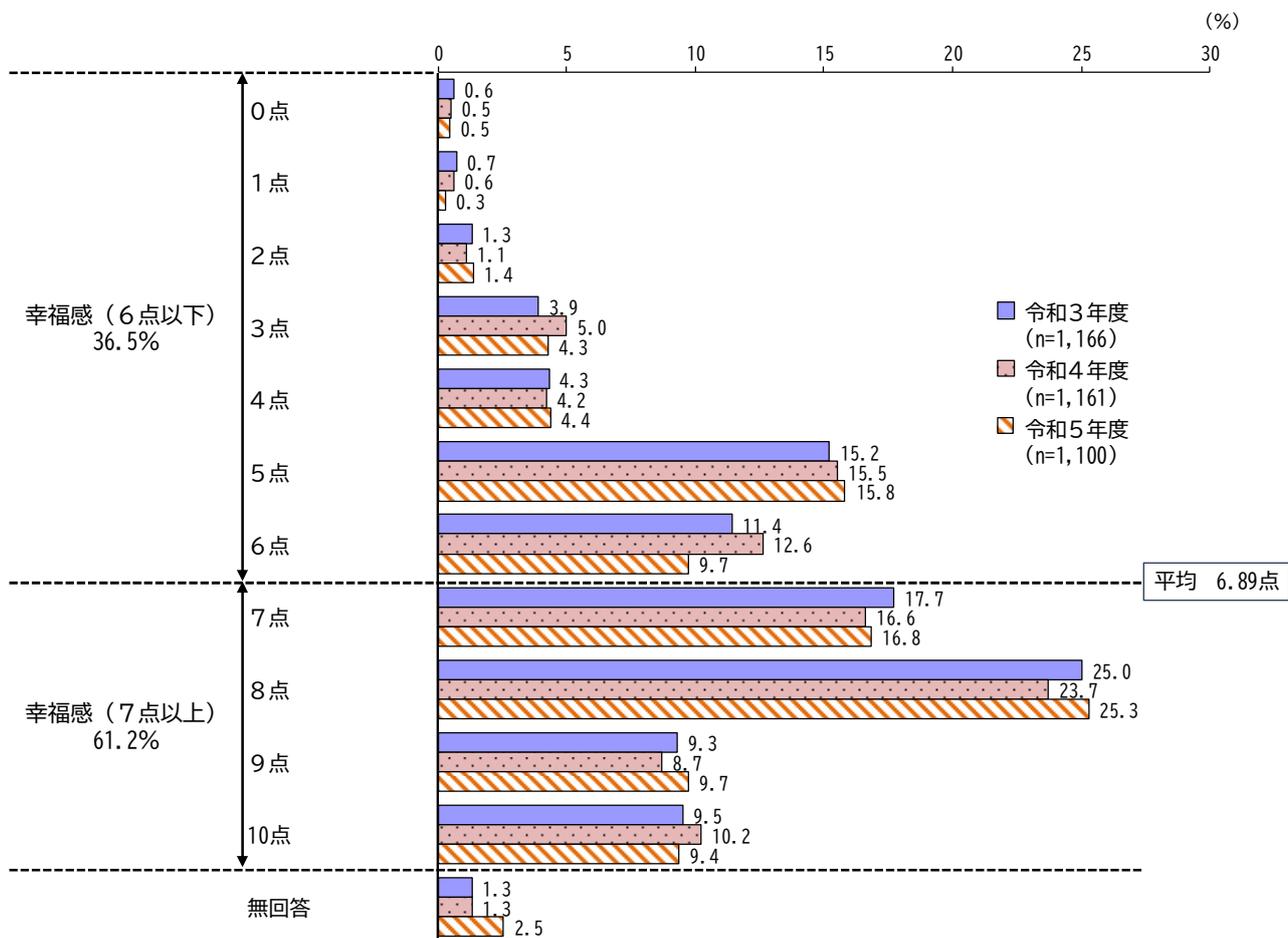
現在の幸福感について、「8 点」の割合が 25.3%と最も高く、次いで「7 点」の割合が 16.8%、「5 点」の割合が 15.8%となっています。



II 調査結果

【経年比較】

過去調査と比較すると、幸福感（6点以下）が令和4年度より3.0ポイント下がっています。



区分	調査数	幸福感 (%)		無回答 (%)	平均 (点)
		6点以下	7点以上		
令和3年度調査	1,166	37.4	61.5	1.3	6.87
令和4年度調査	1,161	39.5	59.2	1.3	6.82
令和5年度調査	1,100	36.5	61.2	2.5	6.89

【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに、「8点」(男性 25.1%、女性 25.8%) が最も高くなっています。
 年代別で見ると、すべての年代で「8点」が最も高くなっています。
 居住地区別で見ると、すべての居住地区で「8点」が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,100	0.5	0.3	1.4	4.3	4.4	15.8	9.7	16.8	25.3	9.7	9.4	2.5
性別	男性	467	0.4	0.6	1.7	5.6	6.0	17.1	7.1	19.1	25.1	8.1	7.3	1.9
	女性	620	0.5	0.0	1.1	3.4	3.2	14.8	11.8	14.8	25.8	10.8	10.8	2.9
年代別	10代・20代	73	2.7	0.0	0.0	2.7	5.5	15.1	16.4	17.8	23.3	11.0	4.1	1.4
	30代	121	0.0	0.0	2.5	5.0	4.1	14.9	11.6	14.9	25.6	8.3	13.2	0.0
	40代	170	0.0	1.2	2.4	4.1	5.3	13.5	5.9	22.4	23.5	7.6	12.4	1.8
	50代	192	0.5	0.0	2.1	5.2	4.7	14.6	12.0	18.2	20.3	10.4	10.4	1.6
	60代	220	0.5	0.5	0.9	3.6	3.6	16.8	9.5	18.2	32.3	7.3	4.1	2.7
	70代以上	314	0.3	0.0	0.6	4.5	4.1	17.2	8.3	12.1	25.2	12.4	10.5	4.8
居住地区別	旧市内	341	0.3	0.3	0.6	4.4	3.2	15.0	9.1	15.8	28.2	12.0	8.2	2.9
	北上	208	0.0	0.0	0.5	4.3	3.8	14.9	7.7	21.6	25.5	8.2	10.1	3.4
	錦田	183	0.0	0.0	2.2	3.3	4.9	16.9	13.7	15.3	26.2	8.7	7.1	1.6
	中郷	170	0.0	0.0	1.8	5.3	5.3	14.7	7.6	17.6	25.3	7.1	12.9	2.4

1位

2位

3位

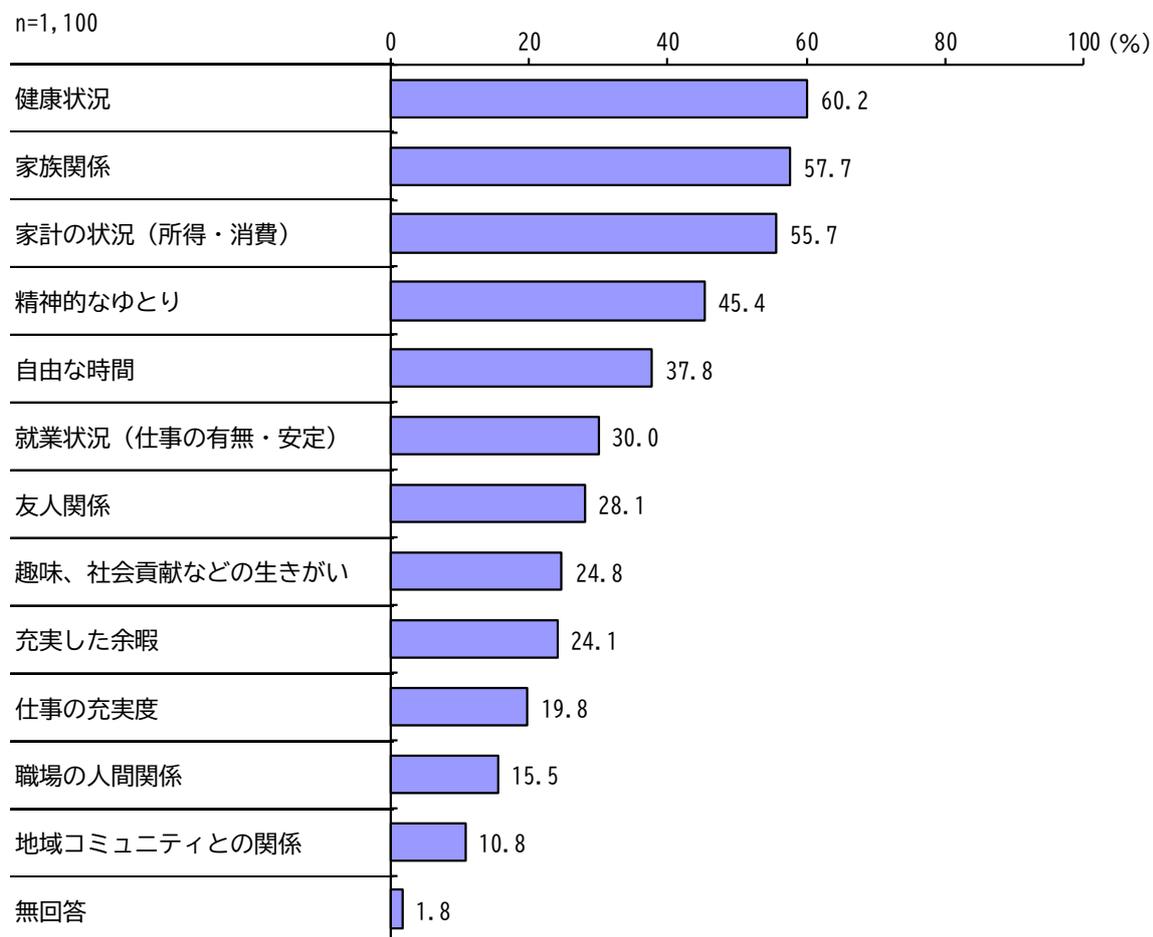
II 調査結果

(2) 幸福感の判断事項

問 11 問 10 で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(○はいくつでも)

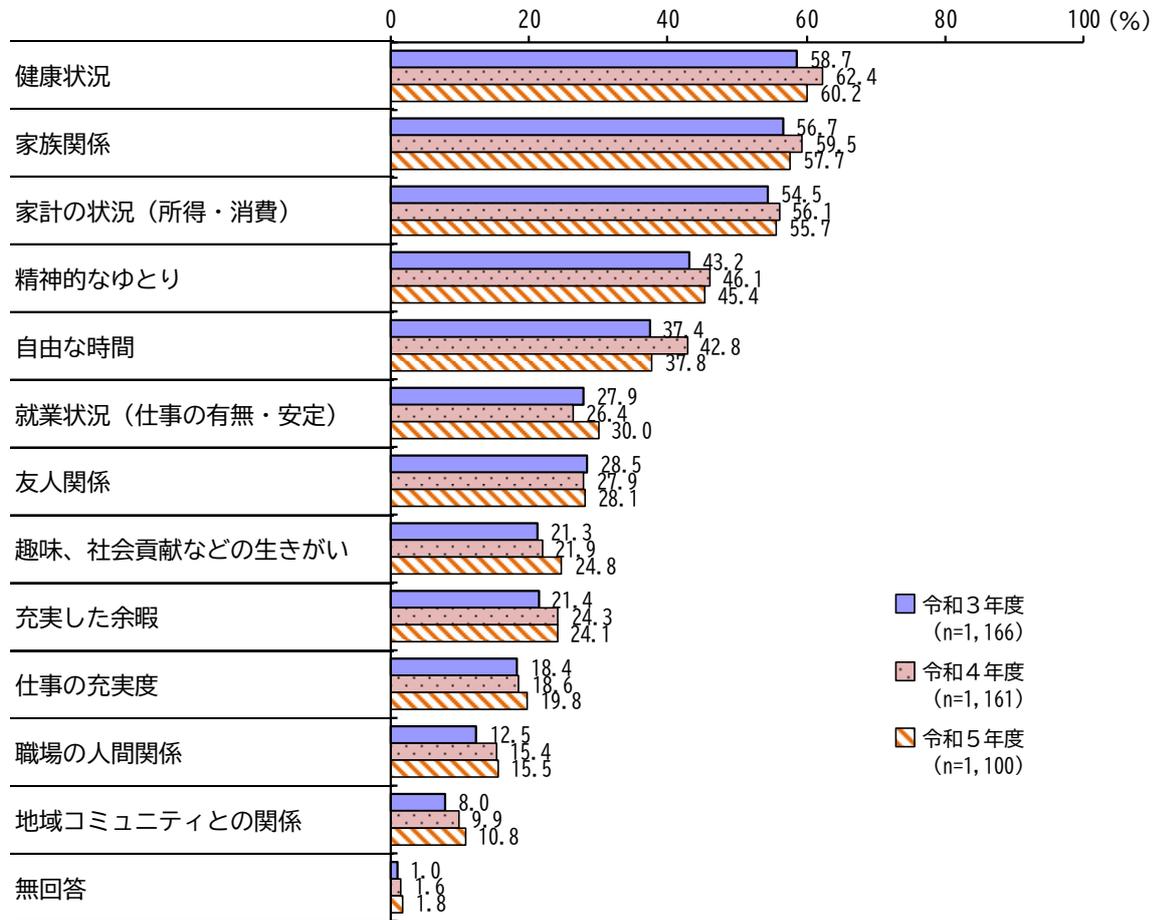
－幸福感を判断する際に重視するのは「健康状況」で 60.2%－

幸福感を判断する際に重視した事項について、「健康状況」が 60.2%と 6割に達し最も高く、次いで「家族関係」が 57.7%、「家計の状況（所得・消費）」が 55.7%と 5割を超えて続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「趣味、社会貢献などの生きがい」が増加しています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別で見ると、男性では「健康状況」（60.2%）、女性では「家族関係」（62.3%）が、最も高くなっています。

年代別で見ると、30代・40代では「家族関係」が、60代・70代以上では「健康状況」が最も高くなっています。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「健康状況」が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	家計の状況（所得・消費）	就業状況（仕事の有無・安定）	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの関係	無回答
全体		1,100	55.7	30.0	60.2	37.8	24.1	19.8	45.4	24.8	57.7	28.1	15.5	10.8	1.8
性別	男性	467	57.2	31.9	60.2	33.0	27.2	22.5	42.0	25.7	51.6	22.1	14.8	11.6	1.7
	女性	620	54.8	28.4	60.2	41.8	21.8	17.6	48.1	23.7	62.3	32.6	16.1	10.0	1.9
年代別	10代・20代	73	50.7	42.5	45.2	45.2	41.1	19.2	46.6	34.2	45.2	32.9	21.9	9.6	0.0
	30代	121	57.9	47.9	49.6	38.0	23.1	30.6	57.9	26.4	66.9	36.4	28.9	12.4	0.0
	40代	170	58.8	42.9	53.5	38.2	30.6	30.0	50.0	27.6	65.3	30.6	27.6	14.1	0.6
	50代	192	68.2	42.7	64.1	36.5	27.6	29.2	53.6	27.6	59.9	24.0	20.8	8.3	0.5
	60代	220	55.9	21.8	64.5	38.6	17.7	12.7	41.4	20.5	59.5	24.1	9.1	7.7	4.1
	70代以上	314	46.8	10.8	65.9	36.6	19.1	9.6	36.0	21.7	50.0	28.0	3.8	12.1	2.9
居住地区別	旧市内	341	56.0	29.3	62.2	38.1	25.8	19.6	43.4	28.7	58.1	28.2	13.2	14.1	1.5
	北上	208	60.6	27.9	64.4	39.9	24.0	16.8	47.1	19.2	56.7	28.8	13.5	7.2	2.4
	錦田	183	59.0	31.1	63.9	37.7	23.0	20.8	41.0	23.5	61.2	28.4	16.4	9.8	1.6
	中郷	170	47.1	30.0	55.3	39.4	19.4	18.8	52.4	28.8	53.5	25.9	20.0	9.4	2.4

1位

2位

3位

6 『健康』について

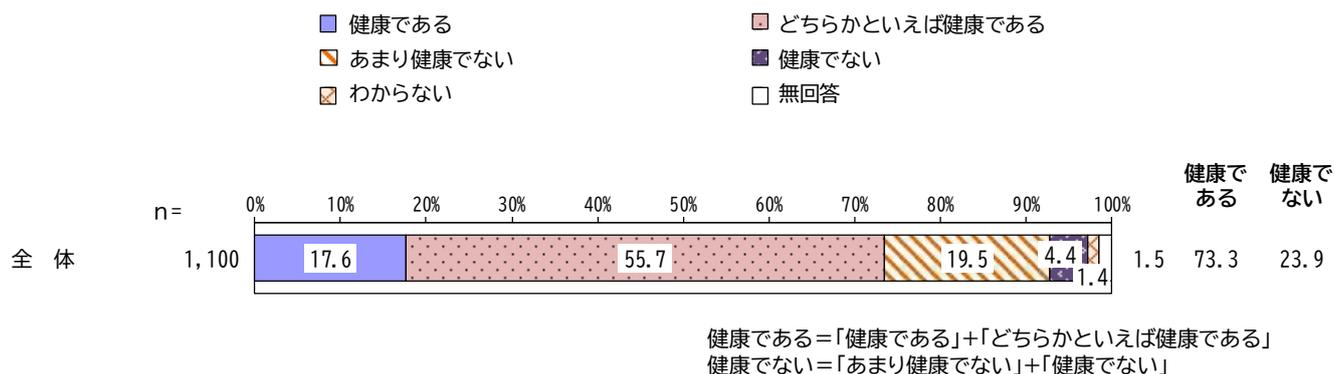
(1) 現在の健康状態

問 12 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(○は一つ)

－ 現在“健康である”と感じている人は 73.3% －

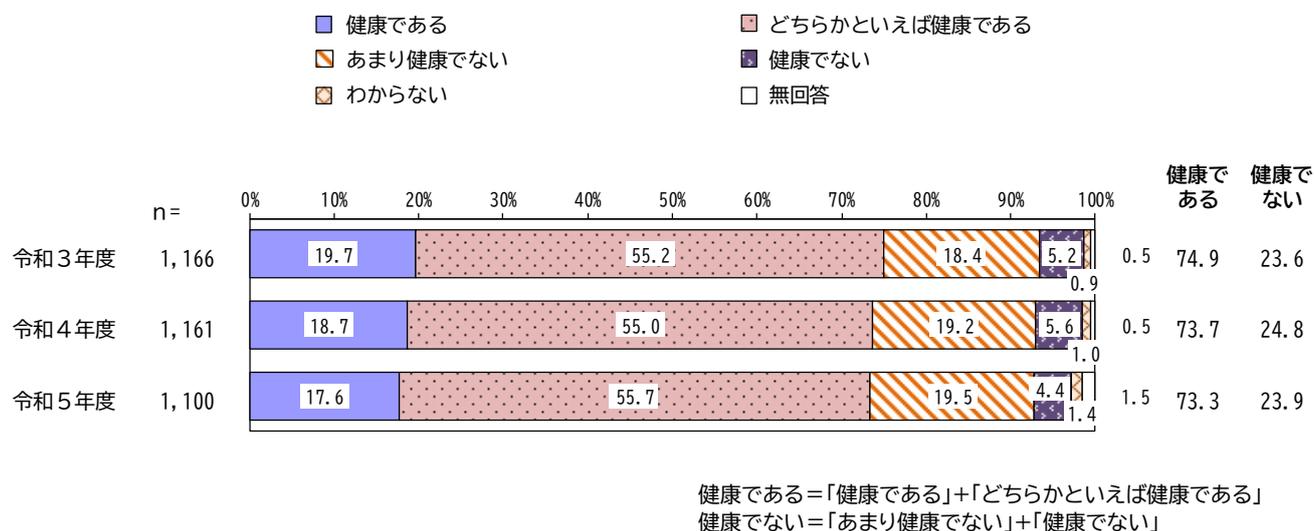
現在の健康状態について、「健康である」(17.6%)と「どちらかといえば健康である」(55.7%)を合わせた“健康である”は 73.3%となっています。

一方、「あまり健康でない」(19.5%)と「健康でない」(4.4%)を合わせた“健康でない”は 23.9%となっています。



【経年比較】

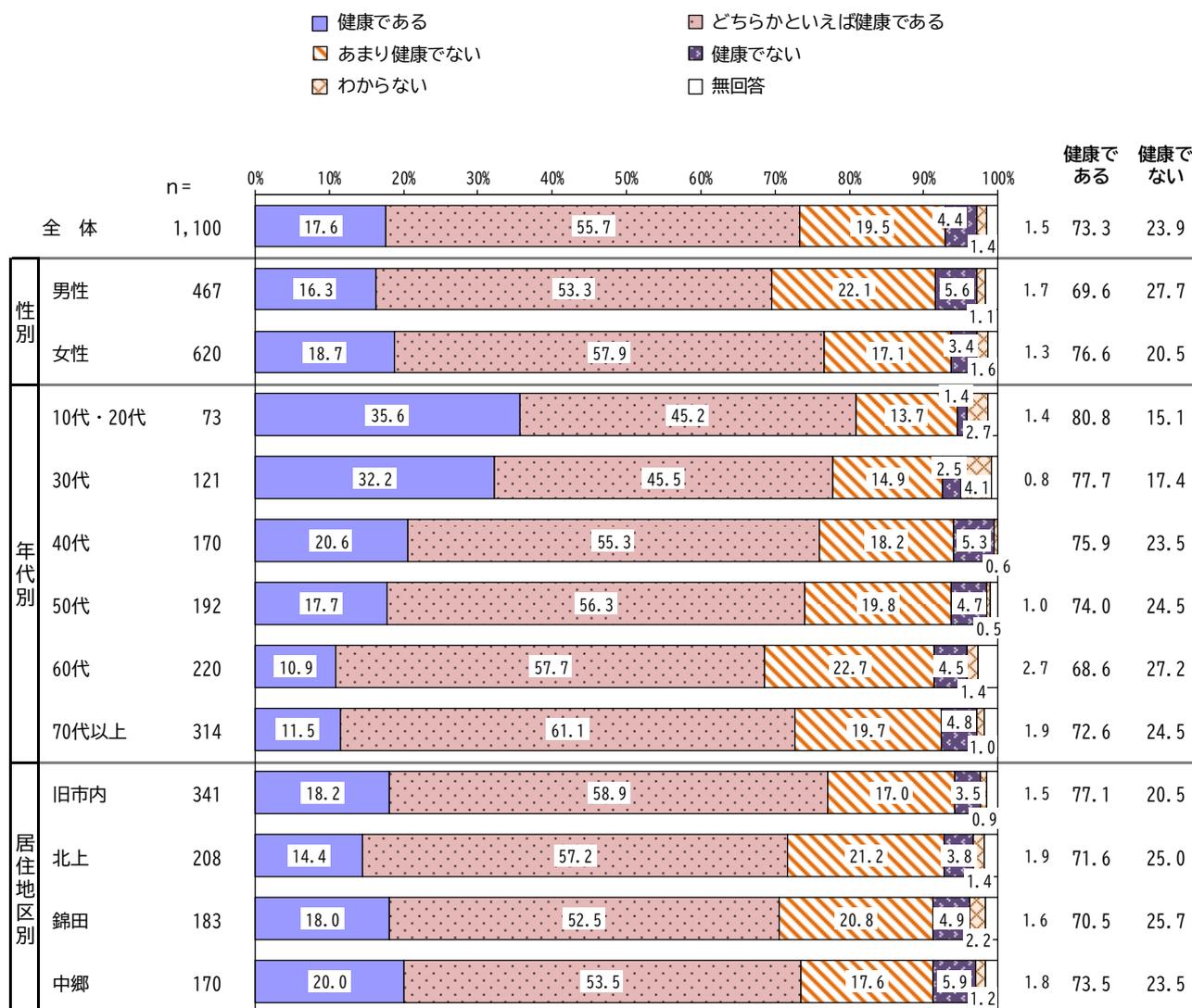
過去調査と比較すると、あまり変化はありません。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、“健康である”は、男性（69.6%）より女性（76.6%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“健康である”は、60代（68.6%）で7割を切って最も低くなっています。
 居住地区別でみると、“健康である”は旧市内（77.1%）が、最も高くなっています。



健康である = 「健康である」 + 「どちらかといえば健康である」
 健康でない = 「あまり健康でない」 + 「健康でない」

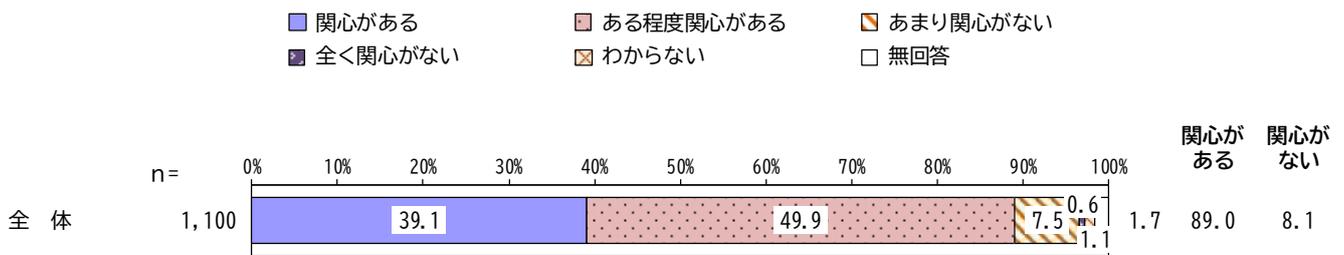
(2) 健康づくりへの関心

問 13 あなたは、健康づくりに関心がありますか。(○は一つ)

－ 健康づくりに“関心がある”割合は 89.0% －

健康づくりに関心があるかについて、「関心がある」(39.1%)と「ある程度関心がある」(49.9%)を合わせた“関心がある”は 89.0%となっています。

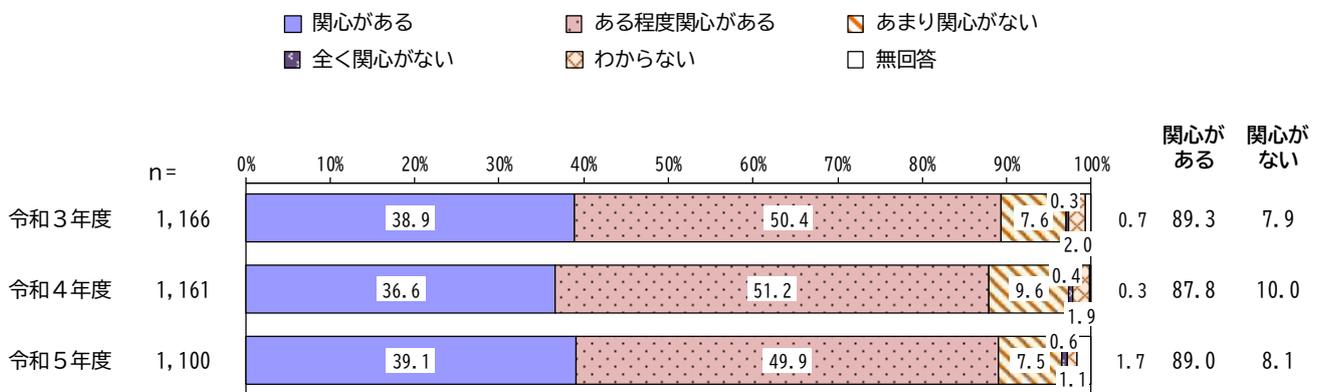
一方、「あまり関心がない」(7.5%)と「全く関心がない」(0.6%)を合わせた“関心がない”は 8.1%となっています。



関心がある＝「関心がある」＋「ある程度関心がある」
 関心がない＝「あまり関心がない」＋「全く関心がない」

【経年比較】

過去調査と比較すると、あまり変化はありません。

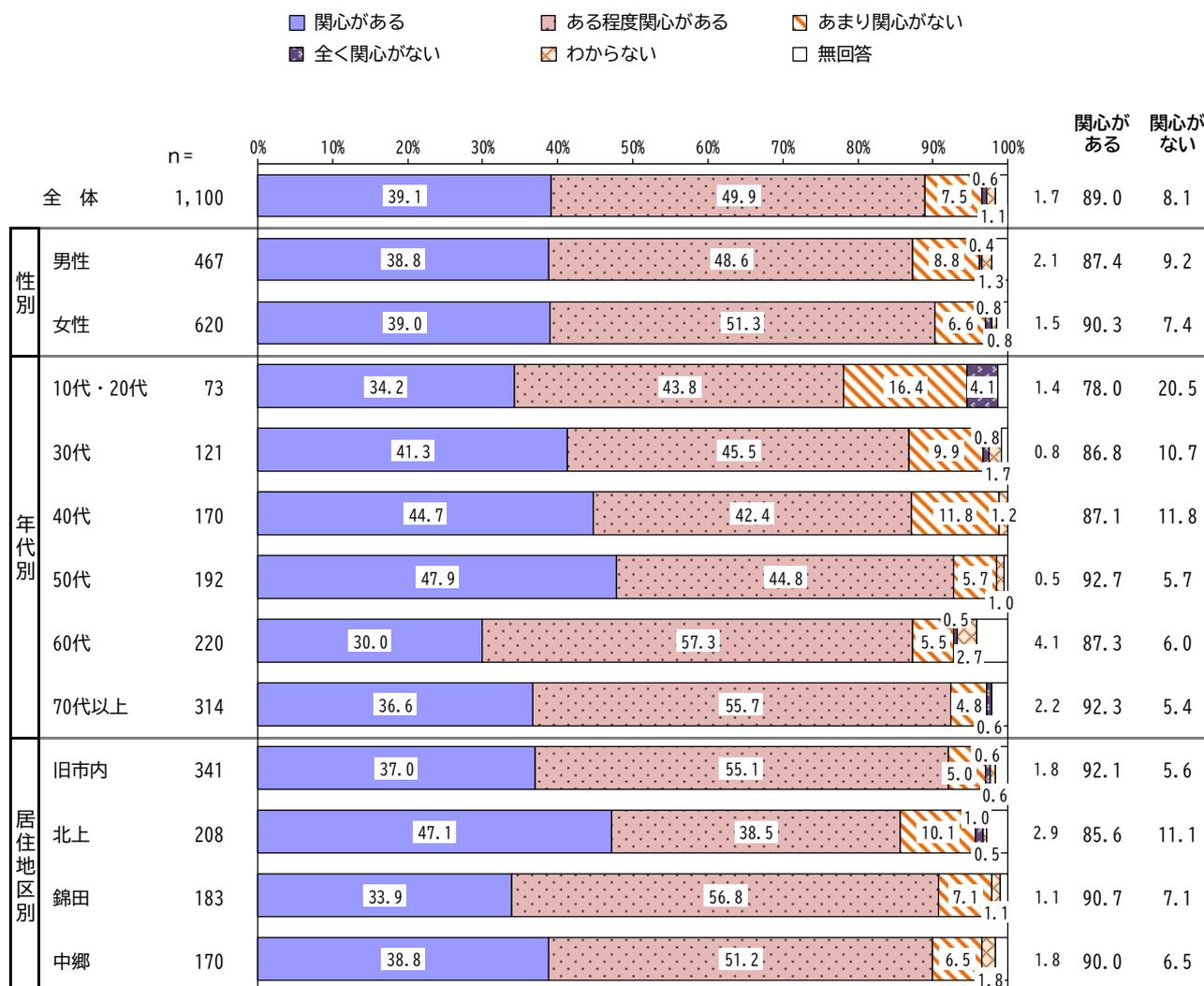


関心がある＝「関心がある」＋「ある程度関心がある」
 関心がない＝「あまり関心がない」＋「全く関心がない」

II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”は、男性（87.4%）より女性（90.3%）の割合が高くなっています。
 年代別でみると、“関心がある”は、50代（92.7%）で9割を超えて最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“関心がある”は、北上（85.6%）以外の地区で9割を超えて高くなっています。



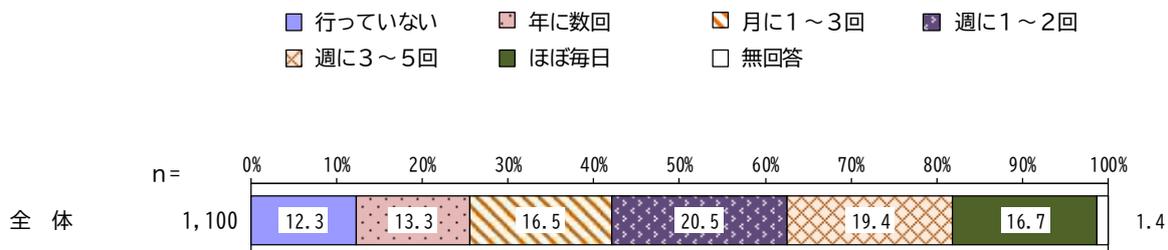
関心がある＝「関心がある」＋「ある程度関心がある」
 関心がない＝「あまり関心がない」＋「全く関心がない」

(3) 運動の状況

問 14 あなたは、この1年のあいだに運動を行いましたか。(運動には、ウォーキング[通勤・散歩・ぶらぶら歩き・一駅歩き等]を含みます。)(○は一つ)

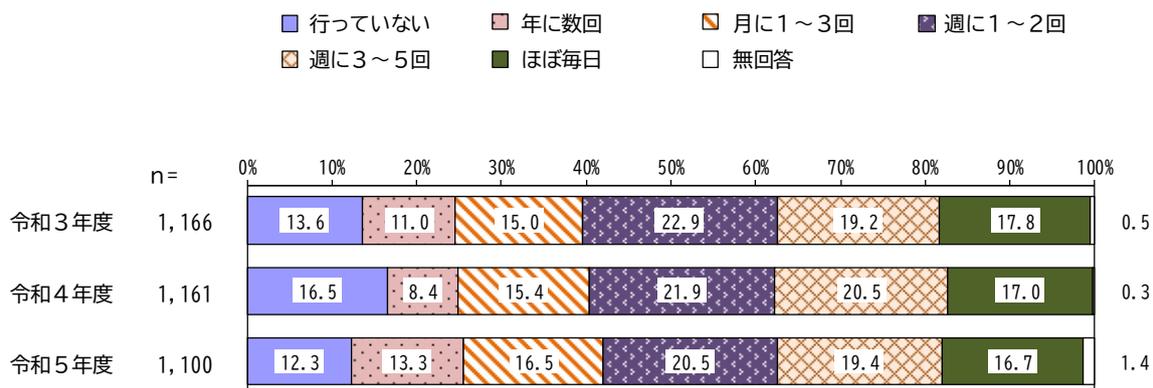
－ 直近1年間で運動を行った頻度は「週に1～2回」が 20.5% －

直近1年間で運動を行った頻度について、「週に1～2回」が20.5%と最も高く、次いで「週に3～5回」の割合が19.4%、「ほぼ毎日」が16.7%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「行っていない」の割合は令和4年度より 4.2 ポイント下がっています。



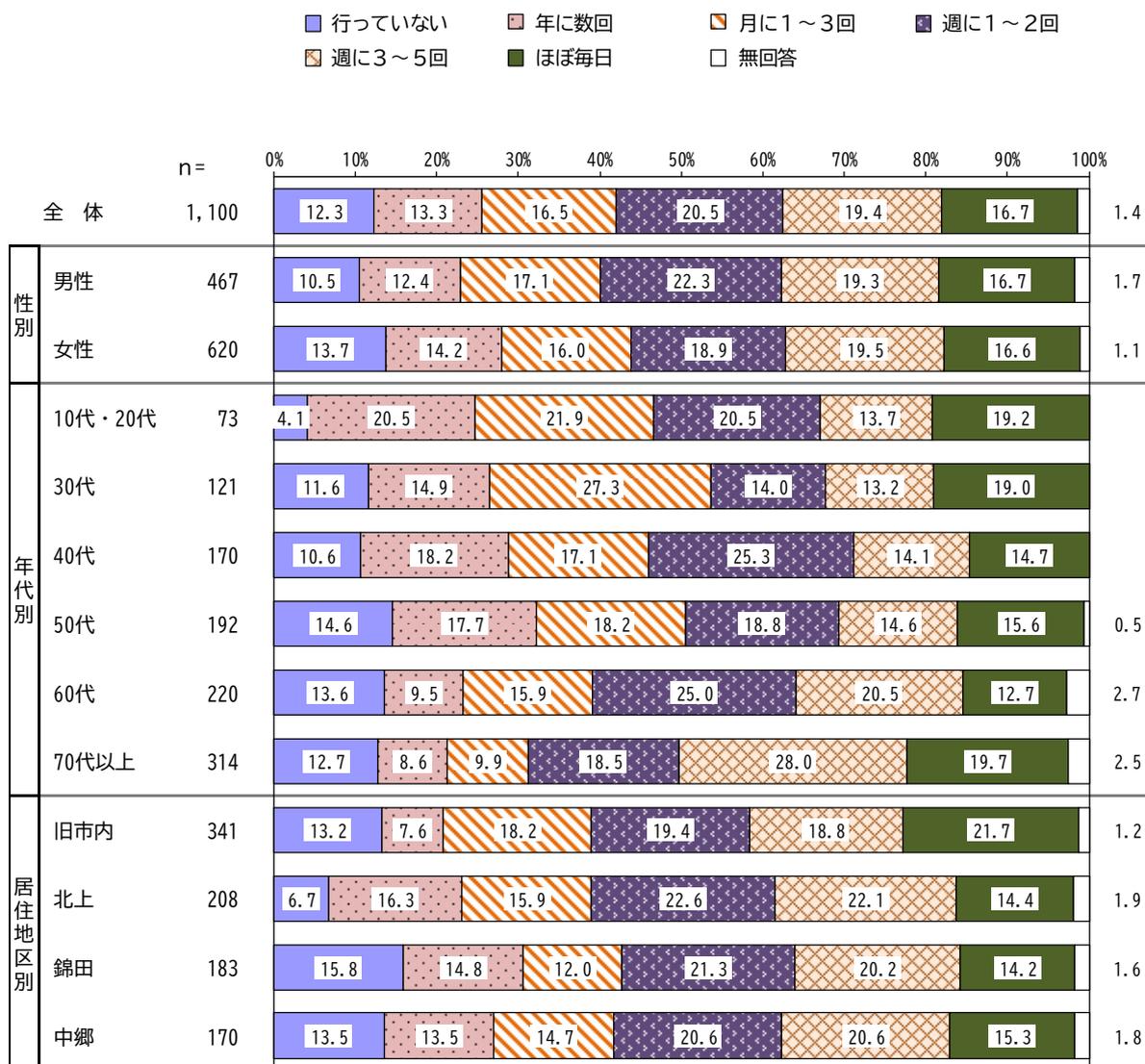
II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「週に1～2回」は、男性（22.3%）の割合が女性（18.9%）よりも高くなっています。

年代別でみると、「行っていない」は、10代・20代（4.1%）で1割を切って最も低くなっています。

居住地区別でみると、「ほぼ毎日」は、旧市内（21.7%）が最も高くなっています。

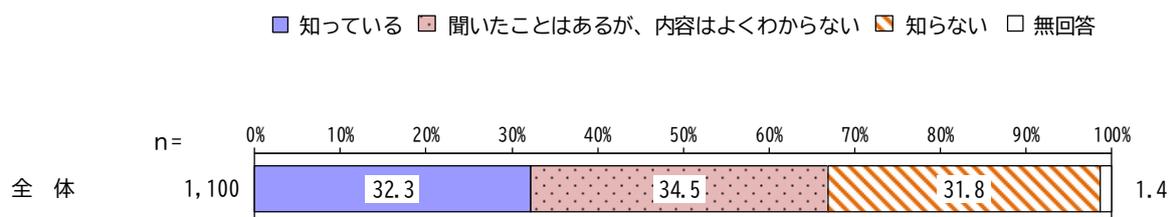


(4) 健幸都市の取り組みの認知状況

問 15 三島市が健幸都市(スマートウエルネスみしま)の取り組みを行っていることを知っていますか。(〇は一つ)

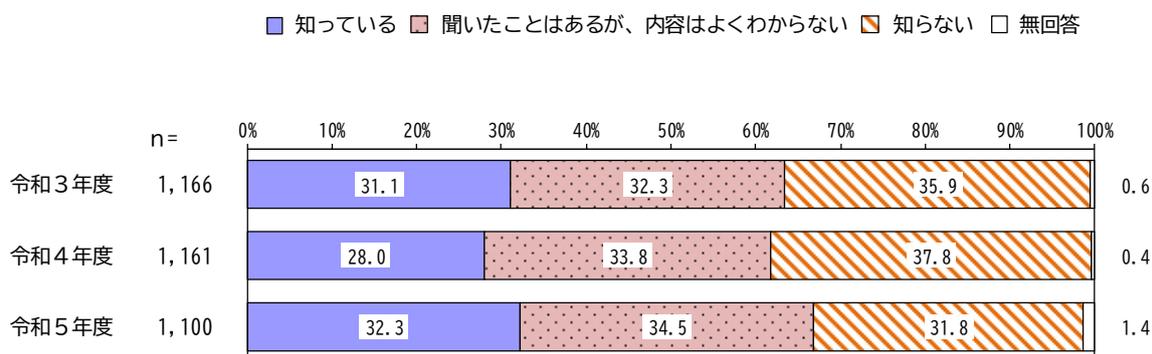
－ 健幸都市の取り組みの認知状況は「知っている」が 32.3% －

三島市が健幸都市(スマートウエルネスみしま)の取り組みを行っていることを知っているかについて、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が 34.5%と最も高く、次いで「知っている」が 32.3%、「知らない」が 31.8%と、いずれも 3 割台を占めています。



【経年比較】

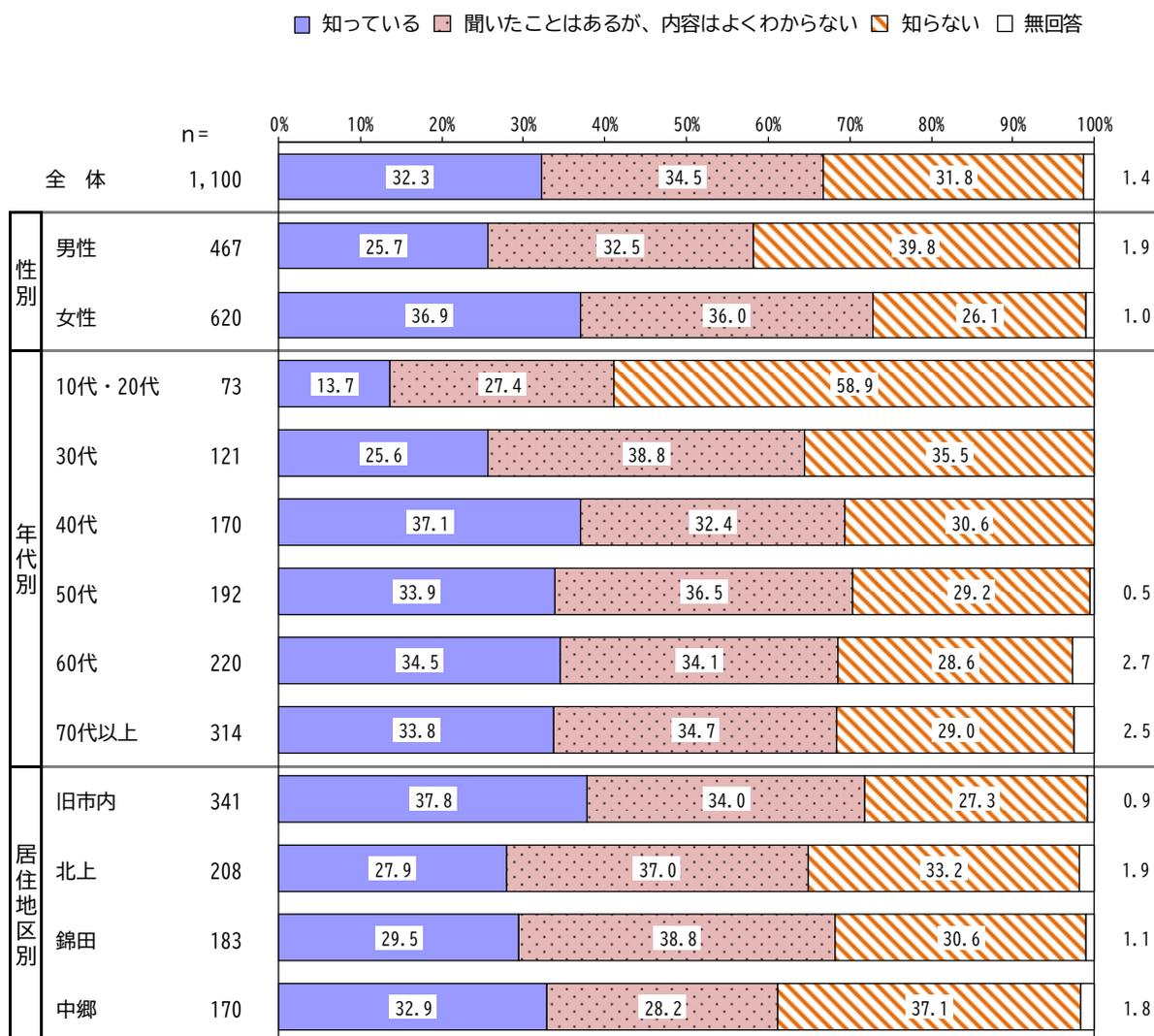
過去調査と比較すると、「知っている」の割合は令和 4 年度より 4.3 ポイント上がっています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「知らない」は、男性（39.8%）の割合が女性（26.1%）よりも高くなっています。年代別でみると、「知らない」は、10代・20代（58.9%）で6割近くを占め最も高くなっています。居住地区別でみると、「知らない」は、中郷（37.1%）が最も高くなっています。



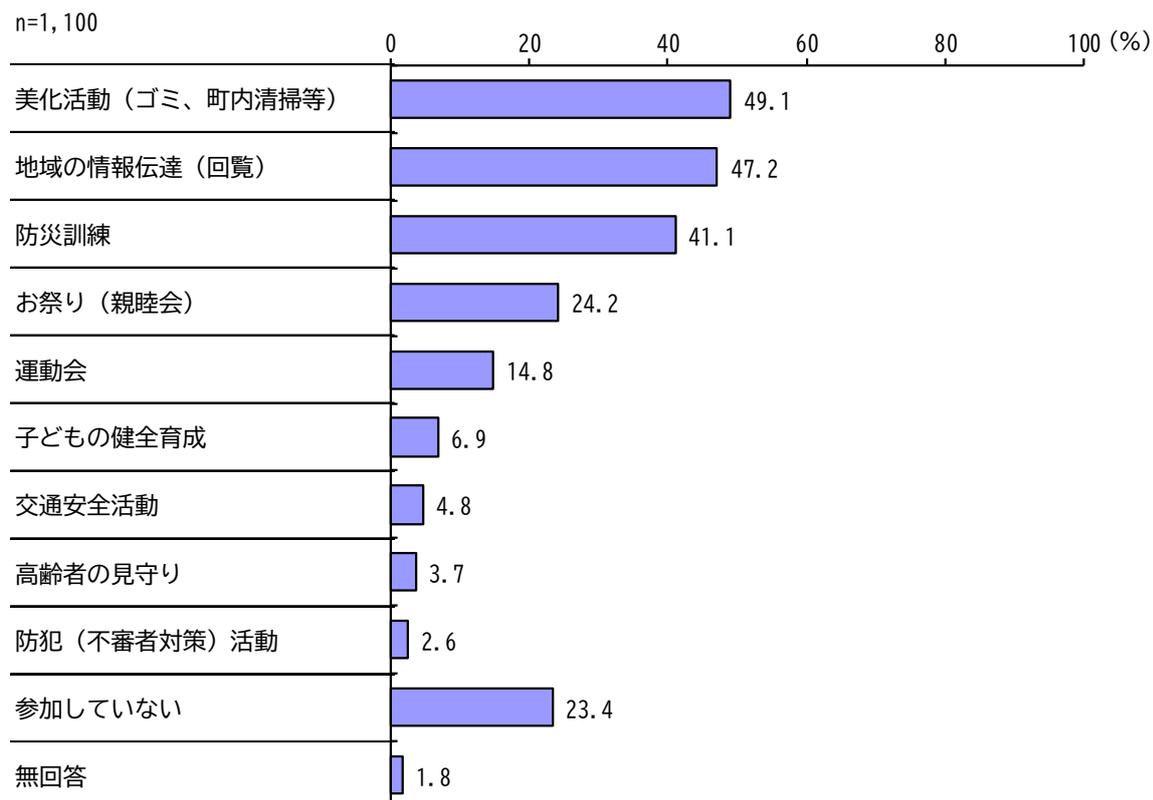
7 『自治会・町内会での活動』について

(1) 自治会・町内会での活動

問 16 あなたは、自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか。(〇はいくつでも)

－ 自治会・町内会の活動に“参加している”割合は 74.8% －

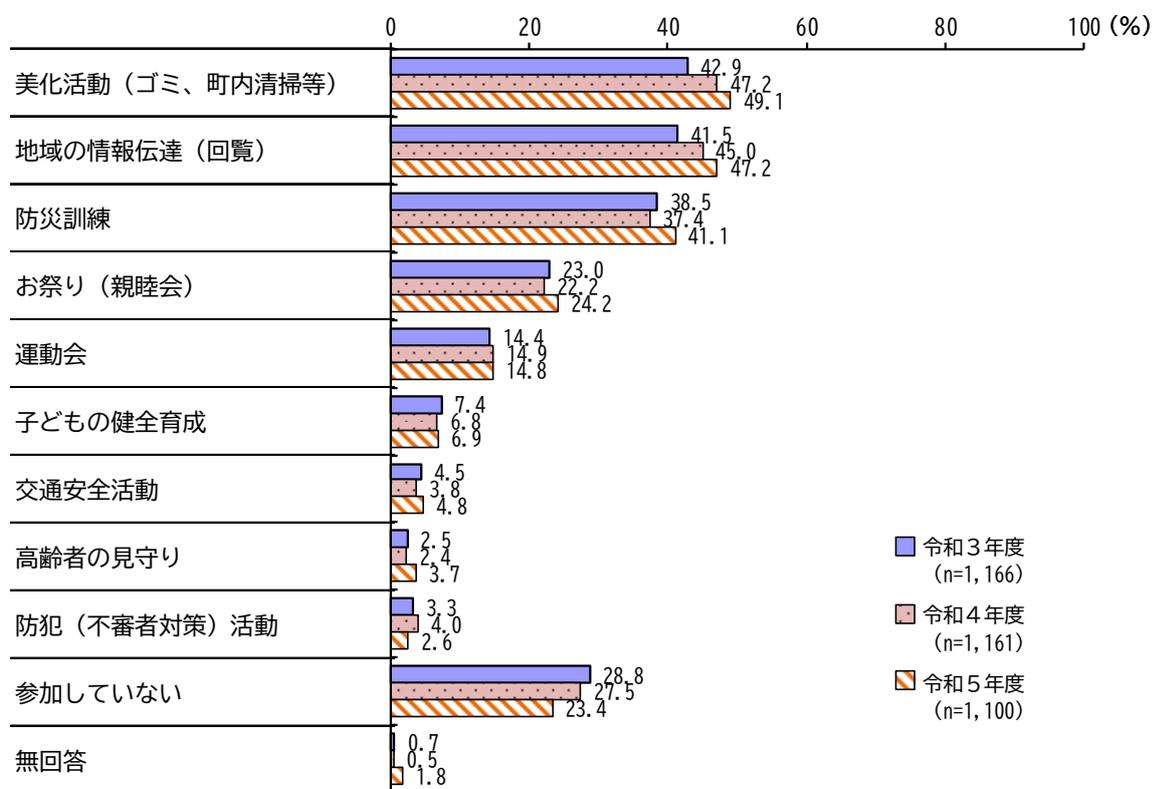
自治会・町内会での活動について、「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」が 49.1%と 5 割近くで最も高く、次いで「地域の情報伝達（回覧）」の割合が 47.2%、「防災訓練」が 41.1%と続いており、「参加していない」と「無回答」を除いた自治会・町内会の活動に“参加している”割合は 74.8%となっています。



II 調査結果

【経年比較】

過去調査と比較すると、「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」と「地域の情報伝達（回覧）」が調査ごとに増加しており、反対に「参加していない」は減少傾向にあります。



【属性別比較】

性別で見ると、男性は「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」（49.7%）が最も高く、女性は「地域の情報伝達（回覧）」（49.5%）が最も高くなっています。

年代別で見ると、「参加していない」は年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、10代・20代（57.5%）では5割半ばを超えています。

居住地区別で見ると、旧市内では「地域の情報伝達（回覧）」が最も高く、北上・錦田・中郷では「美化活動（ゴミ、町内清掃等）」が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	防災訓練	高齢者の見守り	防犯（不審者対策）活動	子どもの健全育成	お祭り（親睦会）	運動会	等）美化活動（ゴミ、町内清掃	交通安全活動	地域の情報伝達（回覧）	参加していない	無回答	
全体	1,100	41.1	3.7	2.6	6.9	24.2	14.8	49.1	4.8	47.2	23.4	1.5	
性別	男性	467	44.1	4.3	3.2	6.9	30.2	18.2	49.7	6.4	43.5	23.3	1.7
	女性	620	38.7	3.2	2.3	6.9	19.2	12.1	48.5	3.7	49.5	23.5	1.5
年代別	10代・20代	73	19.2	1.4	1.4	1.4	13.7	9.6	8.2	1.4	19.2	57.5	0.0
	30代	121	20.7	1.7	1.7	6.6	20.7	19.0	5.0	35.5	41.3	0.0	
	40代	170	34.7	1.8	2.4	15.3	25.3	17.6	48.8	5.3	47.6	28.8	0.0
	50代	192	50.5	2.6	1.6	5.7	28.6	17.2	55.7	4.7	53.6	16.7	0.5
	60代	220	48.6	5.5	3.6	7.3	28.2	15.0	55.5	6.4	58.6	12.3	3.2
	70代以上	314	45.9	5.4	3.5	4.1	21.0	11.1	53.8	4.5	45.2	17.8	2.9
居住地区別	旧市内	341	39.0	3.2	2.6	7.6	29.0	16.1	42.5	4.4	48.4	24.3	1.2
	北上	208	35.1	2.4	2.9	5.8	21.2	12.5	58.7	4.3	49.0	20.7	1.9
	錦田	183	52.5	4.9	3.3	8.2	21.3	9.3	57.4	3.3	49.2	20.8	0.5
	中郷	170	37.6	6.5	4.1	7.6	22.9	22.4	45.9	8.2	43.5	23.5	2.9

1位

2位

3位

II 調査結果

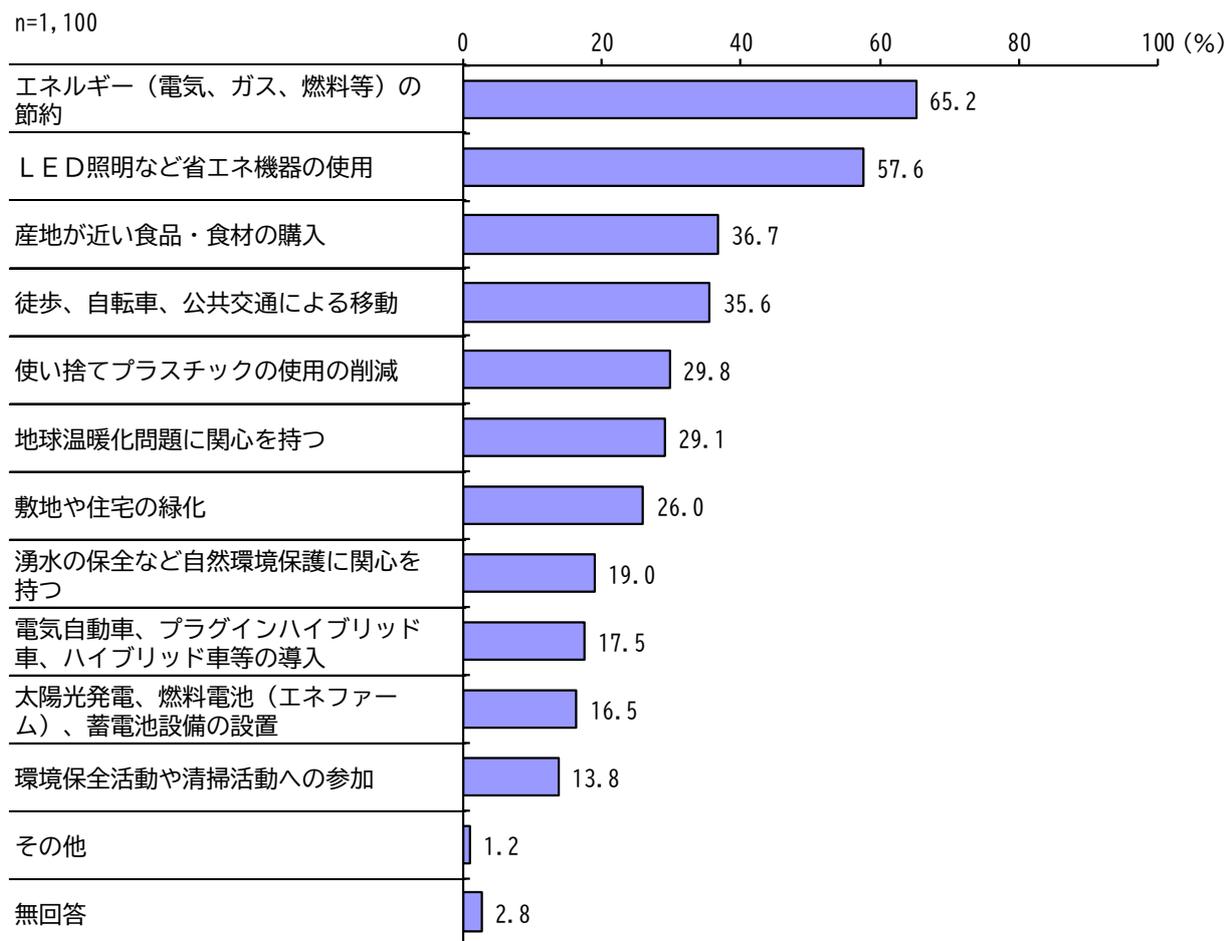
8 『環境への取り組み』について

(1) 環境に配慮するための取り組み

問 17 あなたは、環境に配慮するためどのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

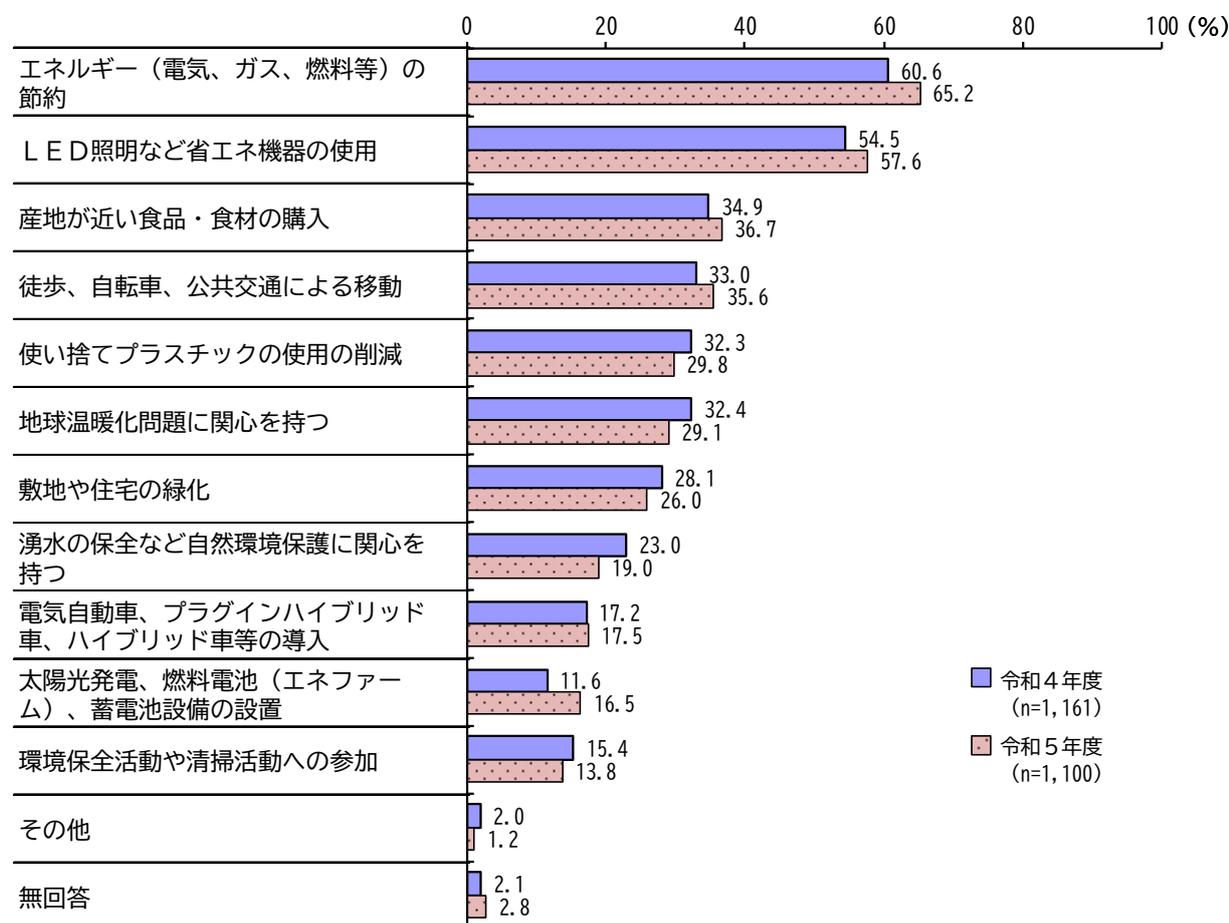
－ 行っている環境への取り組みは「エネルギー(電気、ガス、燃料等)の節約」が 65.2% －

環境に配慮するためにしている取り組みについて、「エネルギー(電気、ガス、燃料等)の節約」が 65.2%と最も高く、次いで「LED照明など省エネ機器の使用」が 57.6%、「産地が近い食品・食材の購入」が 36.7%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」と「太陽光発電、燃料電池（エネファーム）、蓄電池設備の設置」の割合が4ポイント以上、令和4年度より上がっています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「産地が近い食品・食材の購入」は、男性（24.6%）より女性（45.8%）の割合が21.2ポイント高くなっています。

年代別でみると、「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」は、70代以上（70.1%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約」は、中郷（68.2%）が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	エネルギー（電気、ガス、燃料等）の節約	LED照明など省エネ機器の使用	太陽光発電、燃料電池（エネファーム）、蓄電池設備の設置	電気自動車、プラグインハイブリッド車、ハイブリッド車等の導入	徒歩、自転車、公共交通による移動	敷地や住宅の緑化	使い捨てプラスチックの使用の削減	産地が近い食品・食材の購入	環境保全活動や清掃活動への参加	地球温暖化問題に関心を持つ	湧水の保全など自然環境保護に関心を持つ	その他	無回答	
全体	1,100	65.2	57.6	16.5	17.5	35.6	26.0	29.8	36.7	13.8	29.1	19.0	1.2	2.8	
性別	男性	467	61.5	55.2	16.3	23.6	32.5	23.6	22.9	24.6	13.3	27.2	18.6	1.3	3.6
	女性	620	67.7	59.2	16.1	13.2	37.9	27.4	34.5	45.8	14.5	30.3	18.7	1.1	2.3
年代別	10代・20代	73	60.3	37.0	11.0	6.8	43.8	2.7	23.3	15.1	1.4	20.5	17.8	2.7	0.0
	30代	121	58.7	52.9	28.1	14.9	29.8	13.2	17.4	33.9	9.1	23.1	14.9	3.3	1.7
	40代	170	55.9	55.3	25.3	18.2	35.3	14.1	31.8	32.9	10.0	23.5	13.5	1.2	1.8
	50代	192	66.7	57.8	18.2	24.5	30.7	20.3	28.6	42.7	10.9	35.4	18.2	1.6	1.0
	60代	220	69.1	61.4	10.5	23.6	32.7	32.7	30.5	36.8	15.5	25.9	16.4	0.5	5.5
	70代以上	314	70.1	62.4	11.1	12.4	41.7	41.7	34.7	41.4	21.3	34.7	25.8	0.3	3.8
居住地区別	旧市内	341	66.0	60.7	13.8	15.8	47.5	24.9	30.5	34.6	11.1	30.2	25.8	0.6	2.1
	北上	208	66.3	60.1	18.8	23.1	31.3	34.6	34.6	39.9	17.3	29.3	15.9	1.4	2.9
	錦田	183	64.5	55.7	19.1	13.7	30.1	28.4	27.3	43.7	17.5	31.7	16.9	1.1	2.7
	中郷	170	68.2	62.4	14.1	15.3	28.2	24.7	34.1	34.7	17.6	30.0	16.5	1.2	3.5

1位

2位

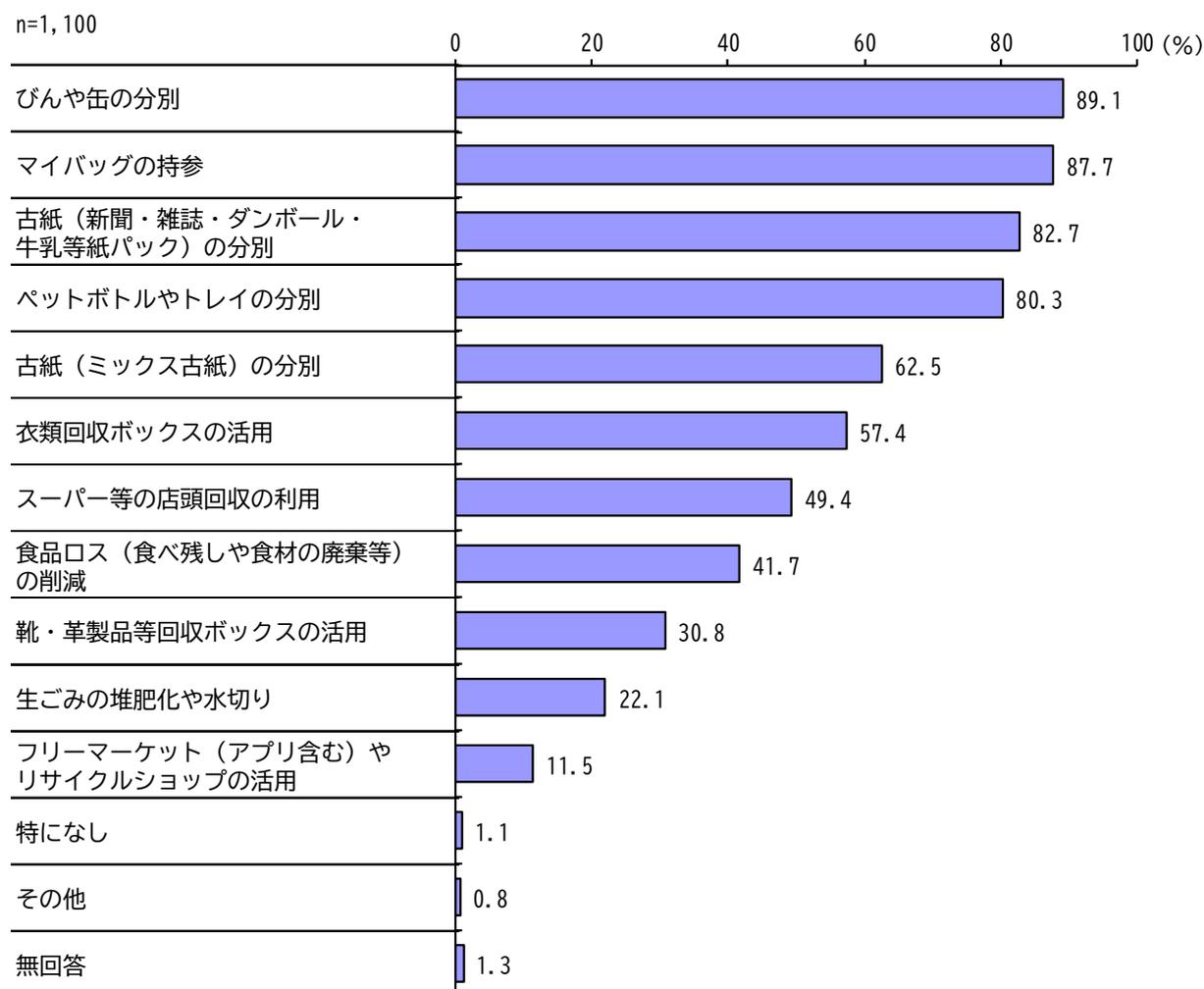
3位

(2) ゴミの減量やリサイクルへの取り組み

問 18 ゴミの減量やリサイクルについて、どのような取り組みをしていますか。(〇はいくつでも)

－ 行っているゴミの減量やリサイクルへの取り組みは「びんや缶の分別」が 89.1% －

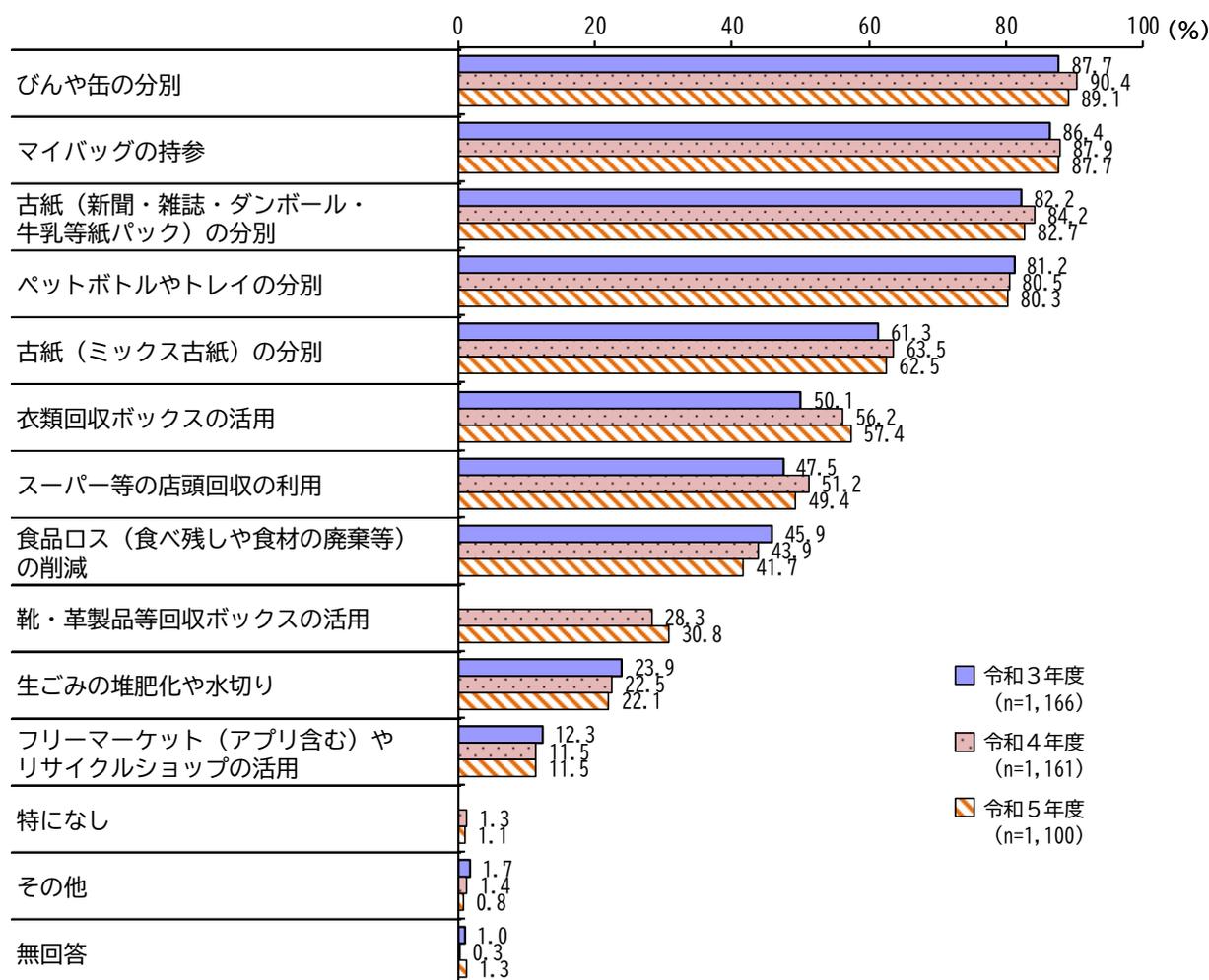
ゴミの減量やリサイクルへの取り組みについて、「びんや缶の分別」が 89.1%と最も高く、次いで「マイバッグの持参」が 87.7%、「古紙（新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック）の分別」が 82.7%と続いています。



II 調査結果

【経年比較】

過去調査と比較すると、「衣類回収ボックスの活用」や「靴・革製品等回収ボックスの活用」の割合が増加しています。



※「靴・革製品等回収ボックスの活用」「特になし」は令和4年度に新設

【属性別比較】

性別でみると、男性では「びんや缶の分別」(85.0%)が最も高く、女性では「マイバッグの持参」(93.2%)が最も高くなっています。

年代別でみると、10代・20代では「マイバッグの持参」が最も高く、それ以外の年代では「びんや缶の分別」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「びんや缶の分別」は錦田(90.2%)が最も高くなっています

単位：%

区分	回答者数(件)	生ごみの堆肥化や水切り	古紙(新聞・雑誌・ダンボール・牛乳等紙パック)の分別	古紙(ミックス古紙)の分別	びんや缶の分別	ペットボトルやトレイの分別	スーパ―等の店頭回収の利用	フリーマーケット(アプリ含む)やリサイクルショップの活用	食品ロス(食べ残しや食材の廃棄等)の削減	マイバッグの持参	衣類回収ボックスの活用	靴・革製品等回収ボックスの活用	特になし	その他	無回答	
全体	1,100	22.1	82.7	62.5	89.1	80.3	49.4	11.5	41.7	87.7	57.4	30.8	1.1	0.8	1.3	
性別	男性	467	15.8	79.7	55.2	85.0	76.4	43.3	7.9	31.9	80.1	47.1	25.3	2.1	0.6	1.7
	女性	620	26.1	84.7	67.4	91.9	82.7	54.0	13.9	48.7	93.2	64.8	34.7	0.3	0.6	1.0
年代別	10代・20代	73	8.2	60.3	41.1	64.4	60.3	35.6	8.2	27.4	82.2	31.5	17.8	5.5	0.0	0.0
	30代	121	14.0	66.1	52.9	83.5	74.4	46.3	23.1	31.4	82.6	53.7	28.9	0.8	1.7	0.8
	40代	170	14.1	80.0	57.1	86.5	78.8	50.6	17.6	38.8	84.1	60.0	34.7	1.2	1.2	0.0
	50代	192	19.3	87.0	65.1	93.8	85.4	58.3	11.5	43.2	89.1	68.8	37.5	0.5	1.0	1.0
	60代	220	23.6	86.8	65.0	92.3	81.8	51.8	8.2	45.0	90.9	58.6	27.3	0.5	0.5	2.7
	70代以上	314	32.8	89.8	69.7	93.0	83.1	46.2	6.4	46.8	89.5	55.1	30.6	1.0	0.6	1.6
居住地区別	旧市内	341	23.8	80.6	62.2	88.9	80.4	43.7	13.8	42.5	88.6	56.3	27.6	1.2	1.2	1.2
	北上	208	24.0	85.6	66.3	88.9	82.7	56.3	9.6	47.1	88.5	58.2	39.9	0.5	0.5	1.9
	錦田	183	22.4	83.6	62.3	90.2	80.3	52.5	9.3	45.4	87.4	56.8	31.7	0.5	1.1	0.5
	中郷	170	21.8	82.9	58.8	89.4	82.9	48.8	11.2	39.4	86.5	60.0	29.4	1.2	0.6	2.4

1位

2位

3位

II 調査結果

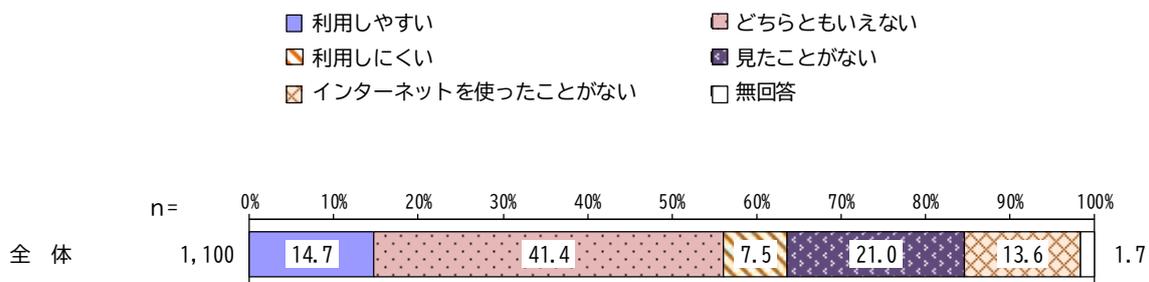
9 『広報活動』について

(1) 三島市公式ホームページの利用状況

問 19 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(○は一つ)

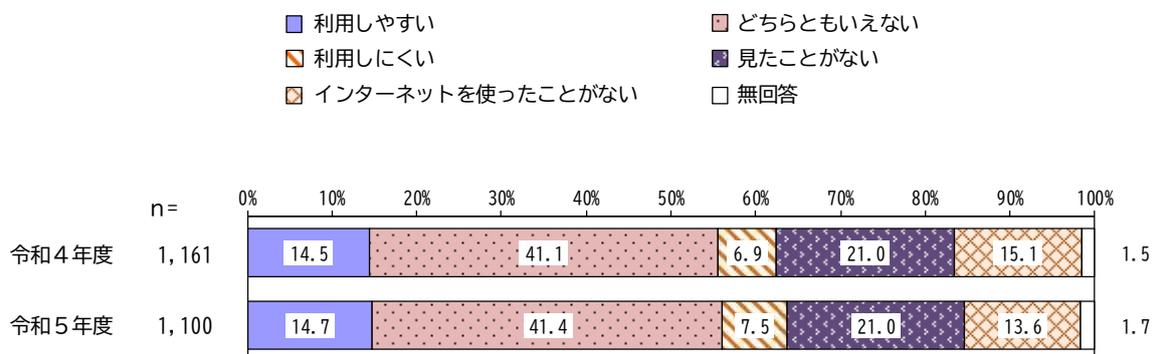
－ 三島市公式ホームページが「利用しやすい」は 14.7% －

三島市公式ホームページが利用しやすいかについて、「どちらともいえない」が41.4%と最も高く、次いで「見たことがない」が21.0%、「利用しやすい」が14.7%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、あまり変化はありません。

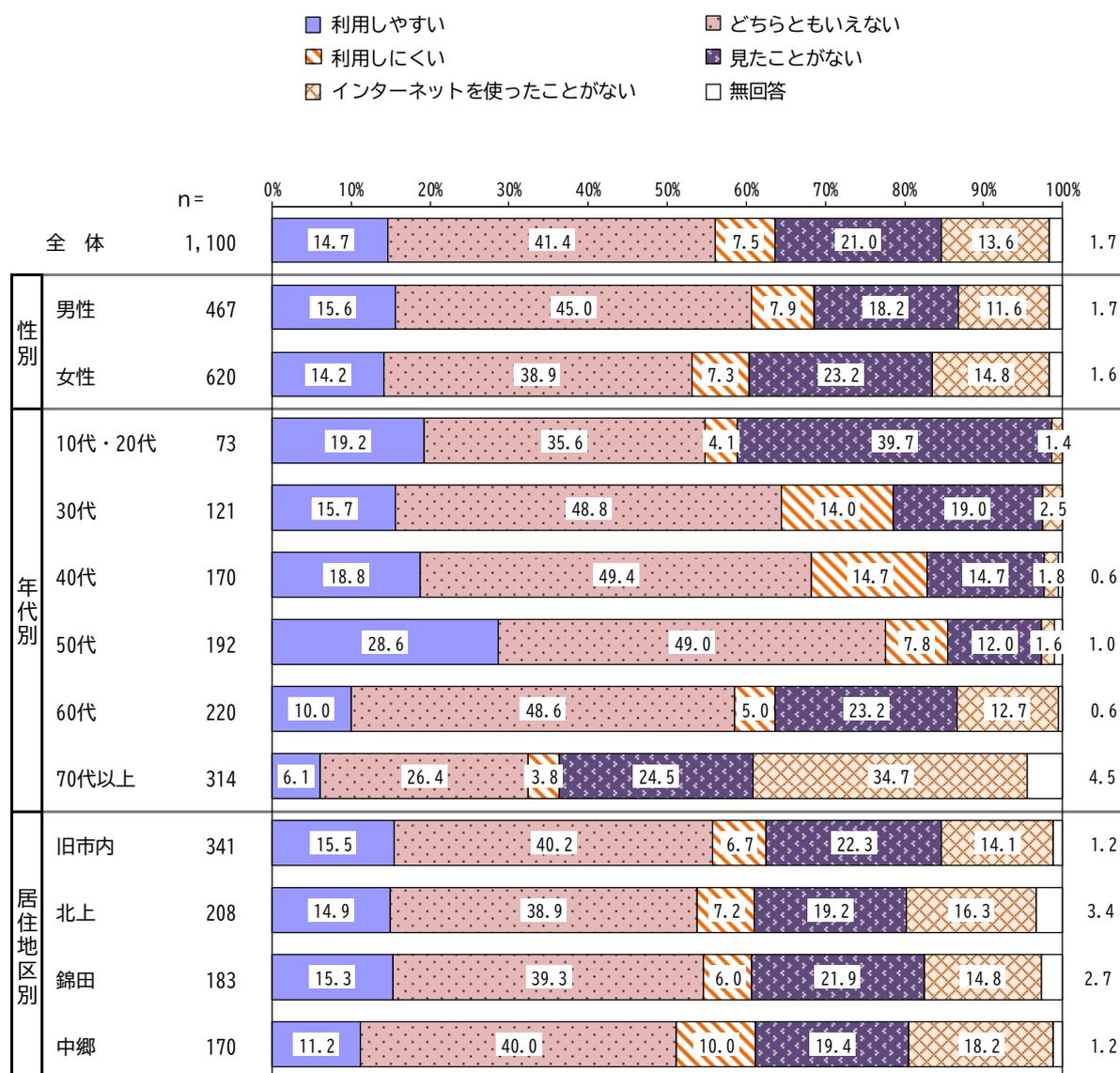


【属性別比較】

性別で見ると、男性・女性ともに「どちらともいえない」（男性 45.0%、女性 38.9%）が最も高くなっています。

年代別で見ると、「見たことがない」は、10・20代（39.7%）が約4割を占めて最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「見たことがない」は、旧市内（22.3%）が最も高くなっています。



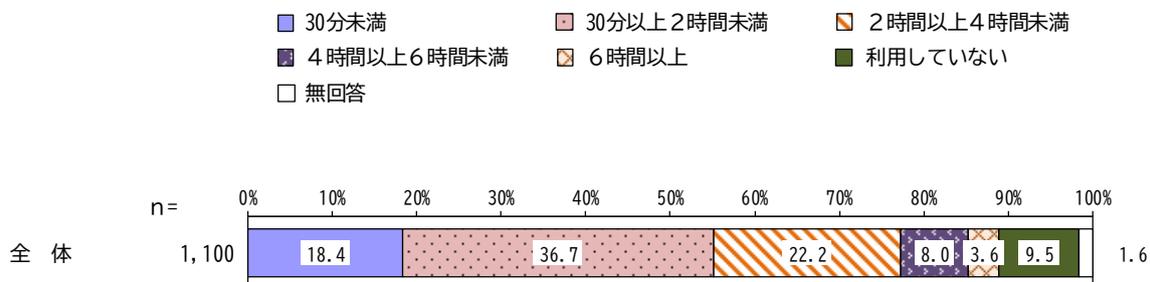
II 調査結果

(2) スマートフォンの利用時間

問 20 あなたは、スマートフォンを1日に何時間利用していますか。(〇は一つ)

－ スマートフォンの利用時間は1日「30分以上2時間未満」が36.7% －

1日にスマートフォンを利用している時間について、「30分以上2時間未満」が36.7%と最も高く、次いで「2時間以上4時間未満」が22.2%、「30分未満」が18.4%と続いています。

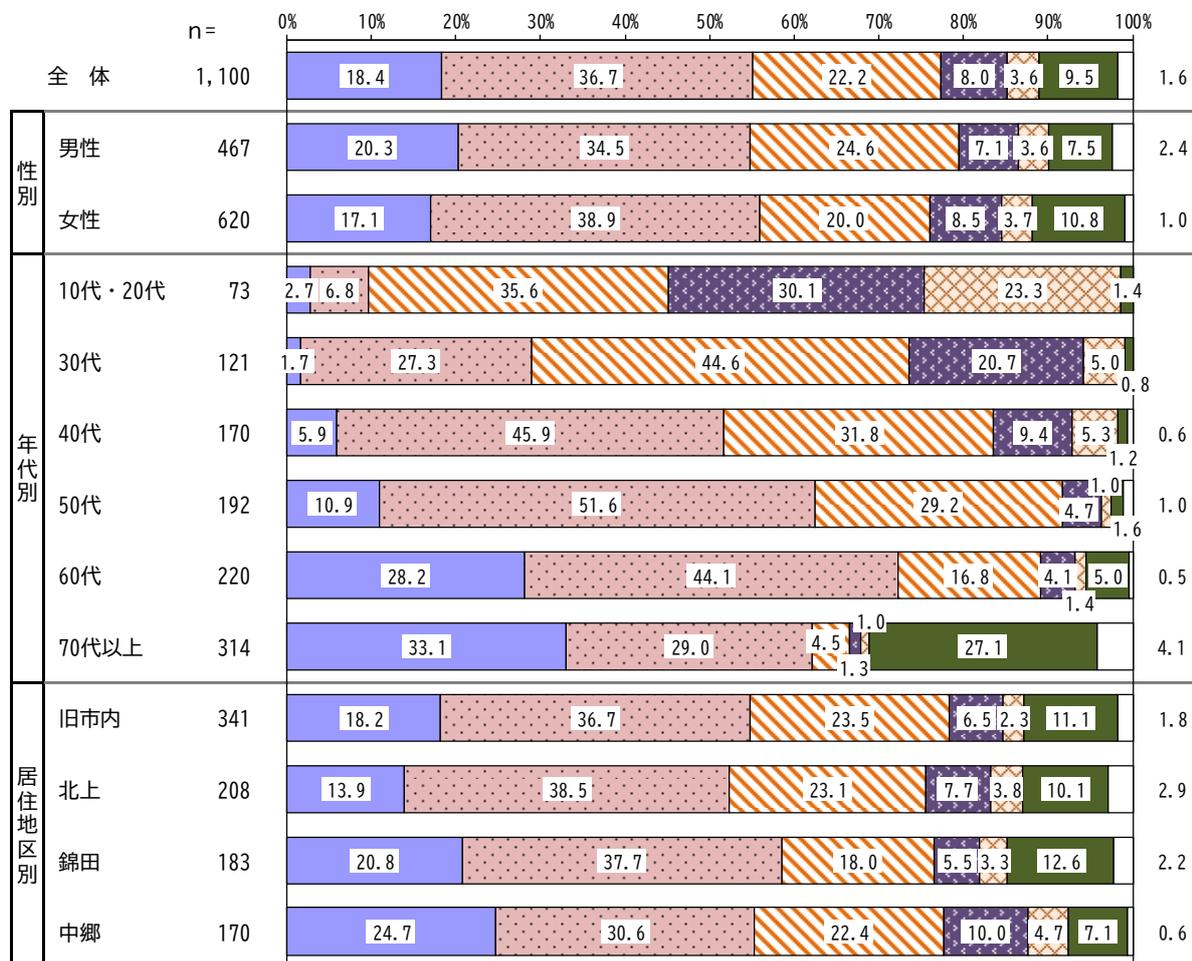


【属性別比較】

性別でみると、「30分以上2時間未満」は、男性（34.5%）より女性（38.9%）の割合が高くなっています。

年代別でみると、10・20代では、「4時間以上6時間未満」（30.1%）や「6時間以上」（23.3%）といった長時間の利用が、他の年代よりも高くなっています。

居住地区別でみると、「30分以上2時間未満」は、北上（38.5%）が最も高くなっています。

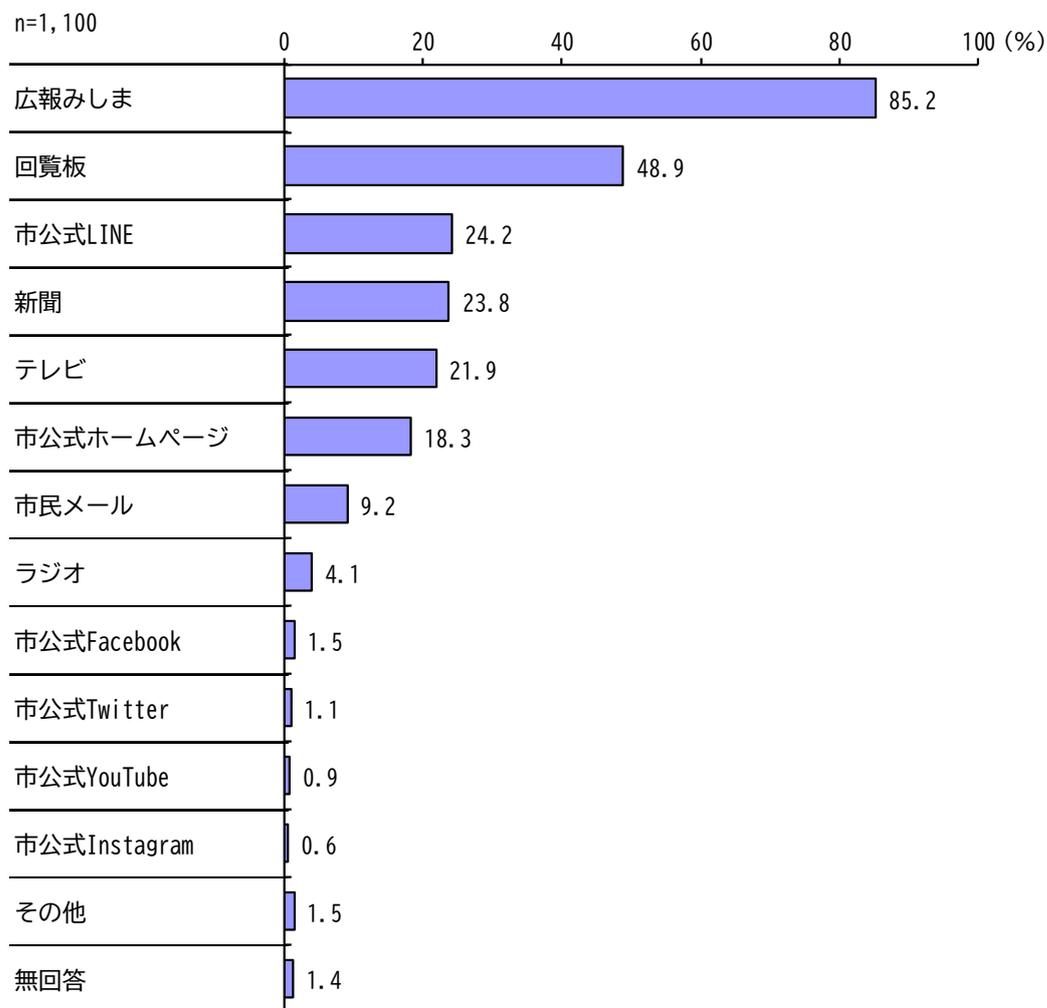


(3) 市政に関する情報入手先

問 21 市政に関する情報はどの媒体から入手していますか。(〇はいくつでも)

－ 市政に関する情報入手先は「広報みしま」が 85.2% －

市政に関する情報入手先について、「広報みしま」が 85.2%と 8割半ばに達し最も高く、次いで「回覧板」が 48.9%、「市公式LINE」が 24.2%と続いています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別で見ると、「回覧板」(男性 45.2%、女性 51.3%)や「市公式LINE」(男性 19.7%、女性 27.9%)は、男性より女性の割合が高くなっています。

年代別で見ると、「市公式LINE」は、30代(40.5%)で4割に達し、他の年代よりも高くなっています。

居住地区別で見ると、いずれの地区も「広報みしま」が8割台で高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	新聞	テレビ	ラジオ	広報みしま	回覧板	市公式ホームページ	市民メール	市公式LINE	市公式Facebook	市公式Twitter	市公式YouTube	市公式Instagram	その他	無回答
全体		1,100	23.8	21.9	4.1	85.2	48.9	18.3	9.2	24.2	1.5	1.1	0.9	0.6	1.5	1.4
性別	男性	467	23.6	21.6	4.3	83.1	45.2	19.3	7.9	19.7	1.9	0.6	0.4	0.6	1.7	1.9
	女性	620	23.9	22.1	3.9	86.8	51.3	17.4	10.3	27.9	1.3	1.5	1.3	0.6	1.3	0.8
年代別	10代・20代	73	15.1	17.8	2.7	56.2	26.0	23.3	2.7	26.0	2.7	4.1	2.7	2.7	6.8	5.5
	30代	121	10.7	16.5	2.5	79.3	34.7	26.4	6.6	40.5	5.8	3.3	3.3	2.5	3.3	0.0
	40代	170	7.6	17.6	2.9	78.8	34.7	25.9	8.2	31.2	1.8	0.6	0.0	0.0	2.9	1.8
	50代	192	15.6	14.6	5.2	89.1	40.6	23.4	11.5	31.3	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	1.0
	60代	220	25.5	23.6	3.2	90.5	58.2	16.4	13.6	21.8	1.8	1.8	0.9	0.5	0.0	0.5
	70代以上	314	43.6	30.6	5.4	91.4	65.3	8.3	8.0	11.5	0.0	0.0	0.3	0.3	0.6	1.3
居住地区別	旧市内	341	26.4	21.1	4.4	85.6	49.9	16.7	8.2	22.9	2.6	0.6	0.6	0.3	0.9	0.9
	北上	208	24.5	21.2	3.8	88.9	55.3	21.6	9.6	19.7	0.5	0.0	1.0	0.5	1.0	2.4
	錦田	183	23.5	24.6	4.9	84.2	47.0	13.1	10.9	20.8	1.6	2.2	1.1	0.5	1.6	1.1
	中郷	170	27.6	23.5	2.9	88.2	46.5	18.8	10.0	27.1	2.4	2.4	1.8	2.4	3.5	0.6

1位

2位

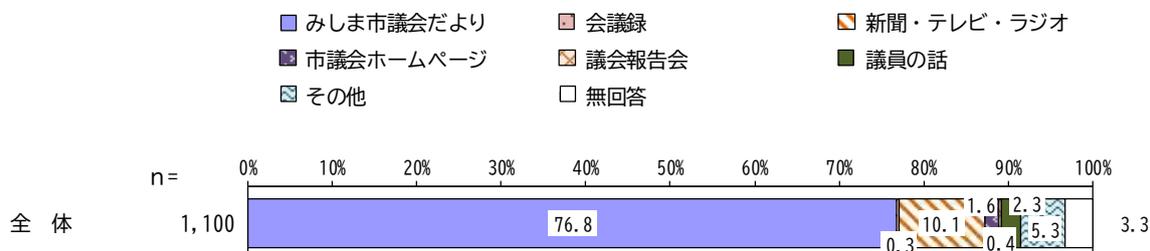
3位

(4) 市議会活動の情報入手先

問 22 あなたは、市議会の活動を主に何によって知りますか。(○は一つ)

－ 市議会活動に関する情報入手先は「みしま市議会だより」が 76.8% －

市議会活動に関する情報入手先について、「みしま市議会だより」が 76.8%と最も高く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」が 10.1%、「その他」が 5.3%と続いています。

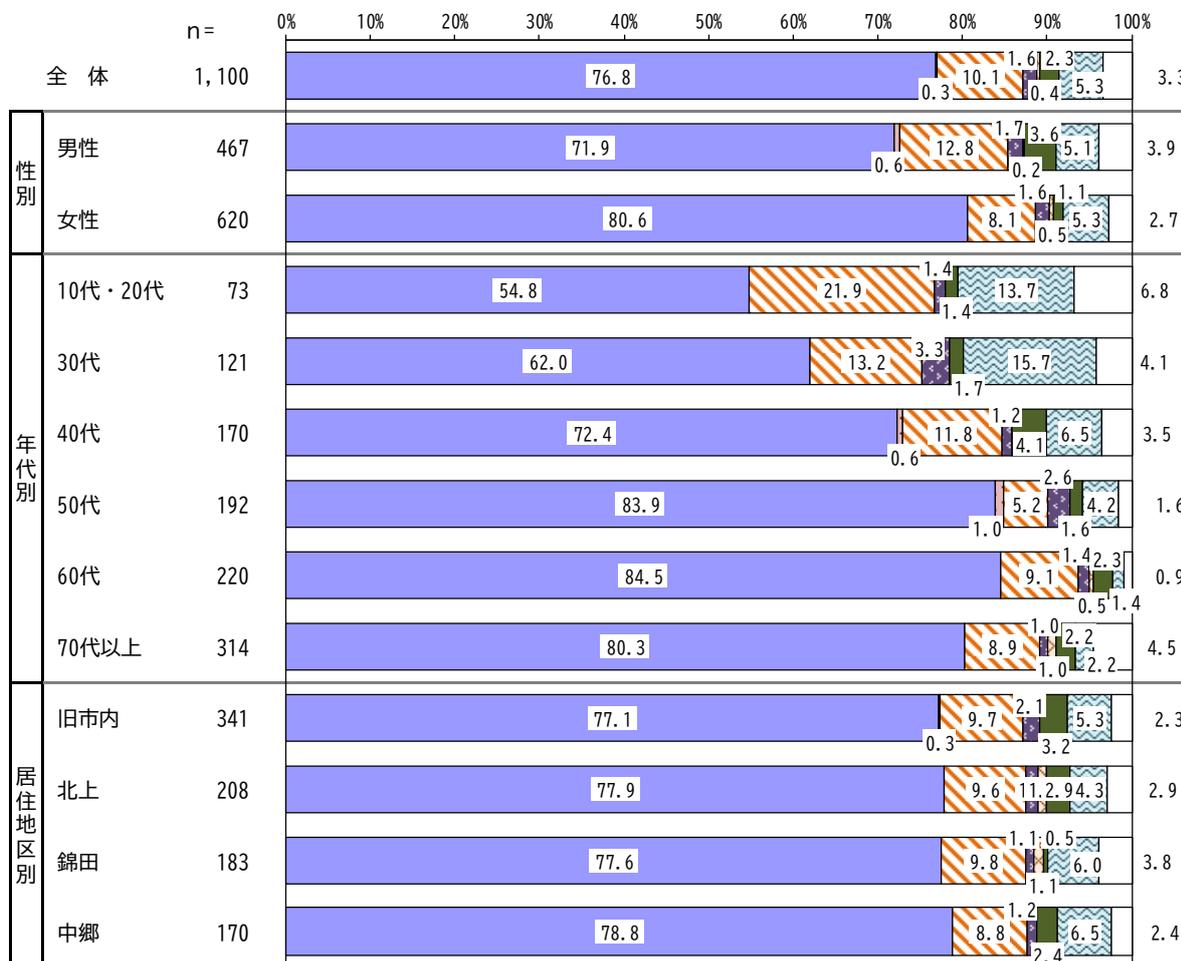


【属性別比較】

性別でみると、「みしま市議会だより」は、男性（71.9%）より女性（80.6%）の割合が高くなっています。

年代別でみると、「みしま市議会だより」は 50 代以上の年代で 8 割を超えて高くなっています。

居住地区別でみると、いずれの地区も「みしま市議会だより」が 7 割台で最も高くなっています。



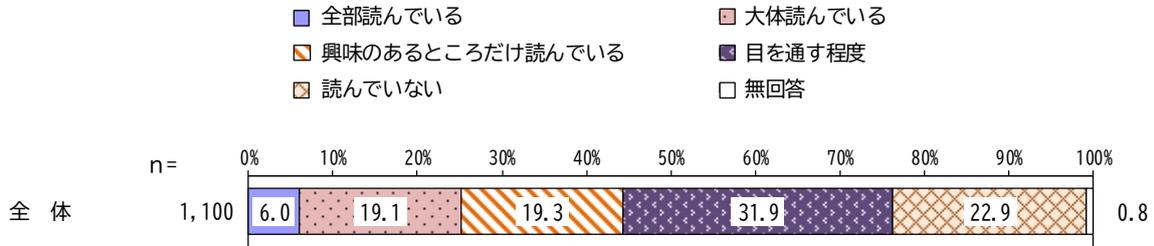
II 調査結果

(5) 『みしま市議会だより』の閲読状況

問 23 あなたは、市議会定例会後の2月、5月、8月、11月に発行している『みしま市議会だより』を読んでいますか。(○は一つ)

－ 『みしま市議会だより』を「目を通す程度」が 31.9% －

『みしま市議会だより』の閲読状況について、「目を通す程度」が31.9%と最も高く、次いで「読んでいない」が22.9%、「興味のあるところだけ読んでいる」が19.3%と続いています。

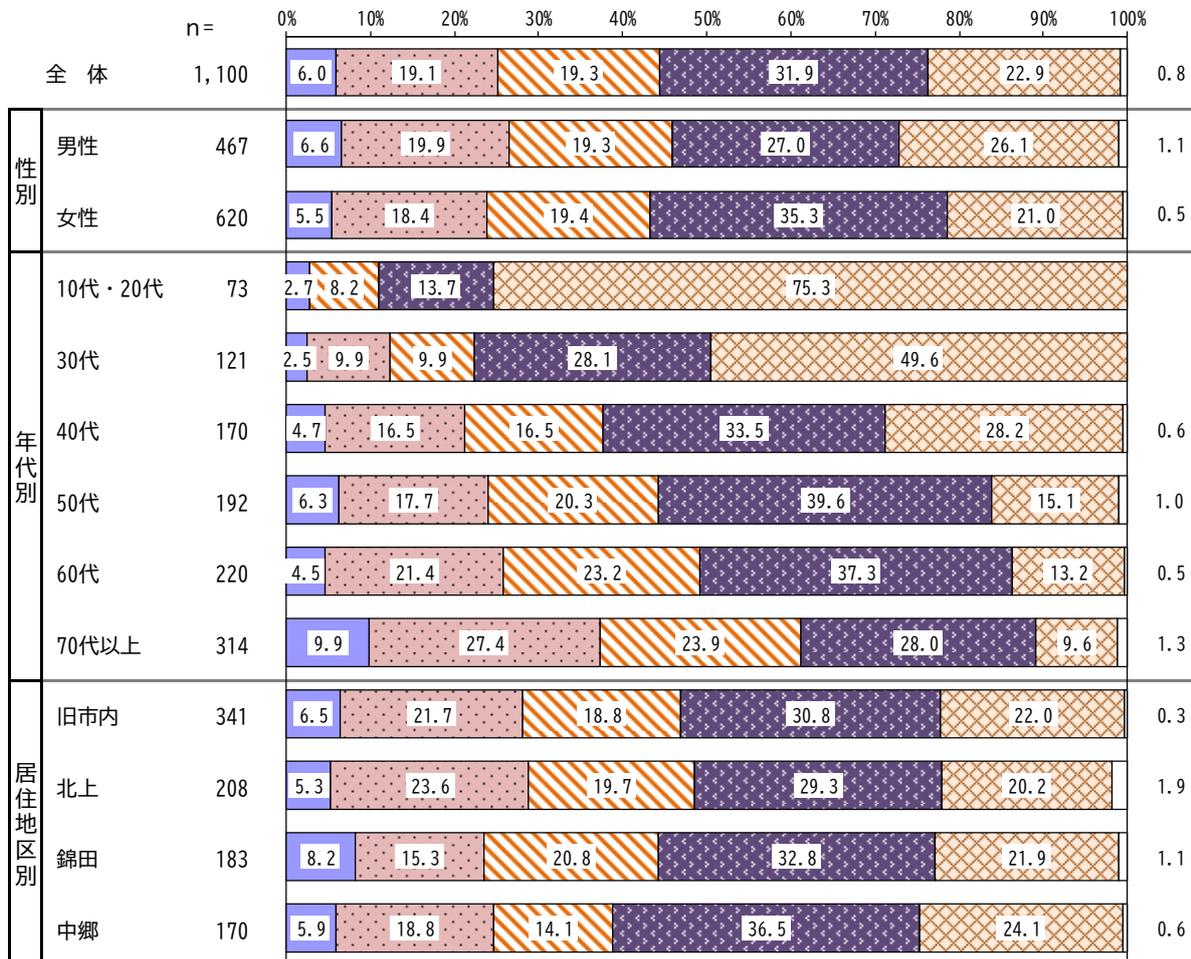


【属性別比較】

性別でみると、「目を通す程度」は、男性（27.0%）より女性（35.3%）の割合が高くなっています。

年代別でみると、「読んでいない」は、年代が下がるにつれて増加傾向にあり、10代・20代（75.3%）で7割半ばを占めています。

居住地区別でみると、「大体読んでいる」は、北上（23.6%）が最も高くなっています。



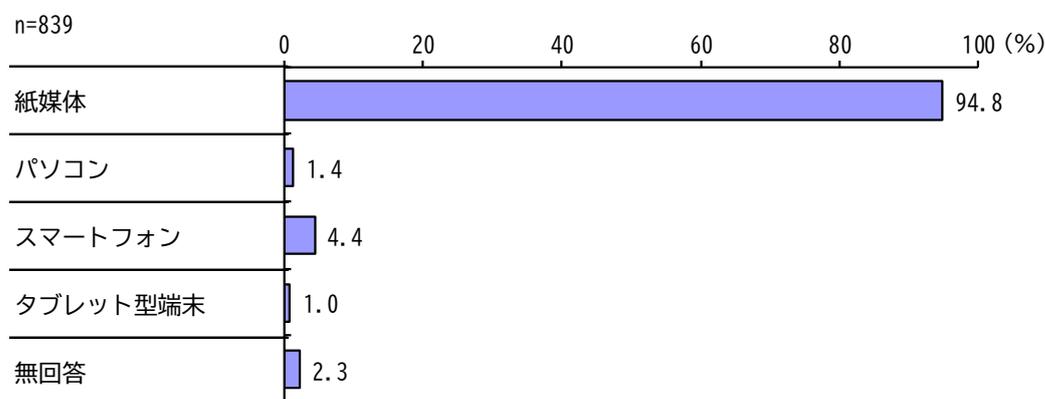
(6) 『みしま市議会だより』の閲読方法

問 23 で「1」～「4」を選択された方にお聞きます。

問 24 あなたは、『みしま市議会だより』を読む場合、どの方法で読んでいますか。(○はいくつでも)

－ 『みしま市議会だより』を 94.8%が「紙媒体」で読んでいる －

『みしま市議会だより』を読んでいる方法について、「紙媒体」が94.8%と9割半ばに達し最も高く、次いで「スマートフォン」が4.4%と続いています。



【属性別比較】

性別でみると、「パソコン」(男性 2.4%、女性 0.6%) や「スマートフォン」(男性 5.9%、女性 3.5%) の割合は、男性が女性より高くなっています。

年代別でみると、「スマートフォン」は、年代が下がるにつれて増加傾向にあり、10代・20代(16.7%)と20代(11.5%)で1割を超えています。

居住地区別でみると、いずれの地区も「紙媒体」が9割台で高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	紙媒体	パソコン	スマートフォン	タブレット型端末	無回答
全体	839	94.8	1.4	4.4	1.0	2.3
性別	男性	93.5	2.4	5.9	1.5	1.8
	女性	95.5	0.6	3.5	0.6	2.7
年代別	10代・20代	83.3	11.7	16.7	5.6	0.0
	30代	93.4	3.3	11.5	3.3	0.0
	40代	96.7	0.0	5.8	0.8	0.0
	50代	96.3	1.9	3.7	0.0	1.9
	60代	96.3	2.1	4.2	1.1	0.0
	70代以上	92.9	0.4	2.1	0.7	5.7
居住地区別	旧市内	95.1	1.5	4.9	0.8	2.3
	北上	95.7	0.6	4.3	0.0	1.9
	錦田	95.0	1.4	4.3	1.4	2.1
	中郷	92.2	1.6	4.7	3.1	3.9

1位

2位

3位

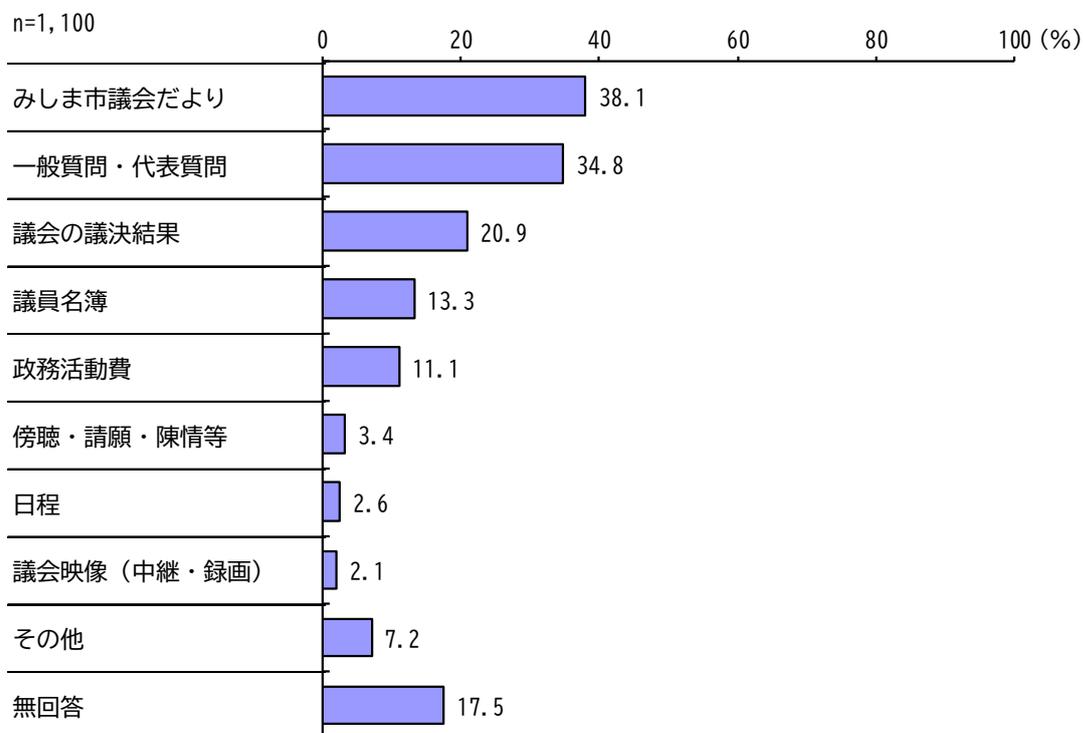
II 調査結果

(7) 市議会のホームページの関心のある項目

問 25 あなたは、市議会のホームページのうち、関心のある項目は何ですか。(〇はいくつでも)

－ 市議会のホームページの関心のある項目は「みしま市議会だより」が 38.1% －

市議会のホームページのうち、関心のある項目について、「みしま市議会だより」が 38.1%と最も高く、次いで「一般質問・代表質問」が 34.8%、「議会の議決結果」が 20.9%と続いています。



【属性別比較】

性別でみると、「議会の議決結果」は、男性（25.1%）の割合が女性（18.1%）よりも高くなっています。

年代別でみると、10代・20代は「議会の議決結果」が、30代・40代は「一般質問・代表質問」が、50代以上は「みしま市議会だより」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「みしま市議会だより」は、中郷（42.4%）が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	議員名簿	議会の議決結果	日程	一般質問・代表質問	みしま市議会だより	議会映像（中継・録画）	政務活動費	傍聴・請願・陳情等	その他	無回答
全体	1,100	13.3	20.9	2.6	34.8	38.1	2.1	11.1	3.4	7.2	17.5
性別	男性	467	13.1	25.1	3.6	35.3	35.5	2.6	10.5	2.8	16.9
	女性	620	13.4	18.1	1.8	34.5	39.8	1.6	11.8	3.7	17.9
年代別	10代・20代	73	11.0	32.9	11.0	23.3	26.0	4.1	17.8	2.7	17.8
	30代	121	14.0	20.7	1.7	28.9	26.4	3.3	17.4	1.7	24.8
	40代	170	14.1	25.9	1.8	36.5	27.1	0.6	15.9	8.8	12.4
	50代	192	12.0	21.4	2.6	34.9	38.0	4.7	13.0	5.2	13.5
	60代	220	13.2	20.9	2.3	38.6	41.4	1.8	6.4	1.4	15.9
	70代以上	314	14.0	15.9	1.9	36.3	49.0	0.6	7.0	1.6	21.0
居住地区別	旧市内	341	11.4	18.5	2.9	34.0	39.3	2.1	13.2	4.1	16.1
	北上	208	16.8	25.5	1.4	36.1	38.0	0.5	12.0	3.8	16.3
	錦田	183	14.2	19.1	2.2	36.6	37.2	3.3	6.6	2.7	18.6
	中郷	170	12.9	20.0	1.8	34.7	42.4	0.6	11.2	3.5	21.2

1位

2位

3位

II 調査結果

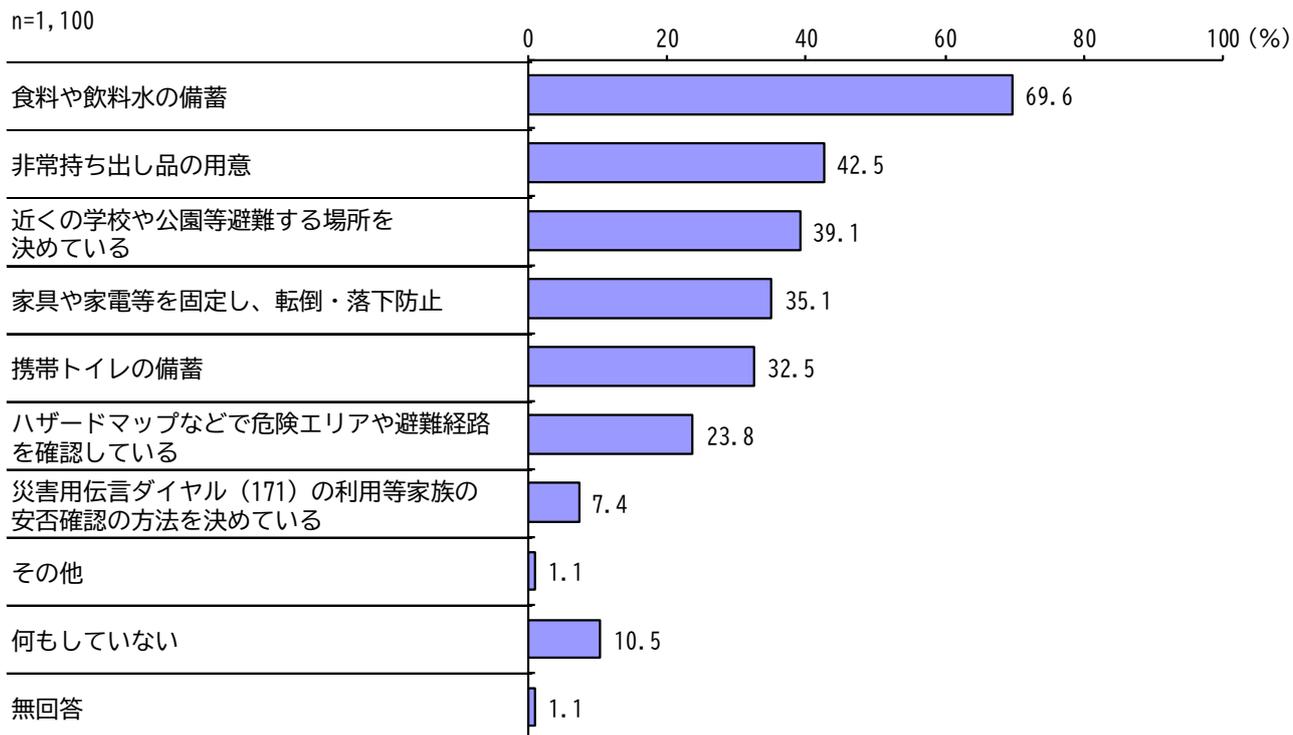
10 『災害対策』について

(1) 地震に備えた防災対策

問 26 あなたは、地震に備えてどのような防災対策をしていますか。(〇はいくつでも)

－ 地震に備えた防災対策は「食料や飲料水の備蓄」が 69.6% －

地震に備えた防災対策について、「食料や飲料水の備蓄」が 69.6%と最も高く、次いで「非常持ち出し品の用意」が 42.5%、「近くの学校や公園等避難する場所を決めている」が 39.1%と続いています。



【属性別比較】

性別でみると、「携帯トイレの備蓄」は、男性（26.3%）より女性（36.9%）の割合が10.6ポイント高くなっています。

年代別でみると、「食料や飲料水の備蓄」は50代以上の年代で7割を超えて高くなっています。

居住地区別でみると、「非常持ち出し品の用意」は、北上（50.5%）が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	食料や飲料水の備蓄	携帯トイレの備蓄	非常持ち出し品の用意	家具や家電等を固定し、転倒・落下防止	災害用伝言ダイヤル（171）の利用等家族の安否確認の方法を決めている	近くの学校や公園等避難する場所を決めている	ハザードマップなどで危険エリアや避難経路を確認している	その他	何もしていない	無回答	
全体	1,100	69.6	32.5	42.5	35.1	7.4	39.1	23.8	1.1	10.5	1.1	
性別	男性	467	69.6	26.3	39.8	33.2	6.4	35.3	25.1	1.1	12.4	1.3
	女性	620	69.7	36.9	44.5	36.3	8.1	41.5	22.4	1.0	9.0	0.8
年代別	10代・20代	73	61.6	28.8	34.2	16.4	5.5	28.8	19.2	1.4	19.2	0.0
	30代	121	59.5	33.9	38.0	17.4	5.8	33.1	19.0	0.8	21.5	0.0
	40代	170	67.1	31.2	41.2	28.8	5.3	35.3	22.9	0.6	15.3	0.6
	50代	192	73.4	32.3	43.2	41.7	10.9	34.4	25.5	0.5	7.8	1.6
	60代	220	72.3	39.1	36.4	43.6	7.7	41.8	25.5	1.4	7.3	0.5
	70代以上	314	72.6	29.0	50.6	39.5	7.3	46.5	24.8	1.6	5.4	1.9
居住地区別	旧市内	341	66.0	28.2	40.8	34.0	7.6	40.2	23.8	1.2	10.9	1.2
	北上	208	75.0	37.0	50.5	39.9	5.8	43.3	22.1	1.0	9.1	1.9
	錦田	183	73.2	34.4	43.7	33.3	6.6	38.8	20.8	1.1	8.7	1.1
	中郷	170	67.6	31.8	42.9	37.1	7.6	37.1	30.0	1.8	11.2	0.6

1位

2位

3位

II 調査結果

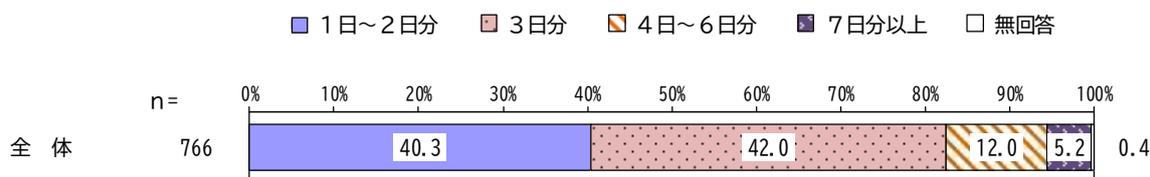
(2) 災害時用の備蓄状況

問 26 で「1」を選択された方にお聞きします。

問 27 あなたは、災害時に何日分の食料(レトルト食品、ラーメン、缶詰などを含む)や飲料水の備蓄(ひとり1日あたり3リットルで計算)をしていますか。(○は一つ)

－ 災害時用の食料・飲料水の備蓄状況は「1～3日分」が 82.3% －

災害時用の食料・飲料水の備蓄状況について、「3日分」が42.0%と最も高く、次いで「1日～2日分」40.3%となっており、二つ合わせた「1～3日分」で82.3%と8割を超えています。

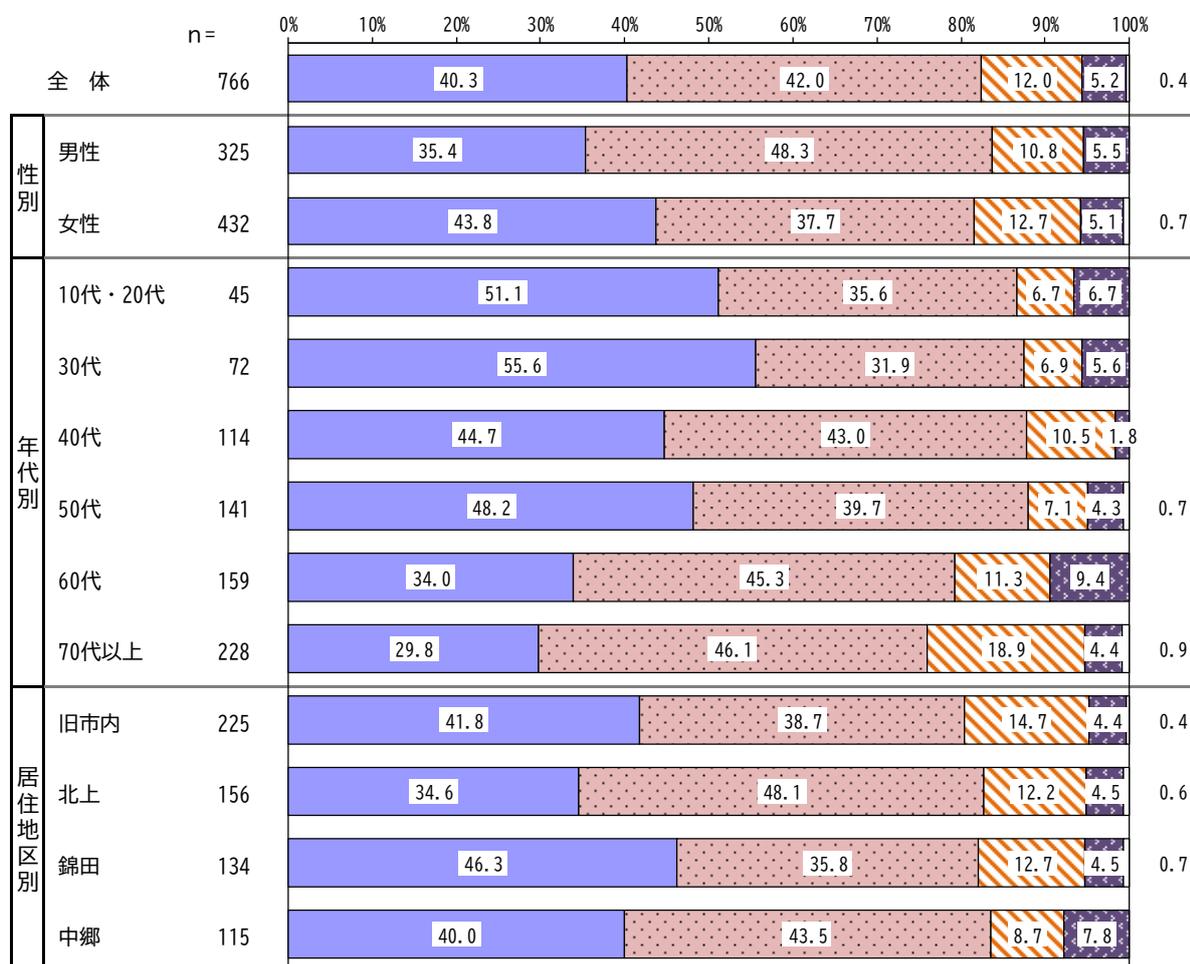


【属性別比較】

性別でみると、男性では「3日分」(48.3%)が最も高く、女性では「1日～2日分」(43.8%)が最も高くなっています。

年代別でみると、50代以下の年代では「1日～2日分」が最も高く、特に10・20代と30代では5割を超えています。

居住地区別でみると、「3日分」は、北上(48.1%)が、最も高くなっています。

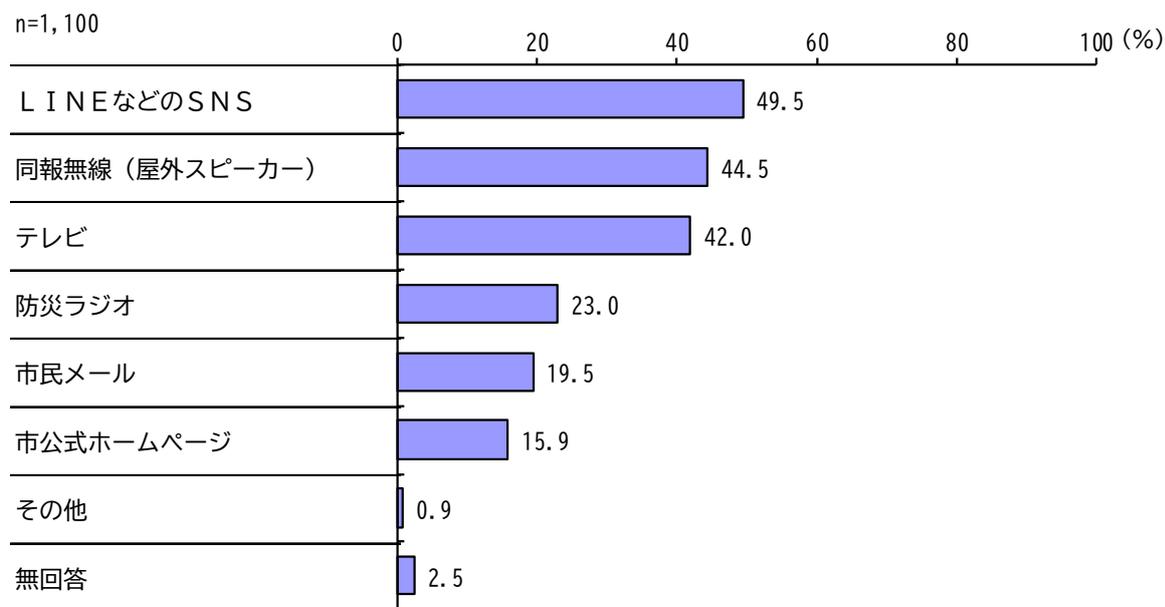


(3) 市の災害情報を確実に受け取れる方法

問 28 風水害時に市が避難指示などを発令する場合、あなたが確実に情報を受け取れる方法はどれですか。(〇はいくつでも)

－ 災害時に市から確実に情報を受け取れる方法は「LINEなどのSNS」が49.5% －

市が避難指示などを発令する場合、確実に情報を受け取れる方法について、「LINEなどのSNS」が49.5%と最も高く、次いで「同報無線（屋外スピーカー）」が44.5%、「テレビ」が42.0%と続いています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「LINEなどのSNS」は、男性（48.4%）より女性（51.0%）の割合が高くなっています。

年代別でみると、60代・70代以上では、「同報無線（屋外スピーカー）」が最も高くなっています。居住地区別でみると、「LINEなどのSNS」は、中郷（50.6%）が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	市公式ホームページ	市民メール	防災ラジオ	LINEなどのSNS	同報無線（屋外スピーカー）	テレビ	その他	無回答	
全体	1,100	15.9	19.5	23.0	49.5	44.5	42.0	0.9	2.5	
性別	男性	467	17.3	21.2	22.5	48.4	46.3	40.9	0.9	2.6
	女性	620	14.7	18.2	23.4	51.0	43.5	42.6	0.8	2.4
年代別	10代・20代	73	17.8	5.5	19.2	74.0	32.9	34.2	1.4	2.7
	30代	121	27.3	14.9	12.4	74.4	30.6	36.4	2.5	1.7
	40代	170	21.2	24.7	10.6	67.1	40.0	32.9	0.6	1.8
	50代	192	21.9	23.4	20.3	58.3	42.7	42.7	1.0	2.1
	60代	220	13.6	25.9	20.9	45.5	48.6	45.5	0.9	2.7
	70代以上	314	6.4	15.0	37.9	22.9	53.8	47.8	0.3	3.2
居住地区別	旧市内	341	18.2	19.1	28.2	46.3	47.2	41.1	1.2	2.1
	北上	208	15.4	19.2	20.7	45.2	46.2	48.1	1.4	2.9
	錦田	183	11.5	21.3	24.6	42.6	44.8	42.6	0.5	2.7
	中郷	170	14.1	20.0	22.9	50.6	48.2	41.8	1.2	2.4

1位

2位

3位

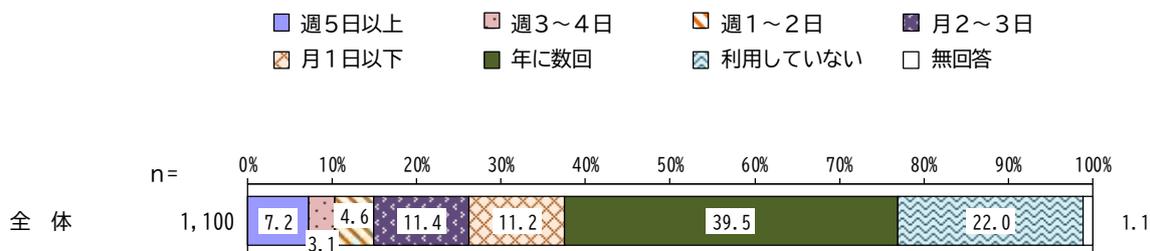
11 『公共交通』について

(1) 公共交通の利用状況

問 29 過去1年間に公共交通(電車、バス、タクシー)をどの程度利用しましたか。(○は一つ)

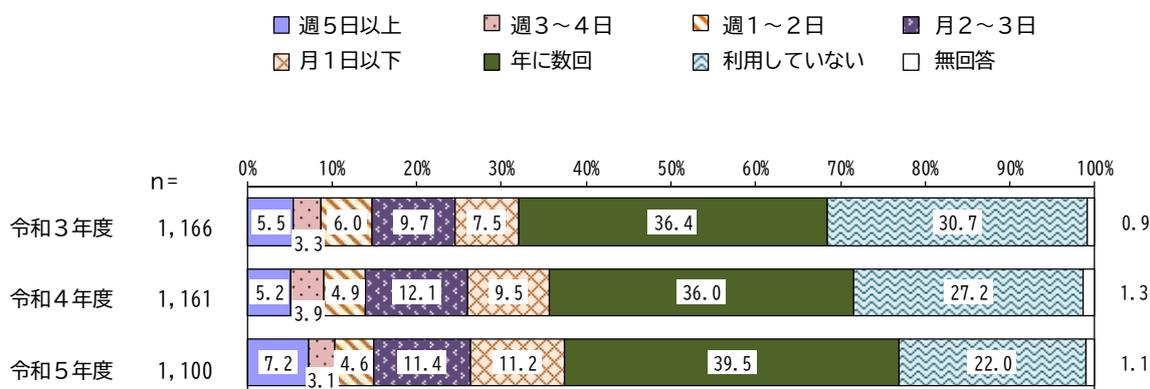
－ 過去1年間の公共交通の利用状況は「年に数回」が 39.5% －

過去1年間の公共交通の利用状況について、「年に数回」が 39.5%と最も高く、次いで「利用していない」が 22.0%、「月2～3日」が 11.4%と続いています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「利用していない」は減少傾向にあります。

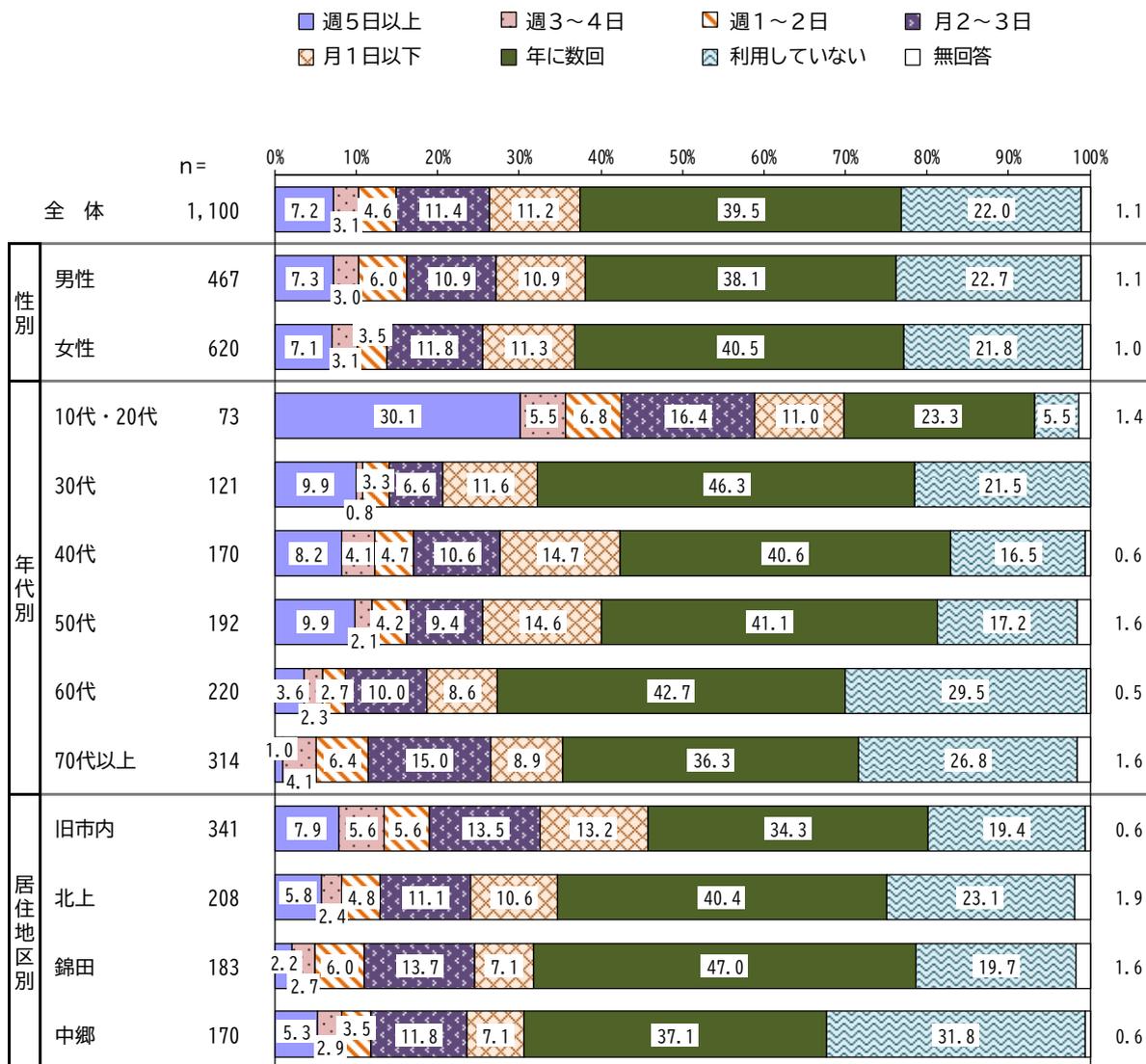


II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「年に数回」（男性 38.1%、女性 40.5%）が、最も高くなっています。

年代別でみると、「週5日以上」は、10・20代（30.1%）で3割を占め最も高くなっています
 居住地区別でみると、「利用していない」は、中郷（31.8%）が最も高くなっています。

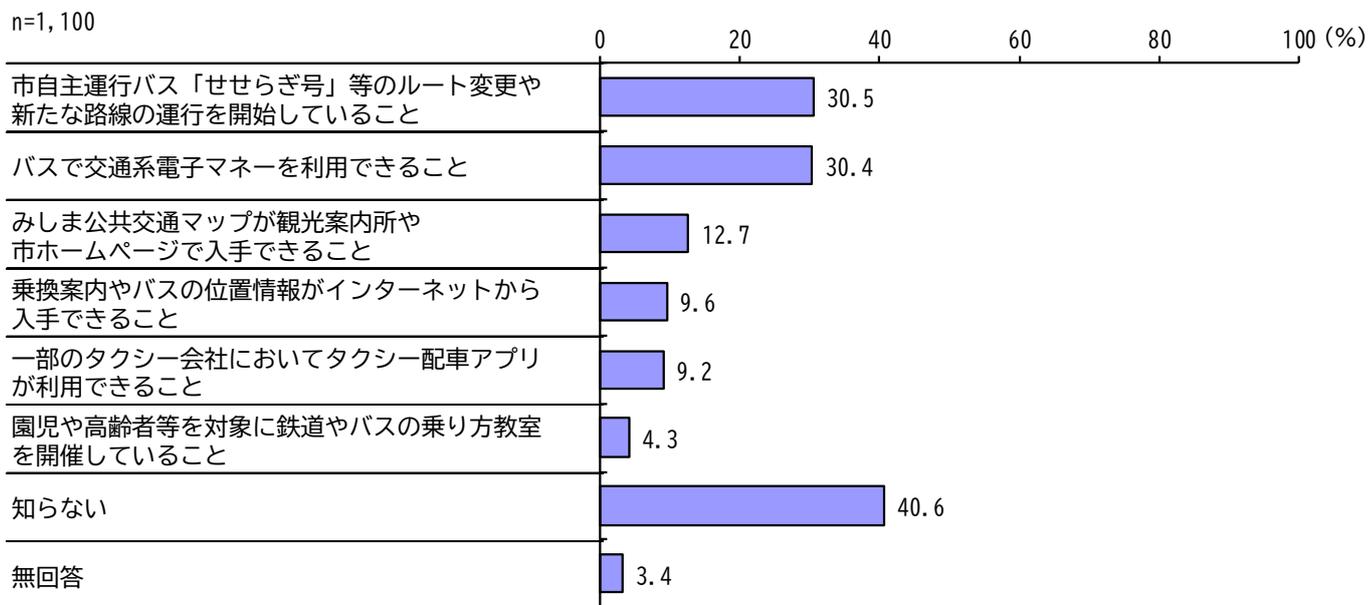


(2) 公共交通に関する市の取り組みの認知状況

問 30 公共交通に関する市の取り組みについて知っていますか。(〇はいくつでも)

－ 公共交通に関する市の取り組みは、「知らない」が 40.6% －

公共交通に関する市の取り組みの認知状況について、「知らない」が 40.6%と最も高く、次いで「市自主運行バス「せせらぎ号」等のルート変更や新たな路線の運行を開始していること」が 30.5%、「バスで交通系電子マネーを利用できること」が 30.4%と 3 割で続いています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「知らない」を除くと、男性では「市自主運行バス「せせらぎ号」等のルート変更や新たな路線の運行を開始していること」(28.7%)が最も高く、女性では「バスで交通系電子マネーを利用できること」(32.3%)が最も高くなっています。

年代別でみると、「バスで交通系電子マネーを利用できること」、「一部のタクシー会社においてタクシー配車アプリが利用できること」は、年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向にあります。

居住地区別でみると、「市自主運行バス「せせらぎ号」等のルート変更や新たな路線の運行を開始していること」は、中郷(42.4%)が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	市内公共交通マップが観光手配できること	バスで交通系電子マネーを利用できること	一部のタクシーアプリが利用できること	乗換案内やバスから入手できるインターネットの位置情報	市自主運行バス「せせらぎ号」等のルート変更や新たな路線の運行を開始していること	園児や高齢者等を対象に鉄道やバスの乗り方教室を開催していること	知らない	無回答	
全体	1,100	12.7	30.4	9.2	9.6	30.5	4.3	40.6	3.4	
性別	男性	467	13.1	27.6	9.2	28.7	2.8	43.5	4.3	
	女性	620	12.3	32.3	9.2	31.8	5.5	38.7	2.6	
年代別	10代・20代	73	13.7	58.9	21.9	24.7	16.4	2.7	31.5	0.0
	30代	121	11.6	38.8	15.7	16.5	18.2	9.1	44.6	0.8
	40代	170	8.8	31.2	12.4	11.2	24.7	7.1	41.8	1.8
	50代	192	17.2	35.4	9.4	9.9	24.5	5.2	42.7	1.6
	60代	220	10.9	26.4	4.5	6.8	33.2	1.8	43.6	3.2
	70代以上	314	13.7	19.4	5.1	4.8	43.9	2.5	37.3	7.0
居住地区別	旧市内	341	14.7	28.2	11.1	8.5	38.1	3.2	37.2	2.1
	北上	208	9.6	36.1	6.7	8.7	21.6	3.4	42.3	5.3
	錦田	183	12.0	27.3	6.0	9.8	21.9	5.5	45.9	6.6
	中郷	170	12.9	22.9	9.4	6.5	42.4	4.7	38.8	3.5

1位

2位

3位

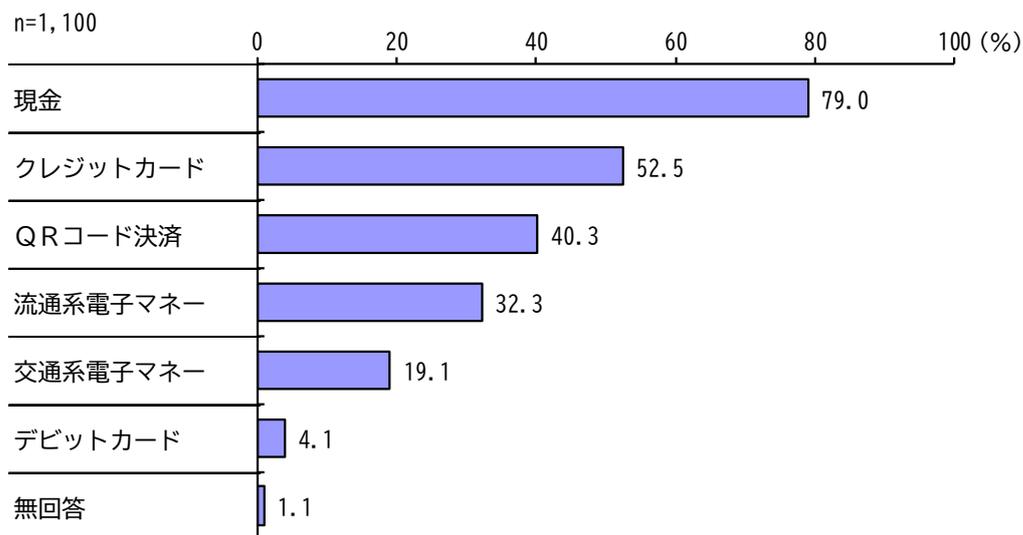
12 『決済方法』について

(1) 商品購入の際の決済方法

問 31 店頭で商品を購入する際に利用している支払い方法は何ですか。(○はいくつでも)

－ 商品購入の際の決済方法は「現金」が 79.0% －

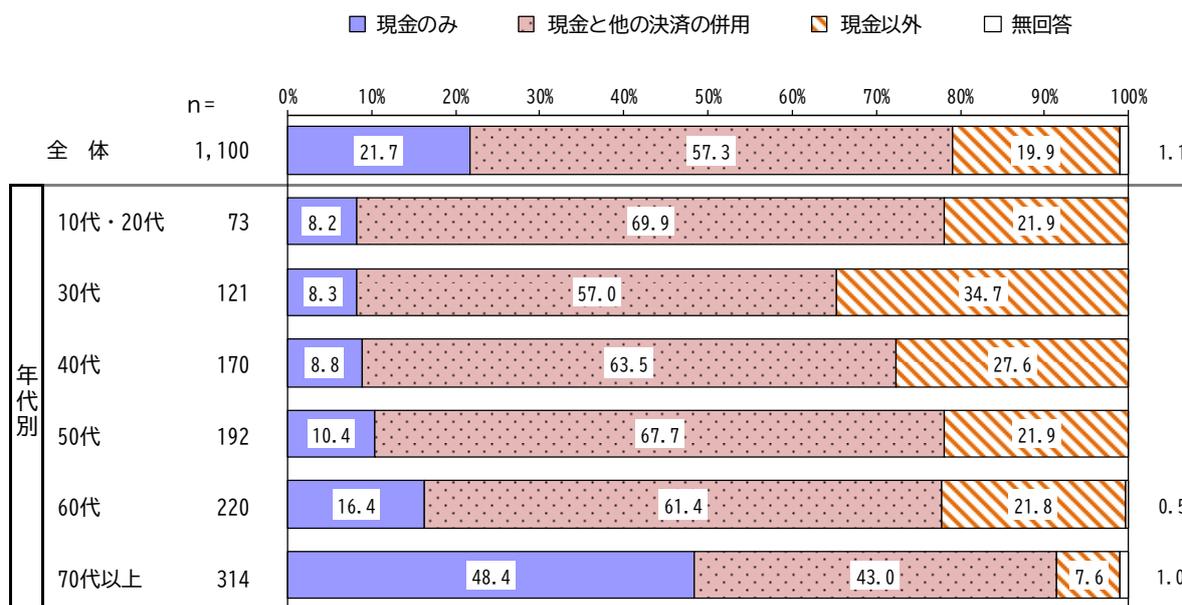
店頭で商品を購入する際に利用している支払い方法について、「現金」が 79.0%と最も高く、次いで「クレジットカード」が 52.5%、「QRコード決済」が 40.3%と続いています。



【属性別比較】

商品を購入する際の決済方法として「現金のみ」は 21.7%となっています。

年代別にみると、「現金のみ」は 40 歳代以下の年齢で 1 割を切っています。年代が上がるにつれて「現金のみ」の割合は高くなる傾向にあり、特に 70 歳以上では 48.4%と半数近くを占めています。一方、決済方法を「現金以外」と回答した割合は 30 代で 34.7%と約 3 割半ばを占めて高く、10～60 代にかけて 2 割以上と一定割合がキャッシュレス化を果たしています。



II 調査結果

【属性別比較】

性別でみると、「現金」や「流通系電子マネー」は女性の方が男性より高く、「QRコード決済」や「交通系電子マネー」は男性の方が女性より高くなっています。

年代別でみると、「現金」は、70代以上（91.4%）で9割を超えて最も高くなっています。

居住地区別でみると、「現金」は、錦田（84.2%）が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	QR コード 決済	交通 系電 子マ ネー	流通 系電 子マ ネー	クレ ジッ トカ ード	デビ ット カード	現金	無回 答
全体		1,100	40.3	19.1	32.3	52.5	4.1	79.0	1.1
性別	男性	467	43.0	20.1	25.7	53.3	3.2	77.3	0.2
	女性	620	38.5	18.4	37.6	52.4	4.7	81.1	0.5
年代別	10代・20代	73	71.2	34.2	19.2	56.2	5.5	78.1	0.0
	30代	121	73.6	27.3	32.2	69.4	3.3	65.3	0.0
	40代	170	52.9	20.6	31.8	63.5	5.3	72.4	0.0
	50代	192	51.6	27.1	45.3	60.9	6.3	78.1	0.0
	60代	220	36.8	17.7	41.8	57.3	2.3	77.7	0.5
	70代以上	314	9.6	8.3	22.0	31.8	3.5	91.4	1.0
居住地区別	旧市内	341	37.8	19.1	33.7	50.4	4.1	78.6	1.2
	北上	208	42.8	22.6	34.1	52.9	4.8	80.8	1.4
	錦田	183	35.5	13.1	32.2	53.0	3.3	84.2	1.6
	中郷	170	37.1	14.1	27.1	46.5	5.3	74.7	1.2

1位

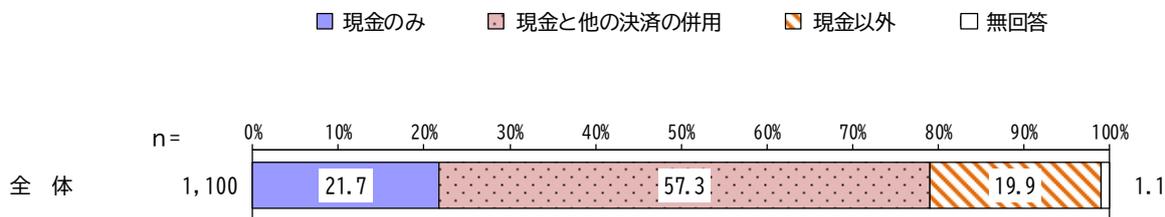
2位

3位

(2) 決済における現金の使用状況

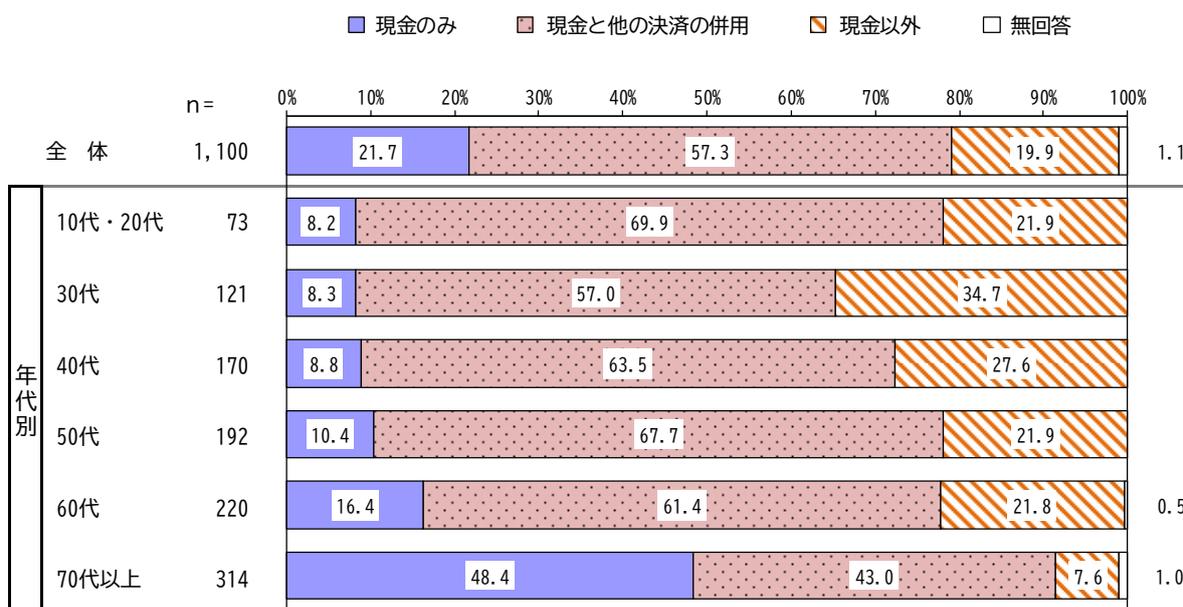
－ 決済方法が「現金以外」は 19.9% －

決済における現金の使用状況について、「現金と他の決済の併用」が 57.3%と最も高く、「現金のみ」が 21.7%、「現金以外」が 19.9%となっています。



【属性別比較】

年代別にみると、「現金のみ」は 40 代以下の年齢で 1 割を切っています。年代が上がるにつれて「現金のみ」の割合は高くなる傾向にあり、特に 70 代以上 (48.4%) では 5 割近くを占めています。一方、決済方法を「現金以外」と回答した割合は 30 代 (34.7%) で 3 割半ば近くを占めて高く、10 代・20 代から 60 代にかけていずれの年代も 2 割以上を占めており、一定割合がキャッシュレス化を果たしています。



13 『文化的環境』について

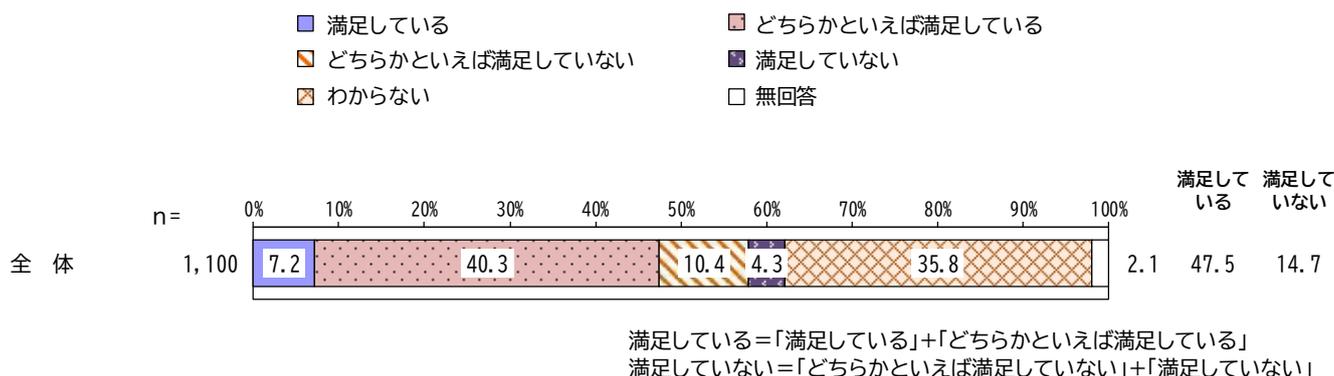
(1) 三島市の文化的環境の満足度

問 32 あなたは、三島市の文化的環境(鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的街並みの保存・整備など)に満足していますか。(○は一つ)

－ 文化的環境に“満足している”は 47.5% －

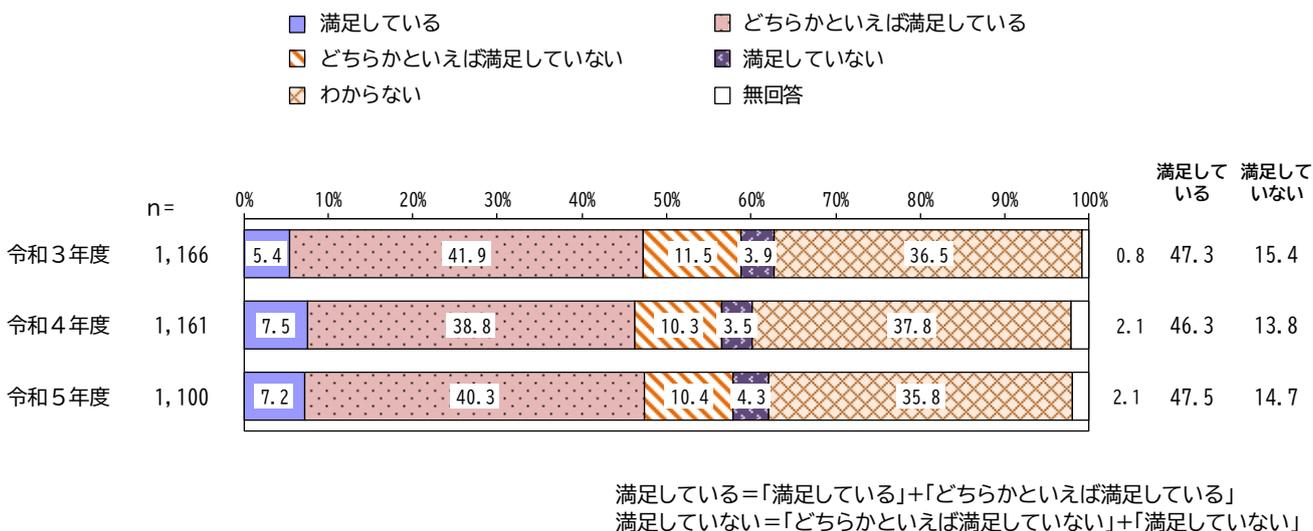
文化的環境に満足しているかについて、「満足している」(7.2%)と「どちらかといえば満足している」(40.3%)を合わせた“満足している”は 47.5%となっています。

一方、「どちらかといえば満足していない」(10.4%)と「満足していない」(4.3%)を合わせた“満足していない”は 14.7%となっています。



【経年比較】

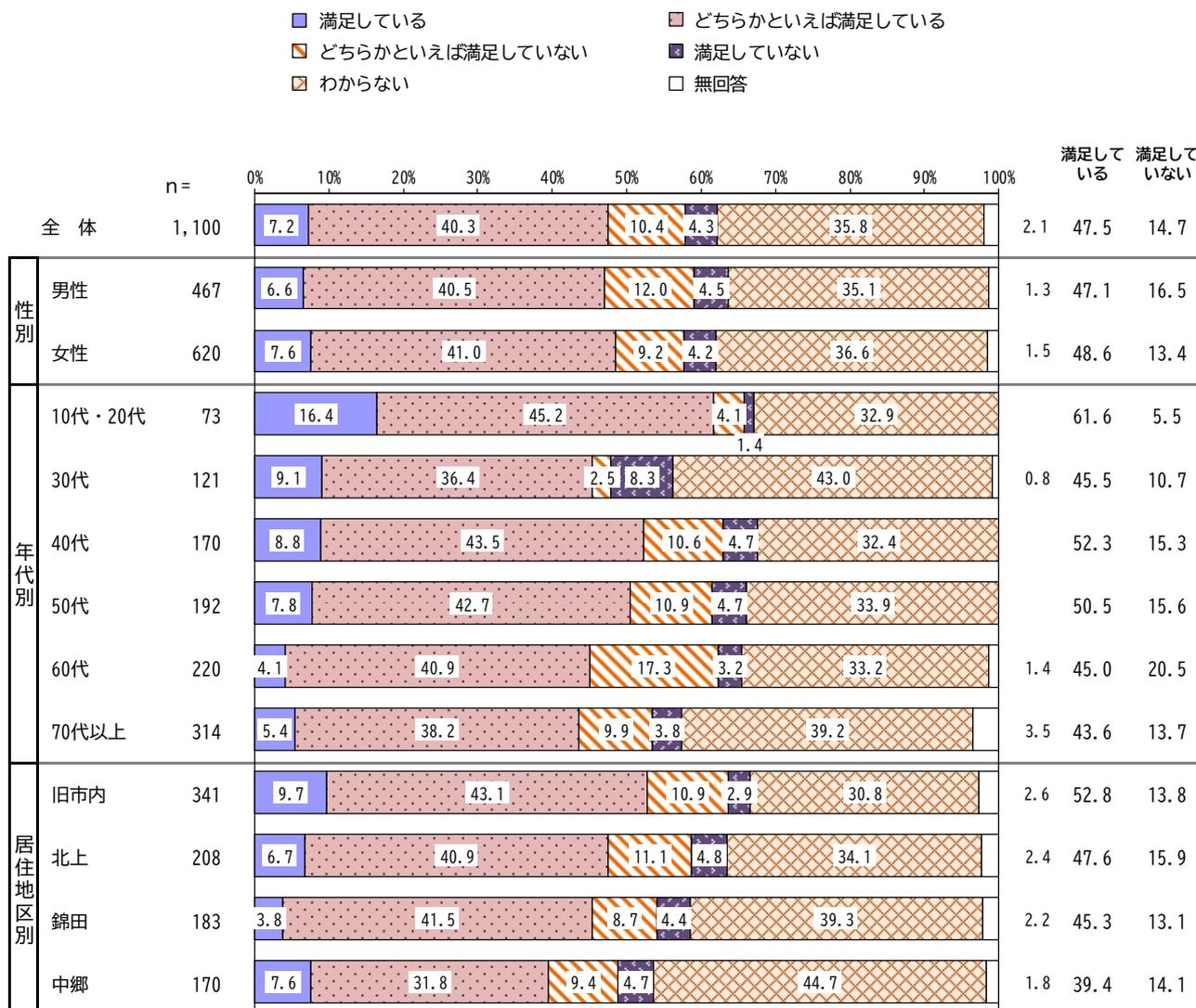
過去調査と比較すると、あまり変化はありません。



【属性別比較】

性別でみると、“満足している”（男性 47.1%、女性 48.6%）は、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“満足している”は、10代・20代（61.6%）で6割を超えて最も高くなっています。

居住地区別でみると、“満足している”は、旧市内（52.8%）が最も高くなっています。



満足している＝「満足している」＋「どちらかといえば満足している」
 満足していない＝「どちらかといえば満足していない」＋「満足していない」

II 調査結果

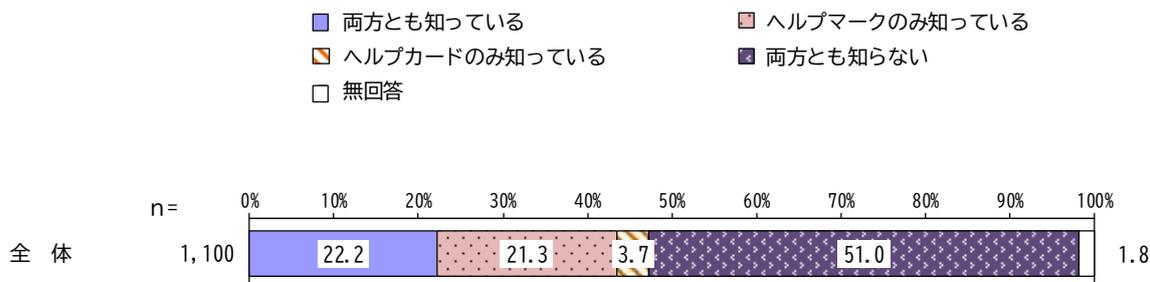
14 『障がいのある人への理解』について

(1) ヘルプマーク・ヘルプカードの認知状況

問 33 ヘルプマーク・ヘルプカードを知っていますか。(○は一つ)

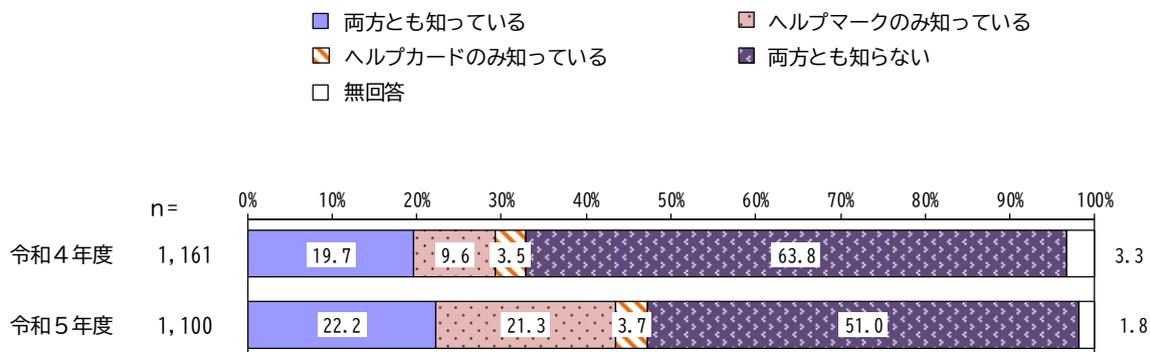
－ ヘルプマーク・ヘルプカードを「両方とも知っている」は 22.2% －

ヘルプマーク・ヘルプカードについて、「両方とも知らない」が 51.0%と最も高く、次いで「両方とも知っている」が 22.2%、「ヘルプマークのみ知っている」が 21.3%となっています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「ヘルプマークのみ知っている」割合は、令和4年度より 11.7 ポイント増加しています。

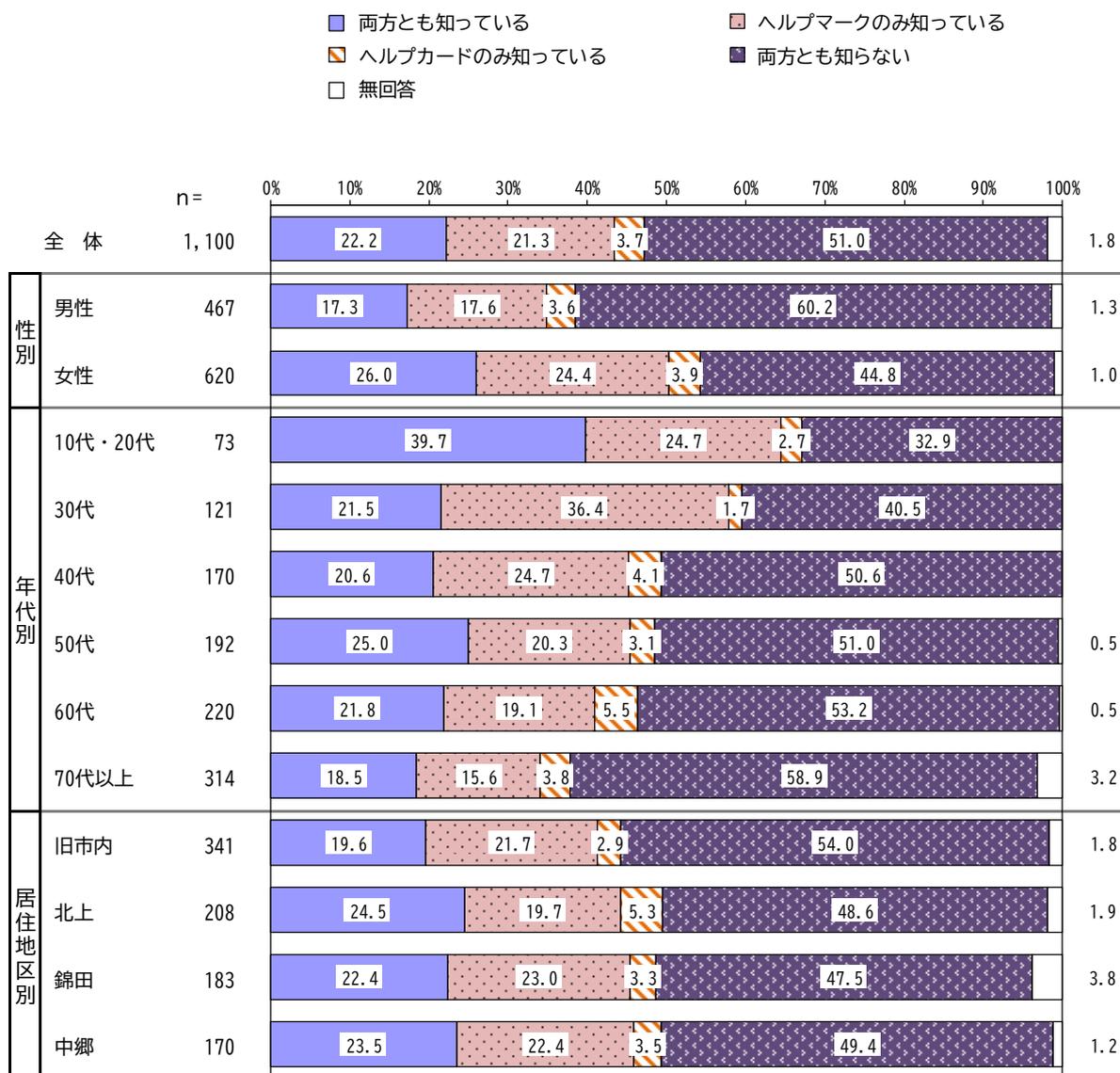


【属性別比較】

性別で見ると、「両方とも知らない」は、男性（60.2%）の割合が、女性（44.8%）よりも15.4ポイント高くなっています。

年代別で見ると、「両方とも知っている」は、10・20代（39.7%）が約4割を占めて最も高くなっています。

居住地区別で見ると、「両方とも知らない」は、旧市内（54.0%）が最も高くなっています。



II 調査結果

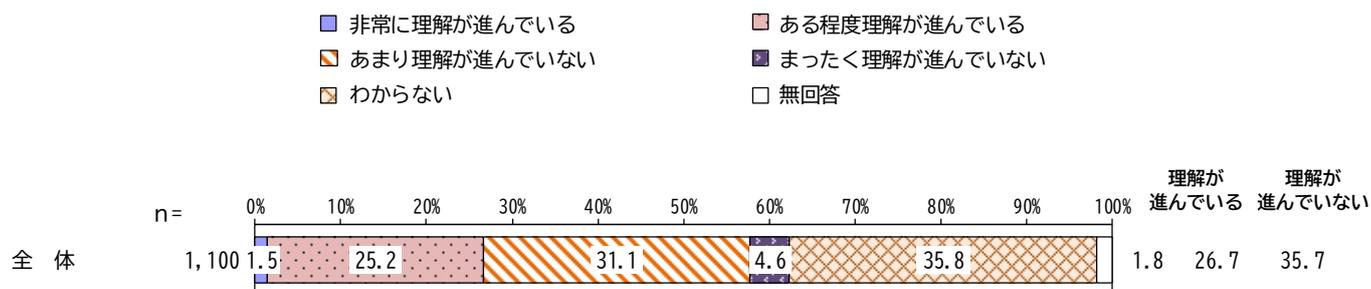
(2) 障がいのある人への理解促進状況

問 34 市民の間に障がいのある人に対する理解が進んでいると感じますか。(○は一つ)

－ 障がいのある人に対する「理解が進んでいる」と感じている割合は 26.7%－

障がいのある人に対する理解の促進状況について、「非常に理解が進んでいる」(1.5%)と「ある程度理解が進んでいる」(25.2%)を合わせた“理解が進んでいる”は 26.7%となっています。

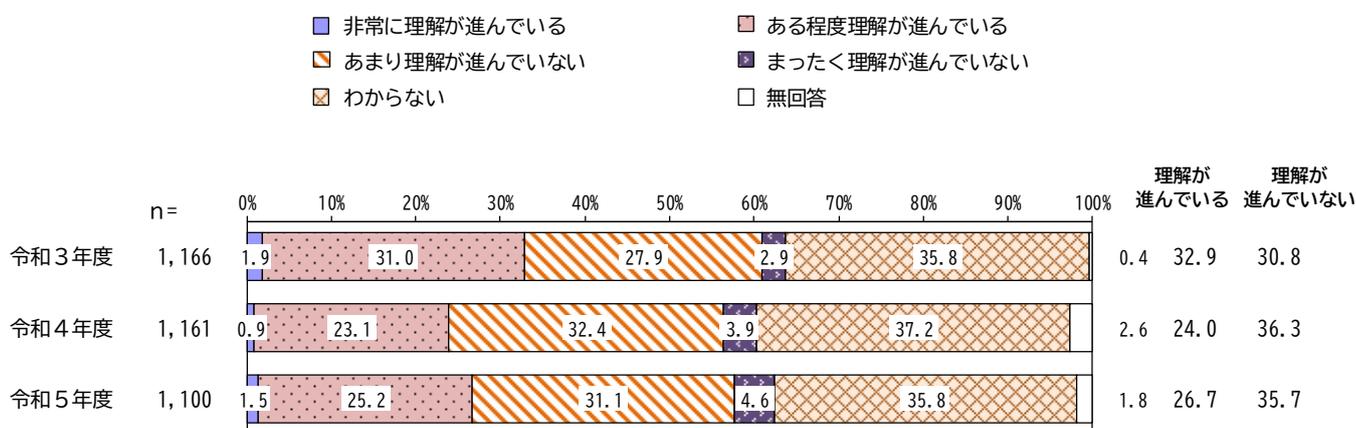
一方、「あまり理解が進んでいない」(31.1%)と「まったく理解が進んでいない」(4.6%)を合わせた“理解が進んでいない”は 35.7%となっています。



理解が進んでいる＝「非常に理解が進んでいる」＋「ある程度理解が進んでいる」
 理解が進んでいない＝「あまり理解が進んでいない」＋「まったく理解が進んでいない」

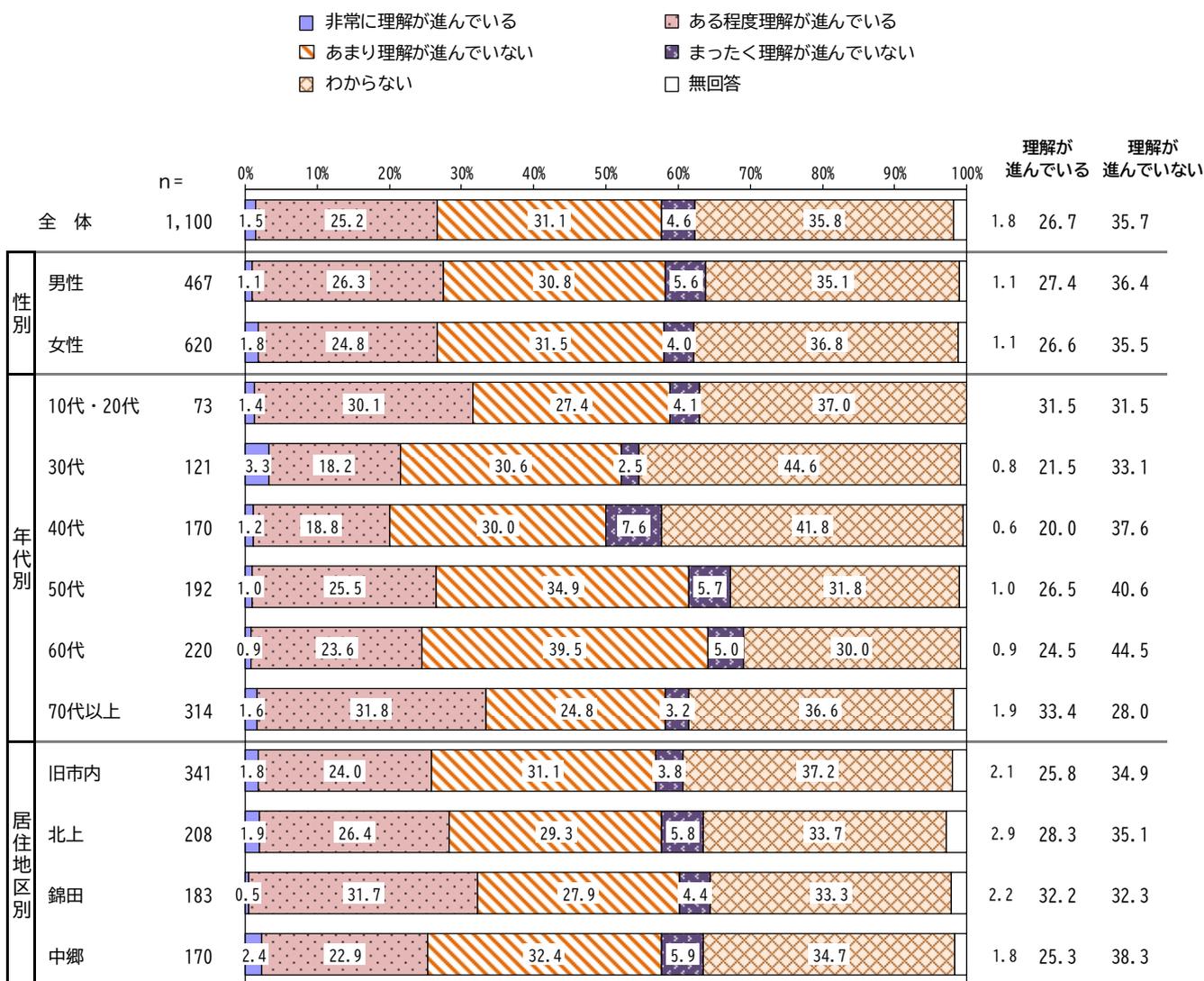
【経年比較】

過去調査と比較すると、令和4年度よりあまり変化はありません。



【属性別比較】

性別でみると、“理解が進んでいる”（男性 27.4%、女性 26.6%）は、大きな差異はみられません。
 年代別でみると、“理解が進んでいる”は、70代以上（33.4%）が最も高くなっています。
 居住地区別でみると、“理解が進んでいる”は、錦田（32.2%）が最も高くなっています。



理解が進んでいる＝「非常に理解が進んでいる」＋「ある程度理解が進んでいる」
 理解が進んでいない＝「あまり理解が進んでいない」＋「まったく理解が進んでいない」

Ⅱ 調査結果

15 『男女共同参画』について

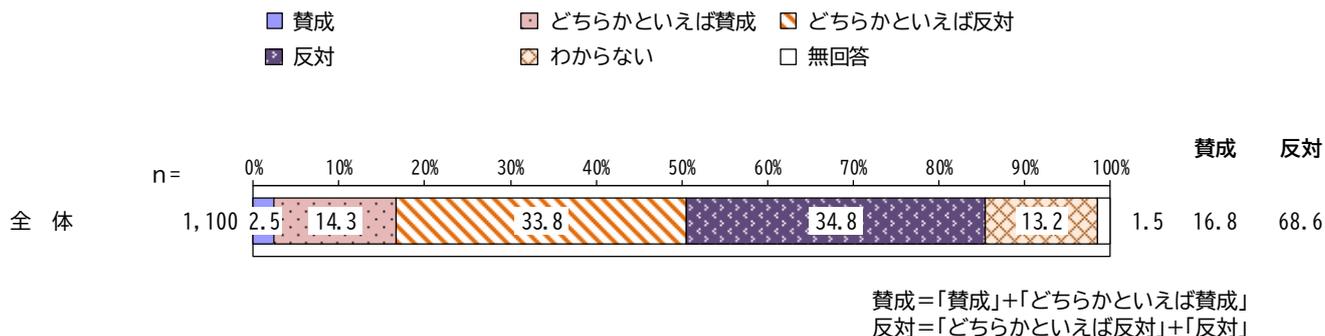
(1) 性別役割分担意識

問 35 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。(○は一つ)

－ 性別役割分担意識に“反対”は 68.6% －

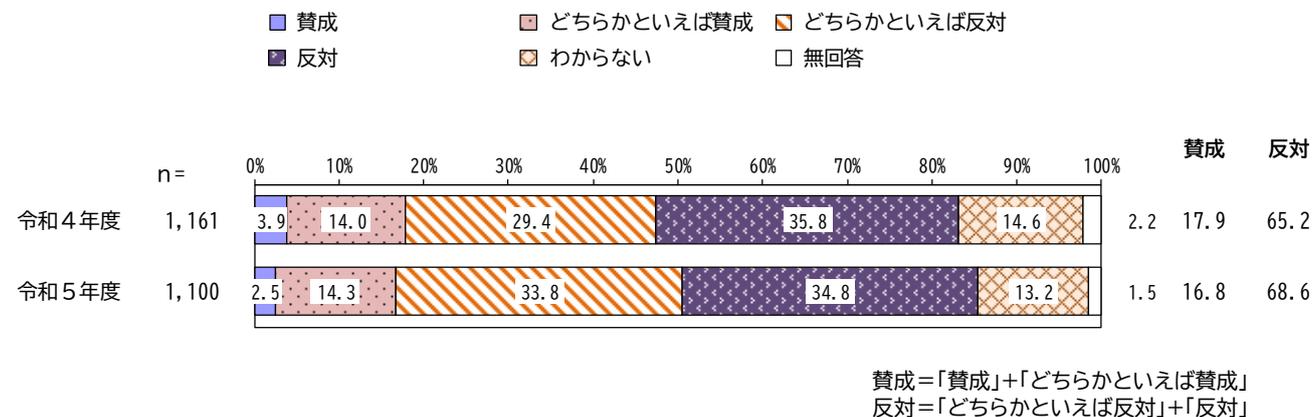
「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「賛成」(2.5%)と「どちらかといえば賛成」(14.3%)を合わせた“賛成”は16.8%となっています。

一方、「どちらかといえば反対」(33.8%)と「反対」(34.8%)を合わせた“反対”は68.6%となっています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「どちらかといえば反対」は、令和4年度より4.4ポイント上がっています。

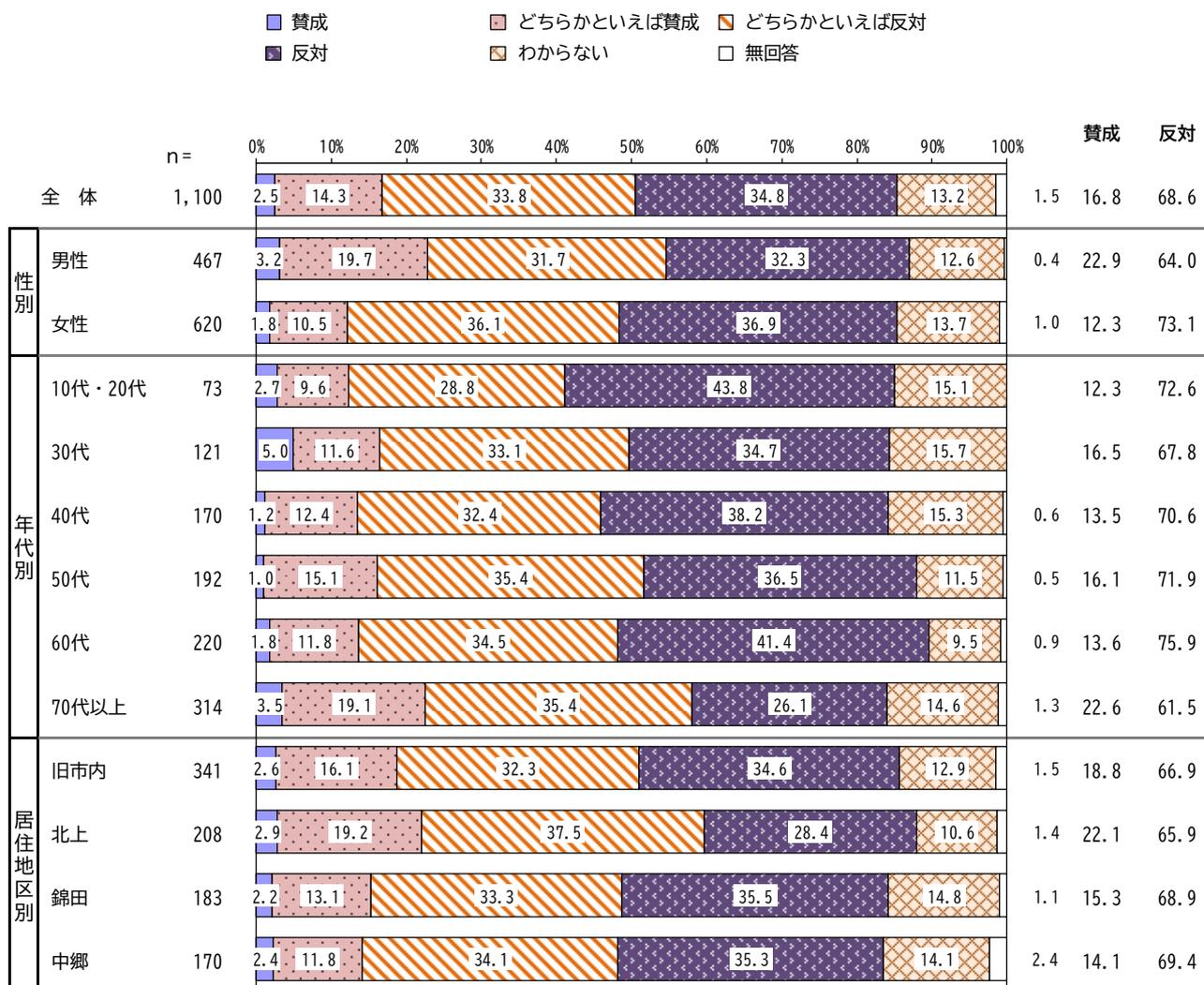


【属性別比較】

性別で見ると、“賛成”は、男性（22.9%）の割合が、女性（12.3%）よりも10.6ポイント高くなっています。

年代別で見ると、“賛成”は、70代以上（22.6%）が最も高くなっています。

居住地区別で見ると、“賛成”は、北上（22.1%）が最も高くなっています。



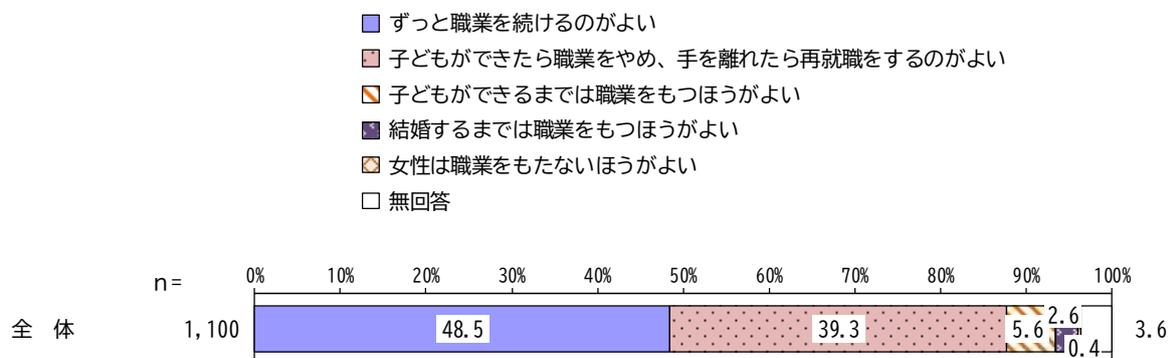
賛成 = 「賛成」 + 「どちらかといえば賛成」
 反対 = 「どちらかといえば反対」 + 「反対」

II 調査結果

(2) 望ましい女性の働き方

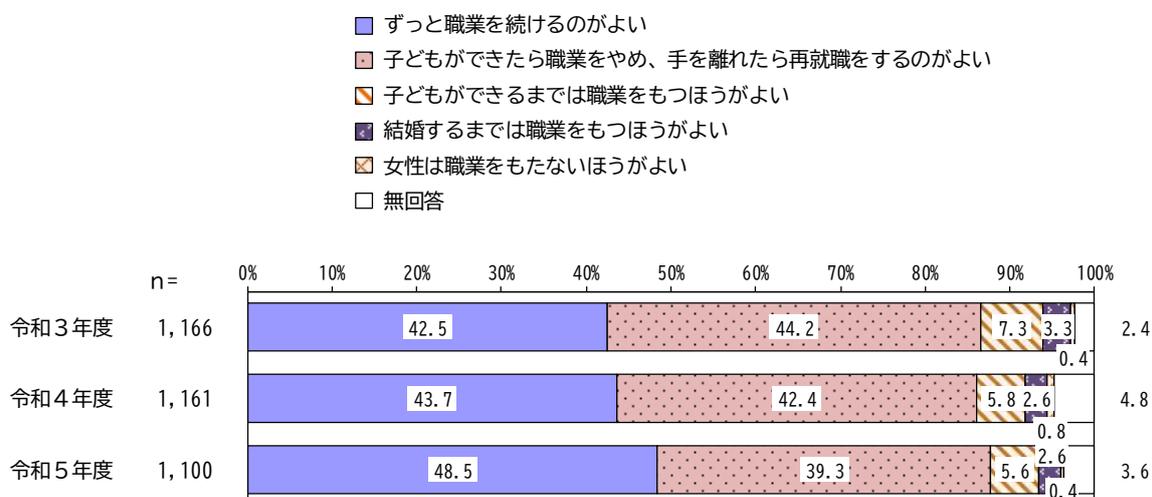
問 36 一般的に女性の働き方で望ましいと思われるものはどれが一番近いですか。(○は一つ)

－ 女性の働き方で望ましいと思われるものは「ずっと職業を続けるのがよい」が 48.5% －
 女性の働き方で望ましいと思われるものについて、「ずっと職業を続けるのがよい」が 48.5% と最も高く、次いで「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい」が 39.3% となっています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「ずっと職業を続けるのがよい」は増加傾向にあります。

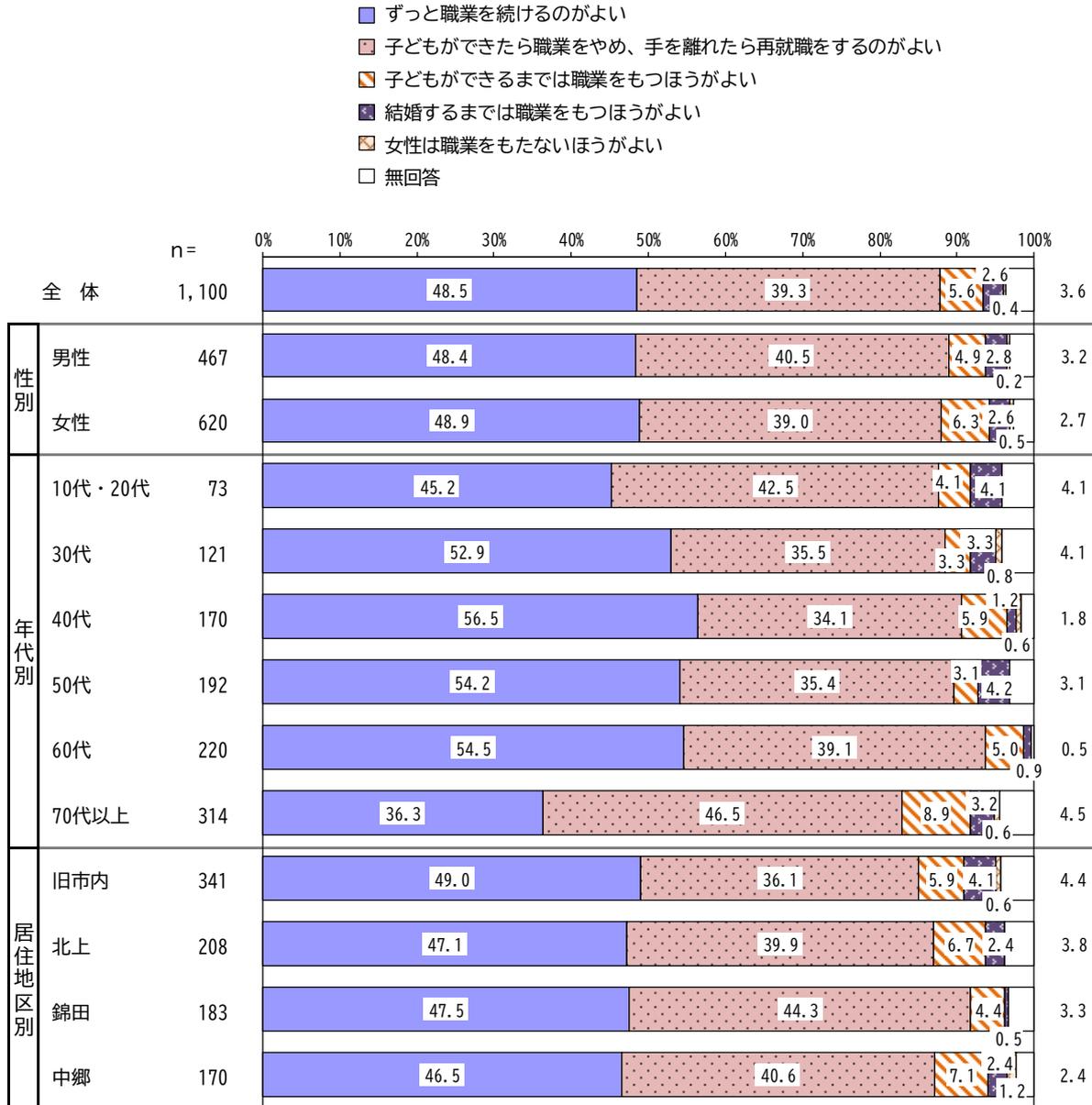


【属性別比較】

性別でみると、男性・女性ともに「ずっと職業を続けるのがよい」（男性 48.4%、女性 48.9%）が最も高くなっています。

年代別でみると、「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職をするのがよい」は、70代以上（46.5%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「子どもができたら職業をやめ、手を離れたら再就職するのがよい」は錦田（44.3%）が、最も高くなっています。



II 調査結果

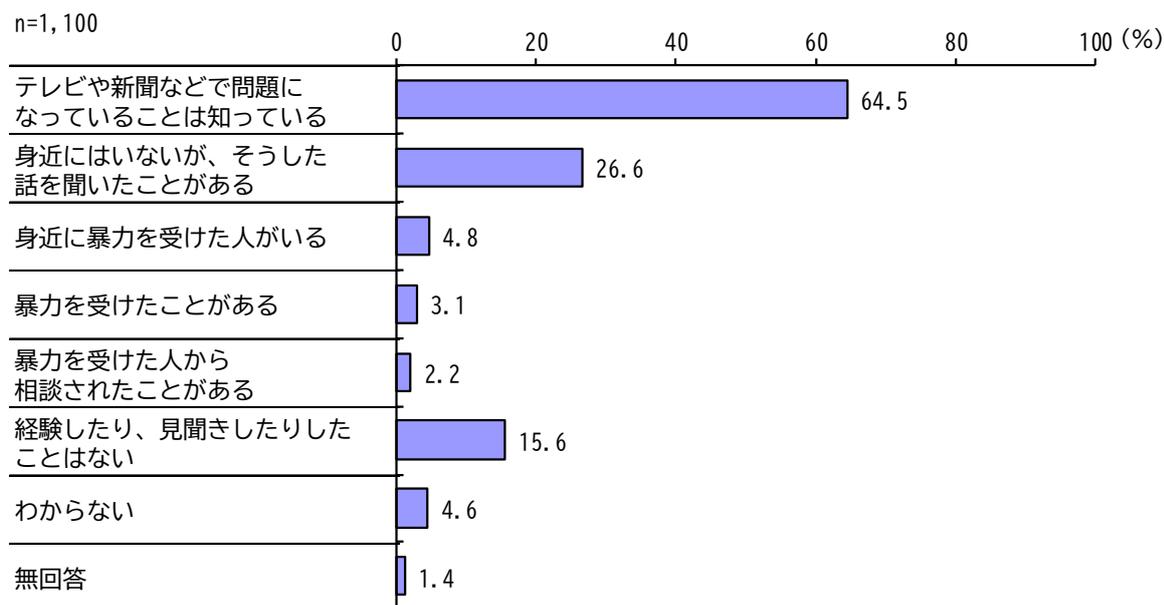
16 『ドメスティック・バイオレンス』について

(1) ドメスティック・バイオレンスの経験・見聞状況

問 37 ドメスティック・バイオレンス(DV・夫婦や交際相手など親しい間柄にある男女間の暴力)を過去1年間に経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。※暴力には、身体的暴力、精神的暴力、性的暴力や経済的暴力などがあります。(〇はいくつでも)

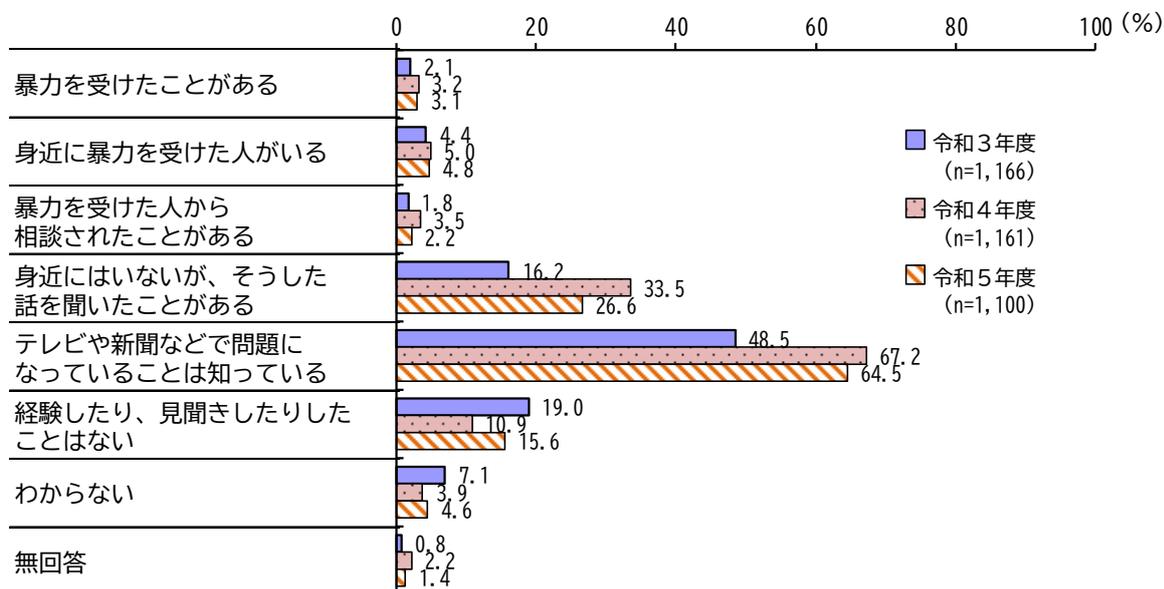
－ ドメスティック・バイオレンスを「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が64.5% －

ドメスティック・バイオレンスを過去1年間に経験したり、見聞きしたりしたことがあるかについて、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」割合が64.5%と最も高く、次いで「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が26.6%、「経験したり、見聞きしたりしたことはない」が15.6%となっています。



【経年比較】

過去調査と比較すると、「身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある」が令和4年度より6.9ポイント下がっています。



【属性別比較】

性別でみると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」(男性64.5%、女性65.3%)は、大きな差異はみられません。

年代別でみると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」は、60代(72.7%)と70代以上(71.3%)で7割を超えて高くなっています。

居住地区別でみると、「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」は、旧市内(68.0%)が最も高くなっています。

単位：%

区分		回答者数(件)	暴力を受けたことがある	身近に暴力を受けた人がいる	暴力を受けた人から相談されたことがある	身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある	テレビや新聞などで問題になっていることは知っている	経験したり、見聞きしたりしたことはない	わからない	無回答
全体		1,100	3.1	4.8	2.2	26.6	64.5	28.2	4.6	1.4
性別	男性	467	0.9	3.4	0.9	25.5	64.5	29.3	6.0	0.6
	女性	620	4.8	6.0	3.1	27.9	65.3	27.7	3.5	0.6
年代別	10代・20代	73	0.0	6.8	1.4	17.8	56.2	35.6	2.7	0.0
	30代	121	3.3	4.1	1.7	20.7	55.4	25.6	7.4	1.7
	40代	170	2.9	7.6	4.1	30.0	57.6	20.6	4.7	0.0
	50代	192	4.7	5.7	3.6	25.5	61.5	25.5	3.6	0.0
	60代	220	4.5	3.6	1.8	30.5	72.7	28.2	2.7	0.0
	70代以上	314	1.9	3.5	1.0	28.0	71.3	33.8	6.1	1.6
居住地区別	旧市内	341	2.3	4.4	2.1	24.3	68.0	28.4	6.2	1.2
	北上	208	1.4	2.4	1.4	29.8	66.8	31.7	3.8	1.4
	錦田	183	2.7	4.9	2.2	27.9	61.7	25.7	3.8	2.2
	中郷	170	4.1	5.3	2.9	30.0	61.2	28.8	4.7	0.6

1位

2位

3位

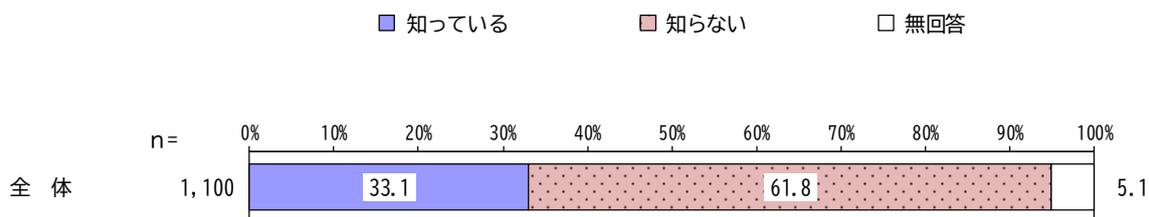
II 調査結果

(2) ドメスティック・バイオレンスに関する相談窓口の認知状況

問 38 ドメスティック・バイオレンスの相談窓口があることを知っていますか。

－ ドメスティック・バイオレンスの相談窓口を「知っている」は 33.1% －

ドメスティック・バイオレンスに関する相談窓口について、「知っている」が 33.1%、次いで「知らない」が 61.8%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「知っている」は、男性（26.1%）より女性（38.5%）の割合が 12.4 ポイント高くなっています。

年代別でみると、「知っている」は、60代（42.3%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、「知っている」は、中郷（38.8%）が最も高くなっています。

